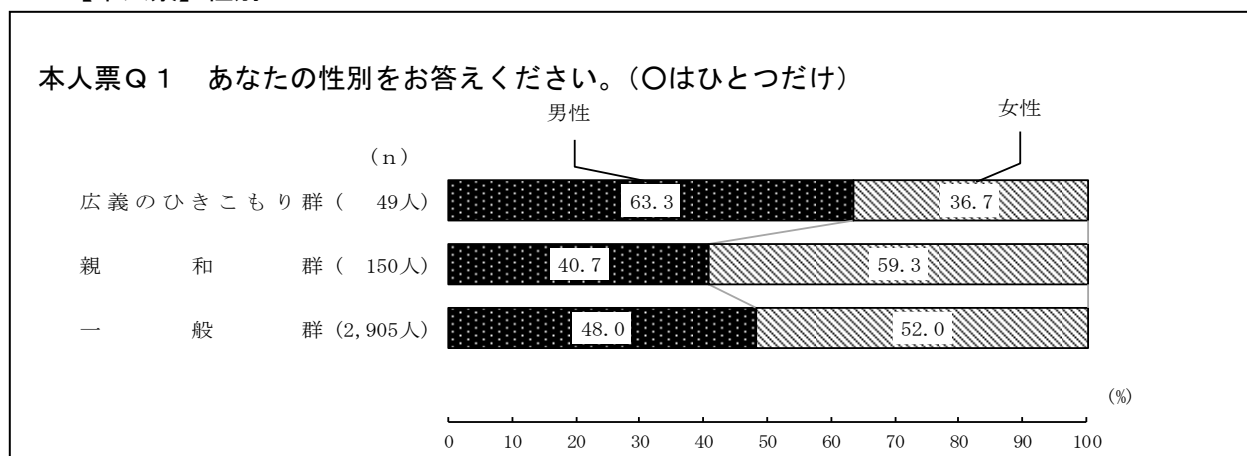


### Ⅲ 調査の結果



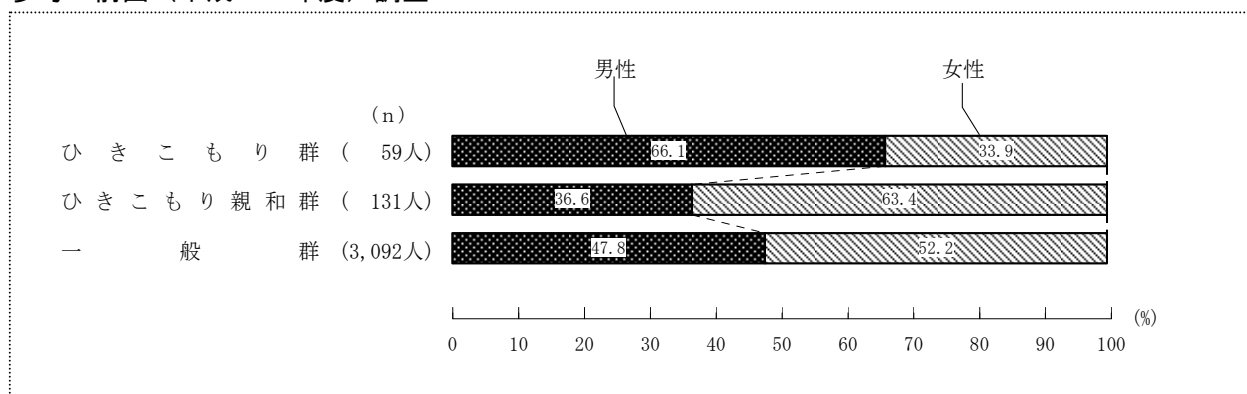
### Ⅲ 調査の結果

#### 1 【本人票】性別



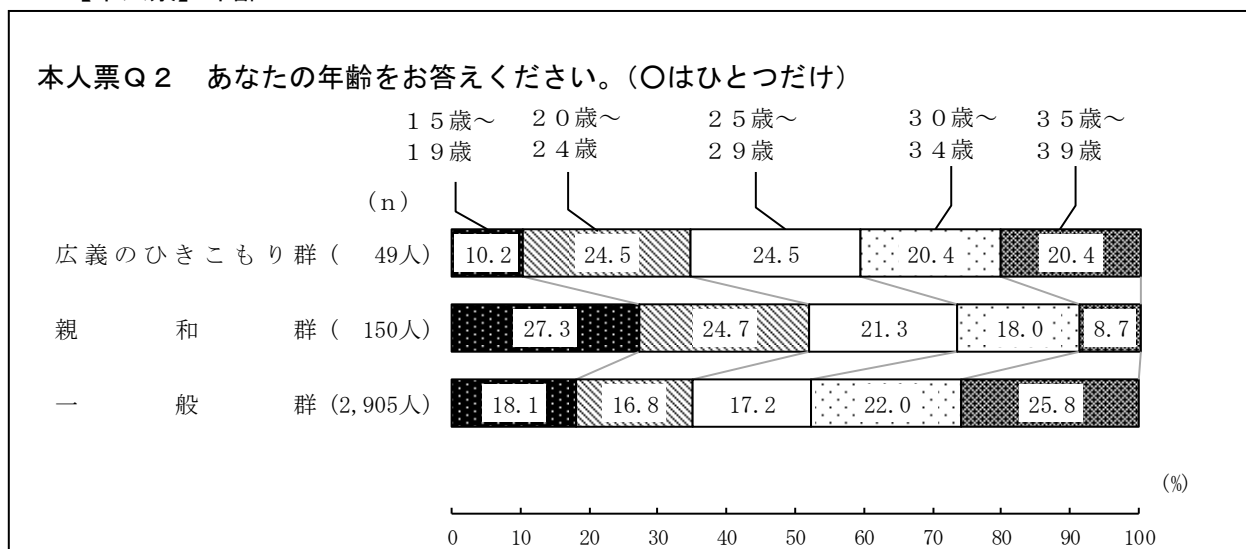
回答者の性別は、広義のひきこもり群では、「男性」63.3%、「女性」36.7%、親和群では、「男性」40.7%、「女性」59.3%、一般群では、「男性」48.0%、「女性」52.0%であった。

#### 参考：前回（平成22年度）調査



※平成22年度調査では、広義のひきこもり群を「ひきこもり群」、親和群を「ひきこもり親和群」と表記している。以下同。

## 2 【本人票】年齢

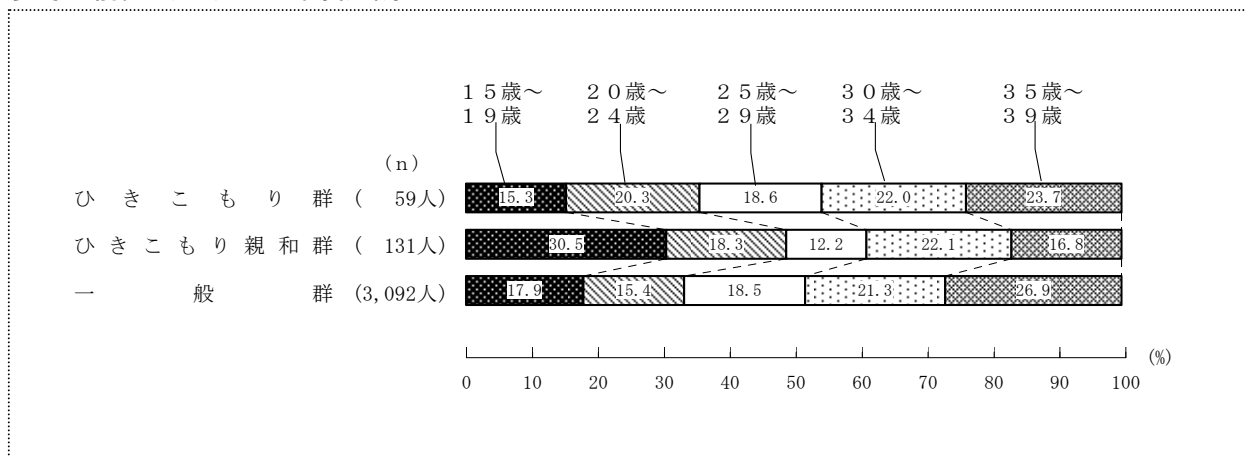


回答者の年齢は、広義のひきこもり群では、「15歳～19歳」10.2%、「20歳～24歳」24.5%、「25歳～29歳」24.5%、「30歳～34歳」20.4%、「35歳～39歳」20.4%であった。

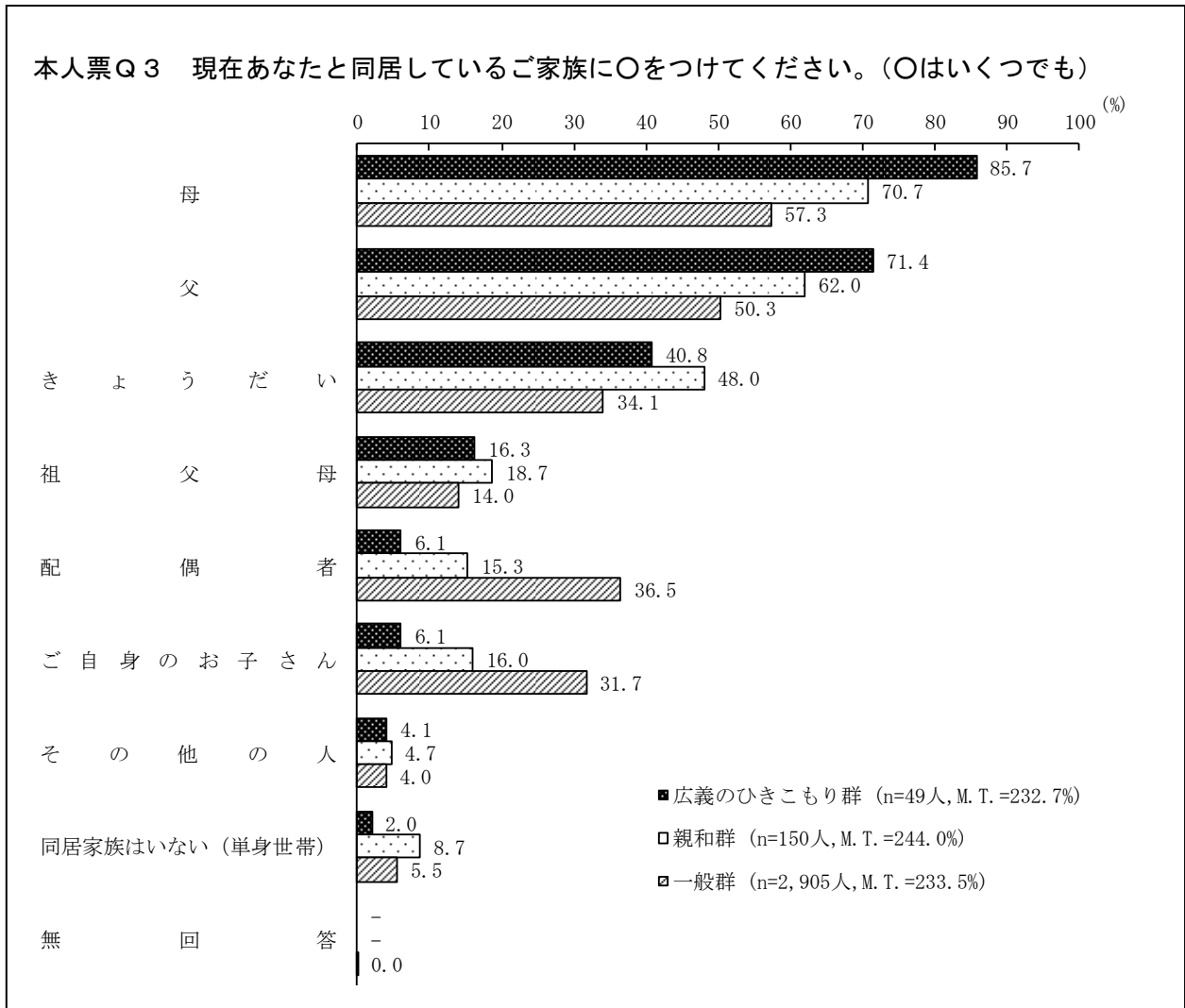
親和群では、「15歳～19歳」27.3%、「20歳～24歳」24.7%、「25歳～29歳」21.3%、「30歳～34歳」18.0%、「35歳～39歳」8.7%であった。

一般群では、「15歳～19歳」18.1%、「20歳～24歳」16.8%、「25歳～29歳」17.2%、「30歳～34歳」22.0%、「35歳～39歳」25.8%であった。

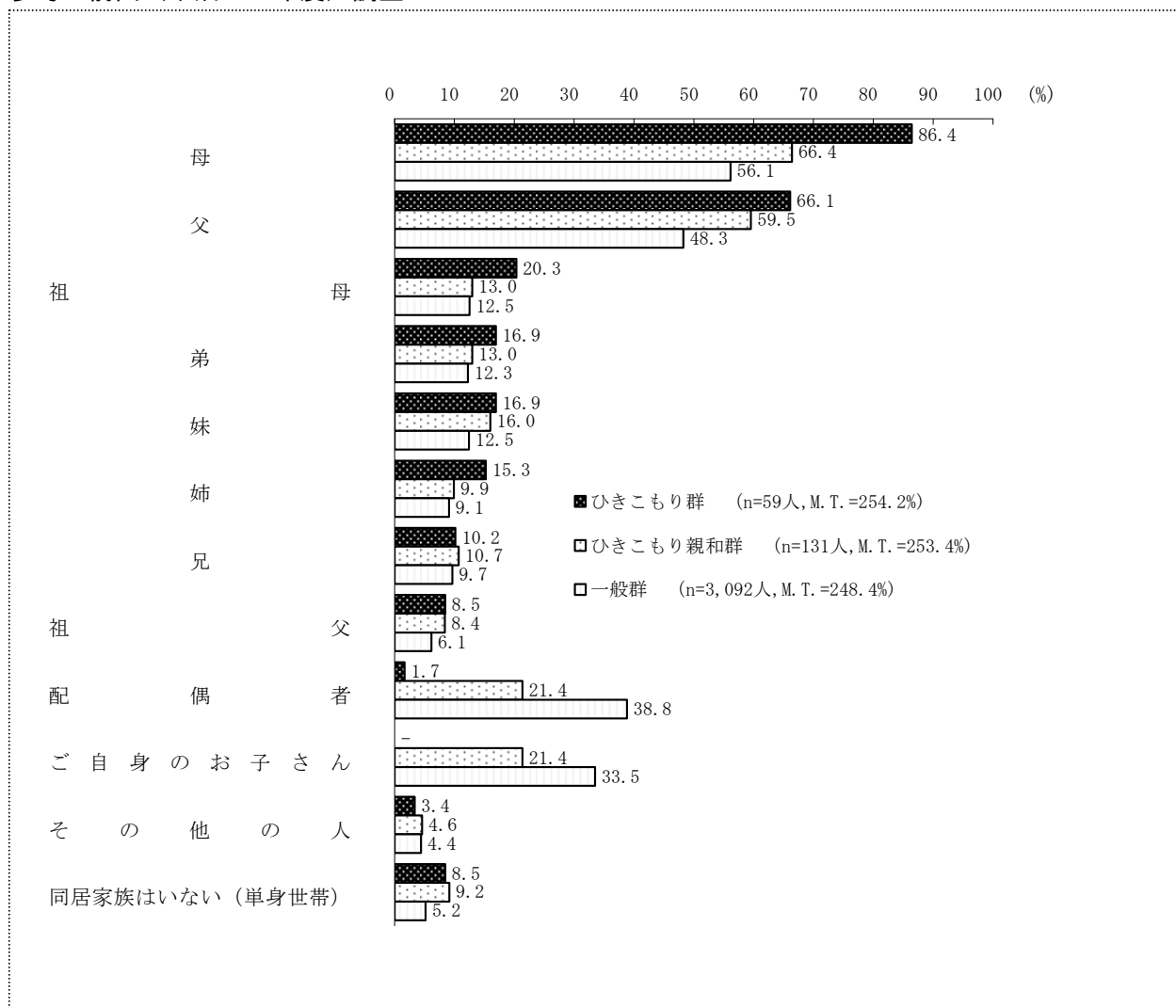
### 参考：前回（平成22年度）調査



### 3 【本人票】同居家族

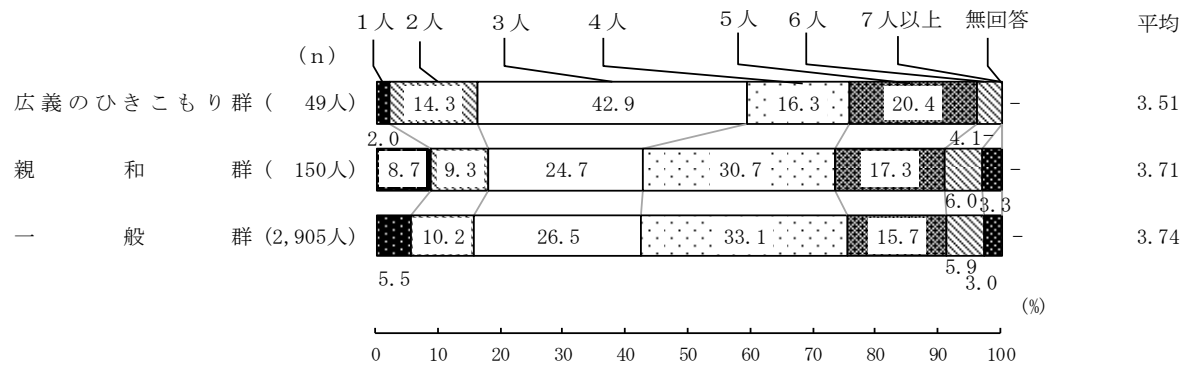


参考：前回（平成22年度）調査

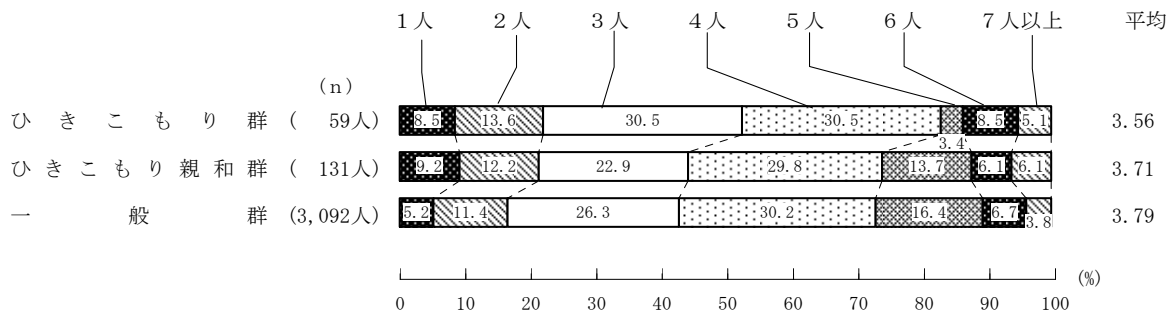


#### 4 【本人票】同居人数

本人票Q4 現在同居している人は合計で何人ですか。あなたも含めた人数を記入してください。  
(数字で具体的に)

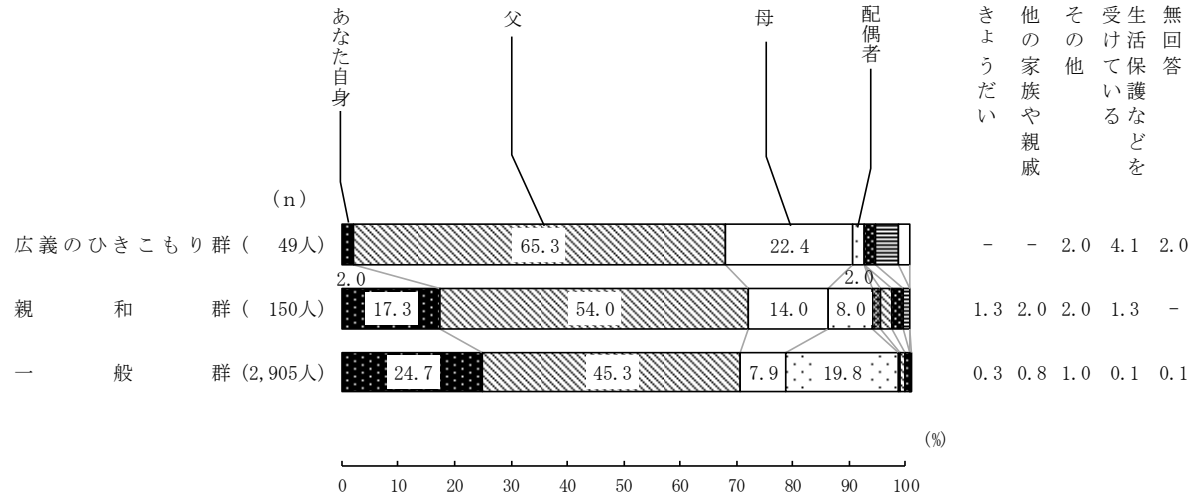


#### 参考：前回（平成22年度）調査

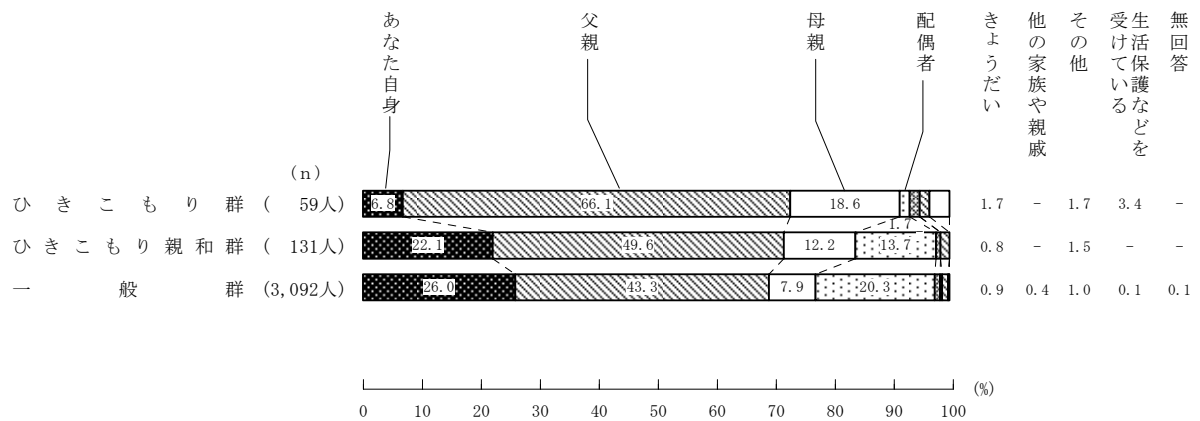


5 【本人票】主生計者

本人票Q5 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(〇はひとつだけ)



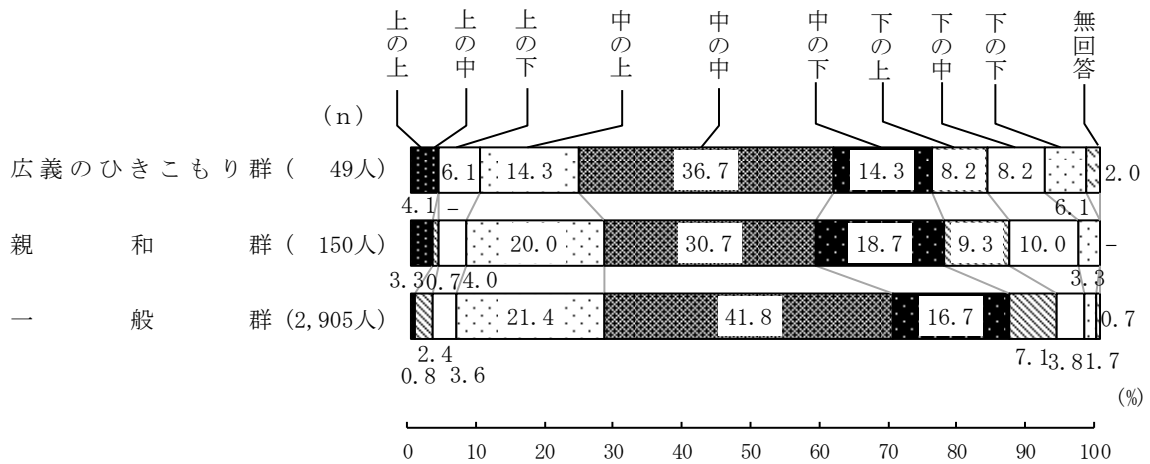
参考：前回（平成22年度）調査





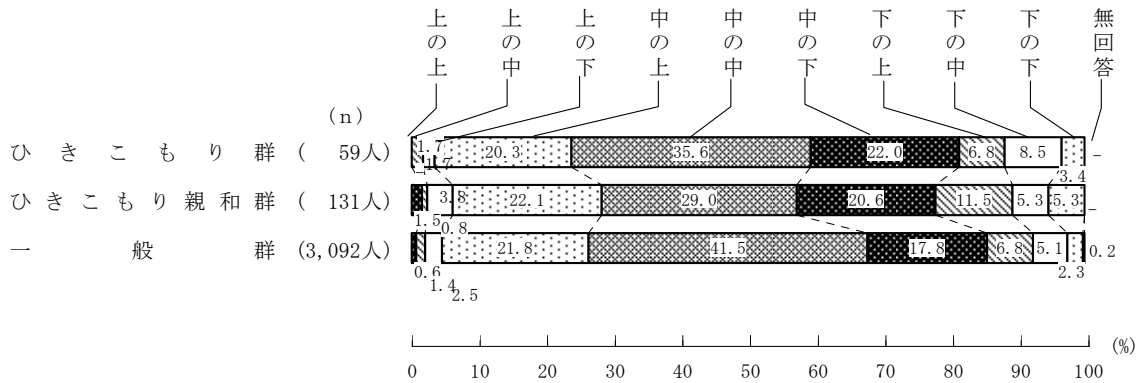
6 【本人票】暮らし向き

本人票Q6 あなたの家の暮らし向き（衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準）は、世間一般と比べてみて、上の上から下の下までのどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。（〇はひとつだけ）

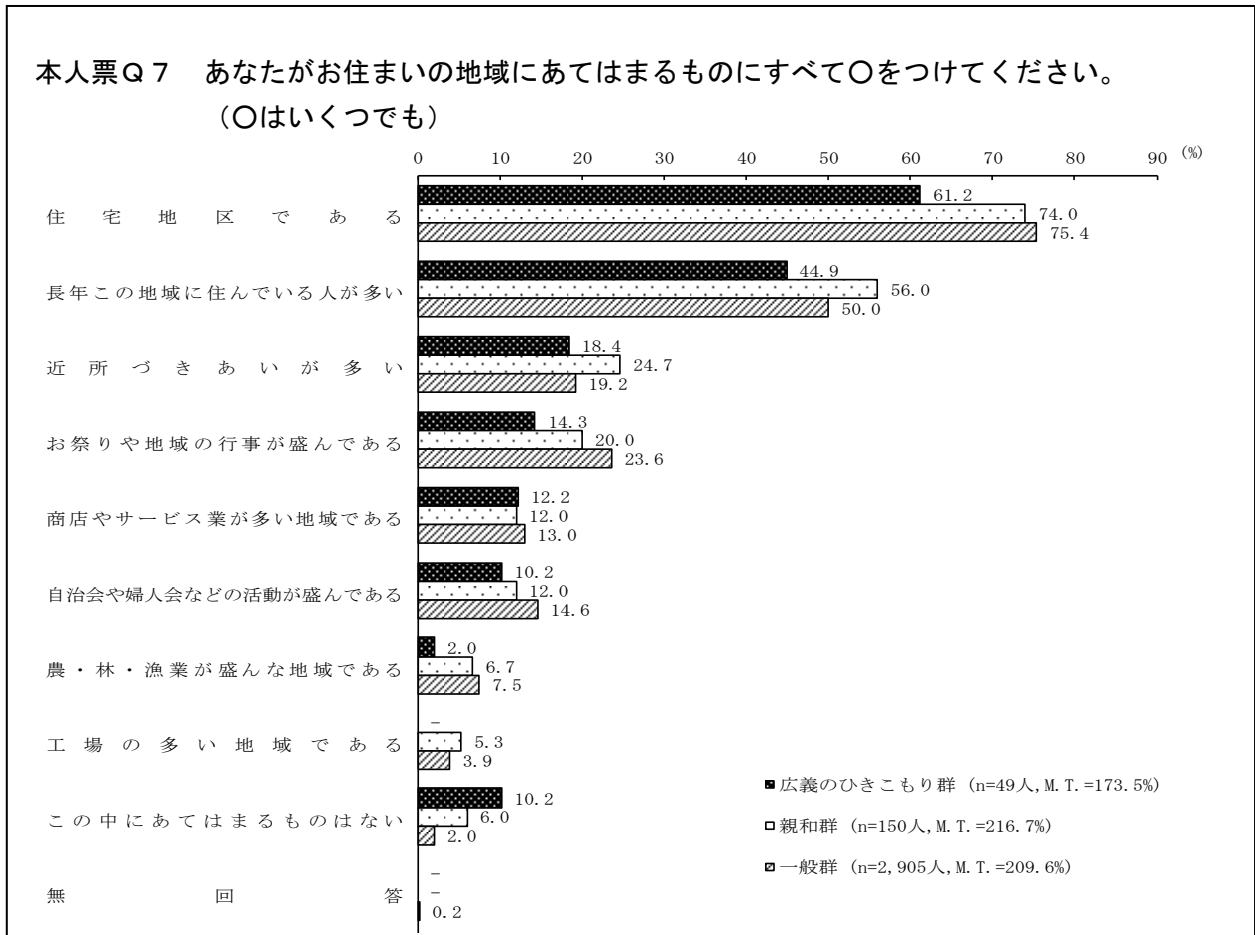


暮らし向きについて聞いたところ、各群とも、「中の中」が最も多く、『中以上』（「上の上」＋「上の中」＋「上の下」＋「中の上」＋「中の中」＋「中の下」）とする者の割合は7割を超えている。

参考：前回（平成22年度）調査

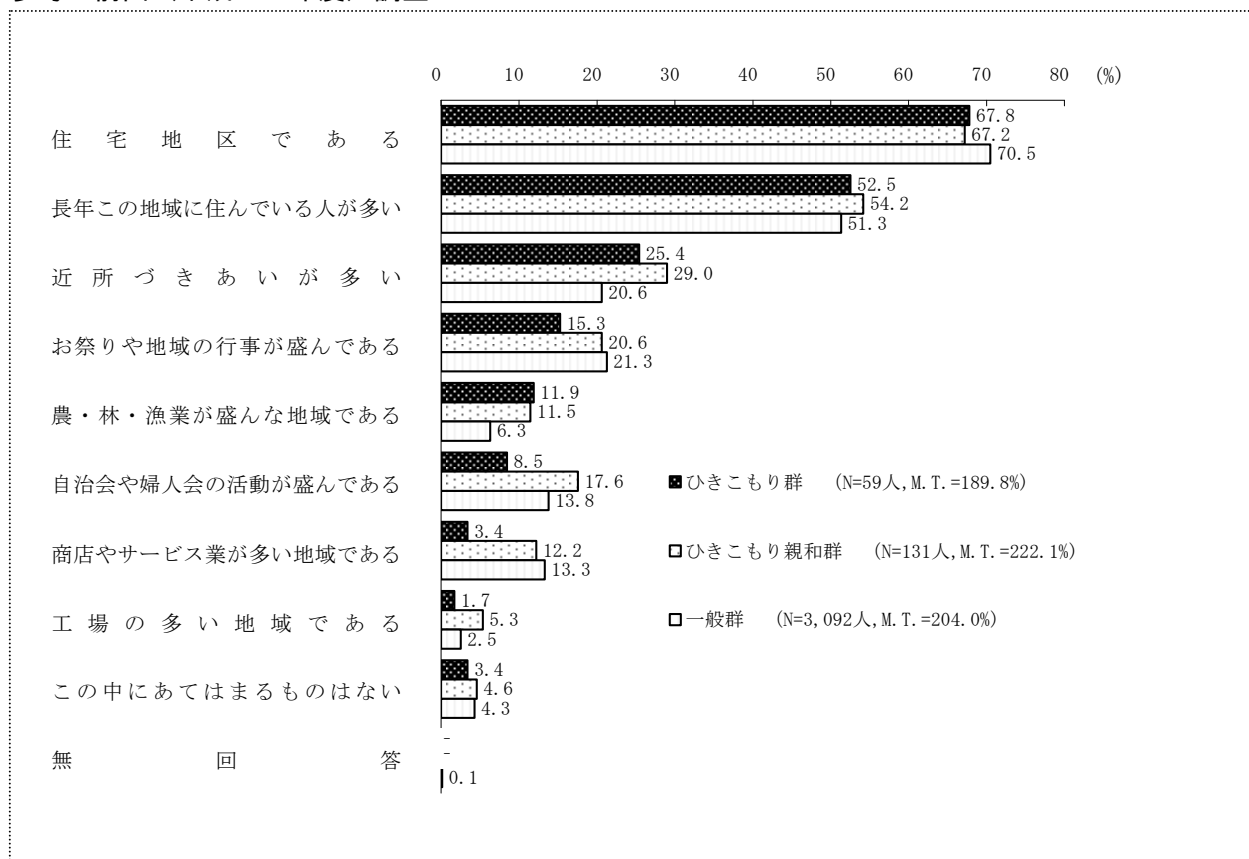


7 【本人票】地域の状況

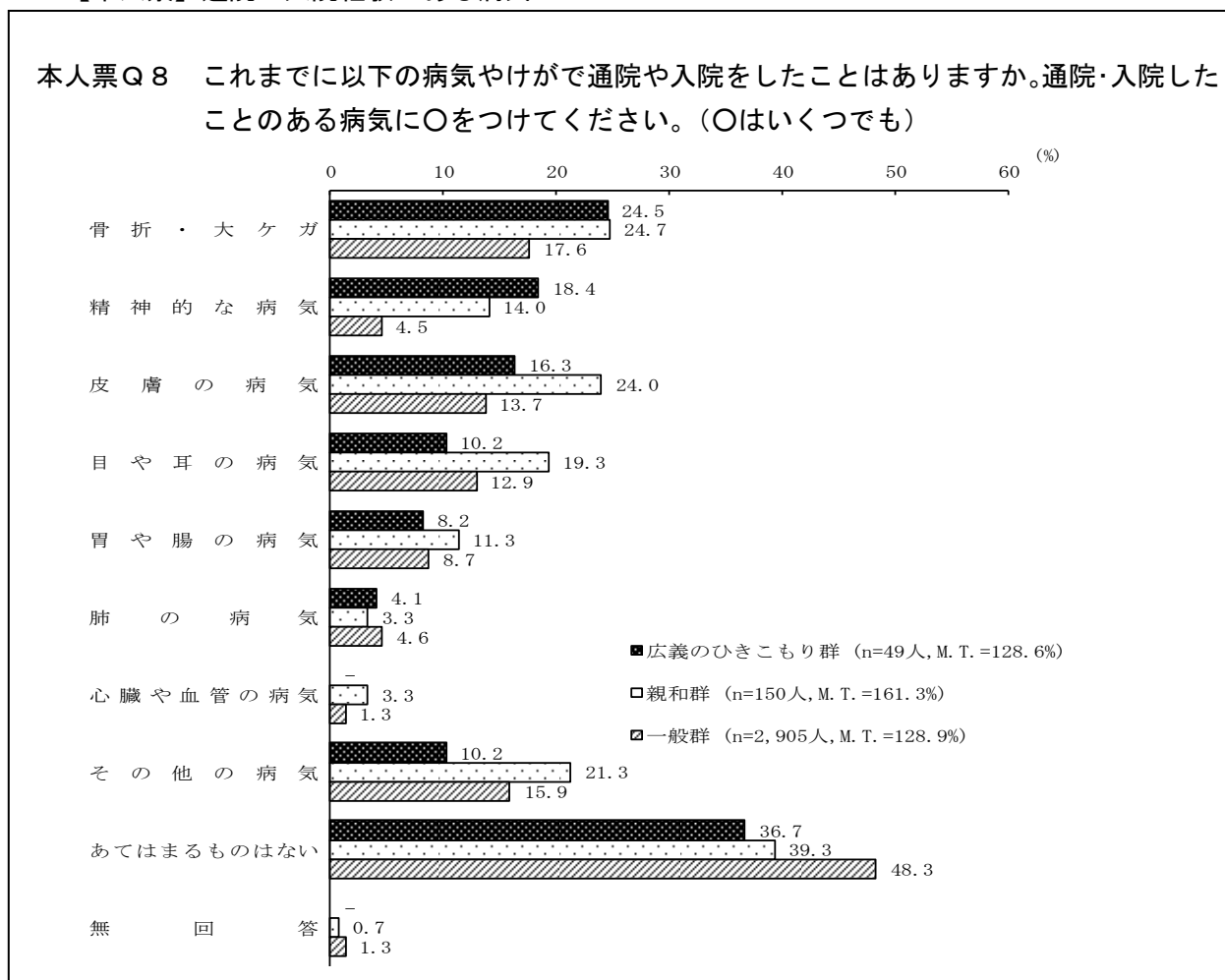


地域の状況について聞いたところ、各群とも「住宅地区である」が最も多く、次いで「長年この地域に住んでいる人が多い」となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



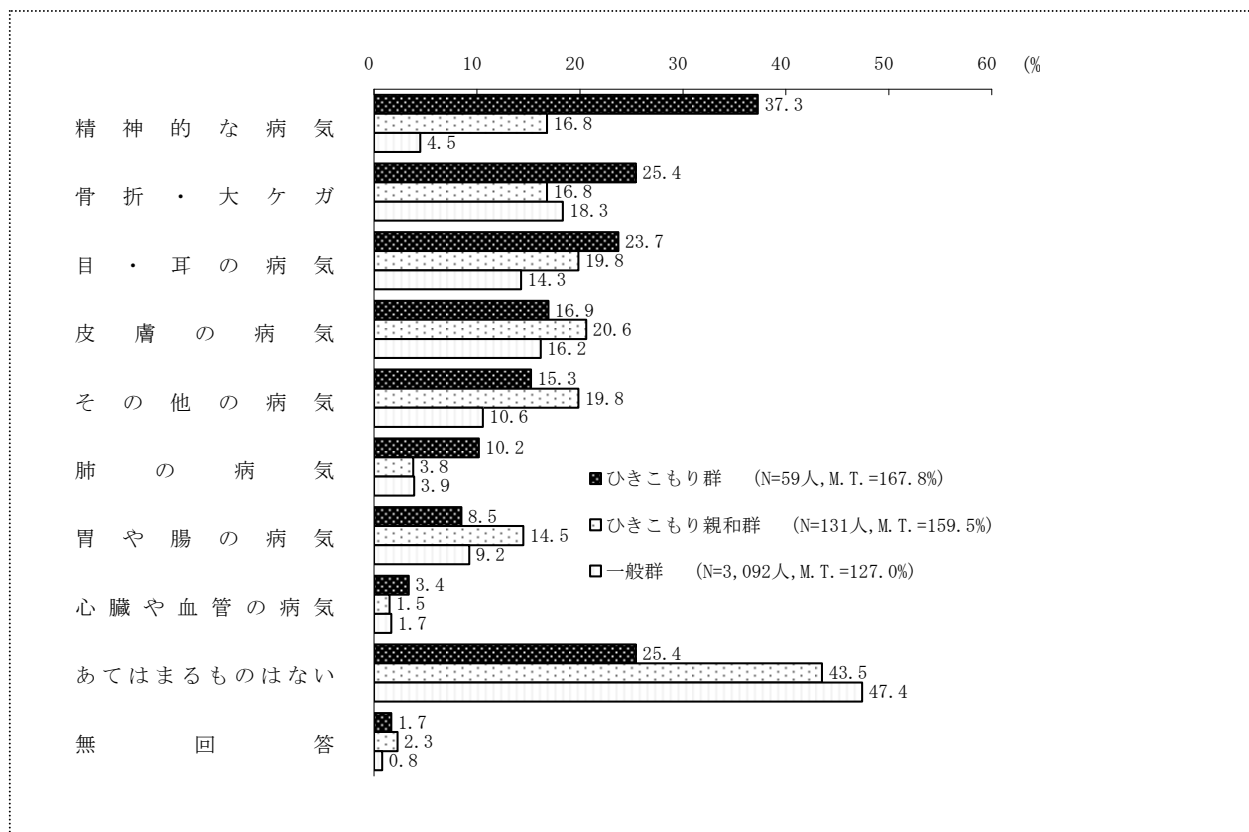
## 8 【本人票】通院・入院経験のある病気



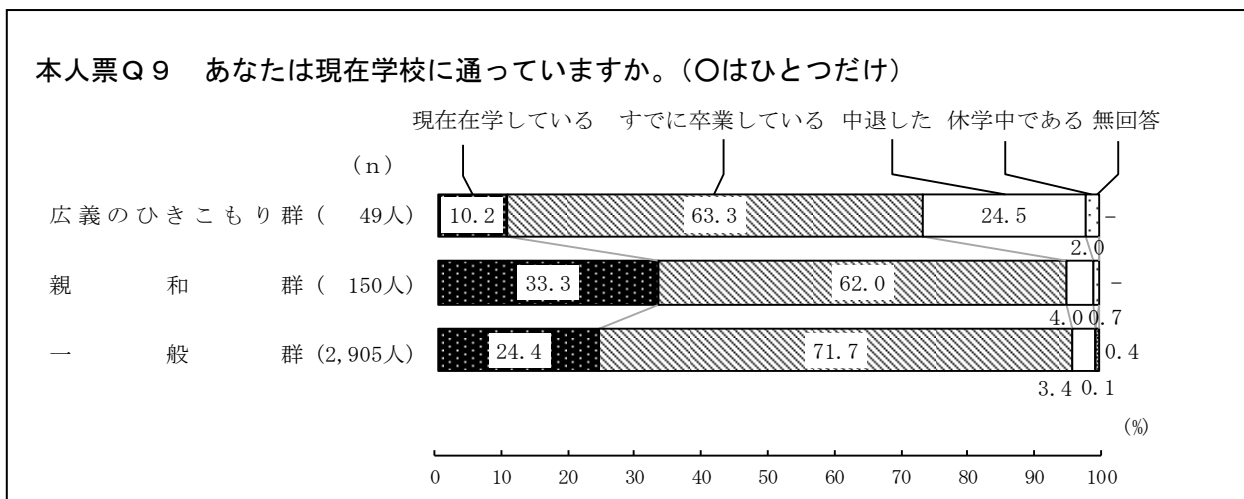
これまでに通院・入院経験のある病気やけがについて聞いたところ、「精神的な病気」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で18.4%、親和群で14.0%、一般群で4.5%であった。

また、「あてはまるものはない」と回答した者は、広義のひきこもり群で36.7%、親和群で39.3%、一般群で48.3%であった。

参考：前回（平成22年度）調査

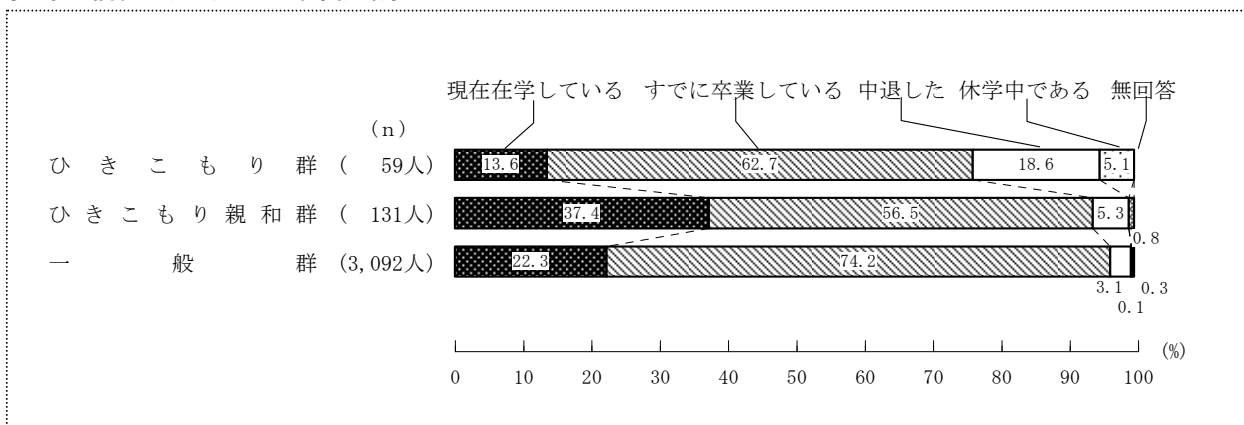


## 9 【本人票】通学状況



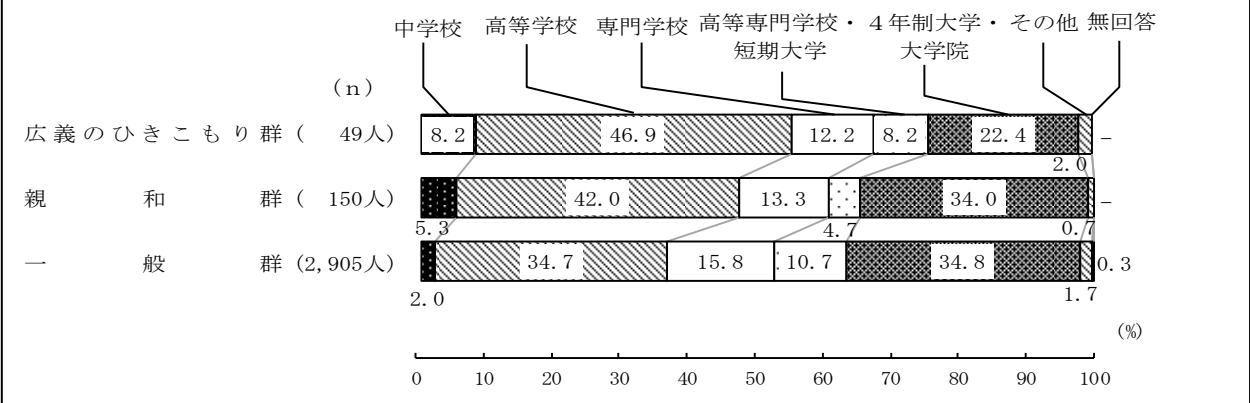
通学状況について聞いたところ、「現在在学している」と答えた者の割合は親和群で33.3%、「すでに卒業している」と答えた者の割合は一般群で71.7%、「中退した」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で24.5%、「休学中である」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で2.0%となっている。

### 参考：前回（平成22年度）調査



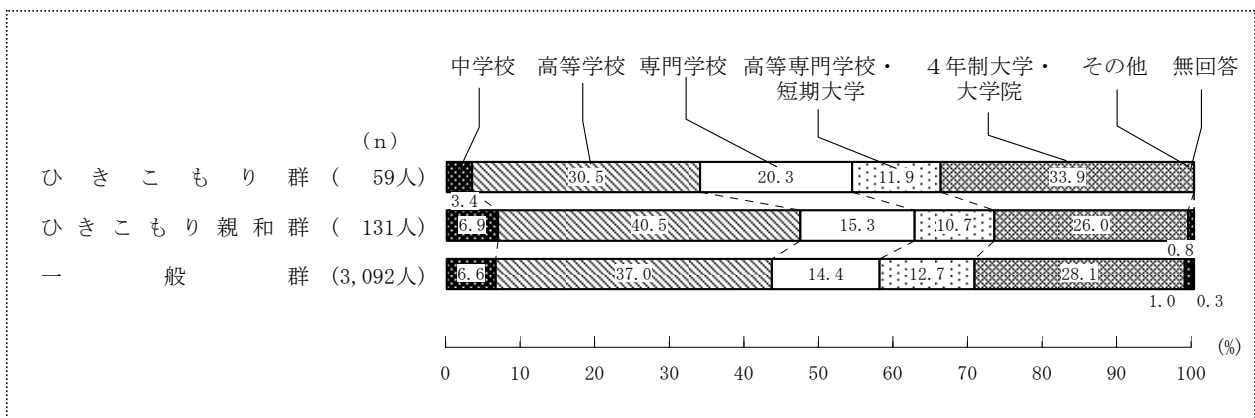
10 【本人票】卒業・在学中の学校

本人票Q10 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または現在在学している学校はどれですか。(〇はひとつだけ)

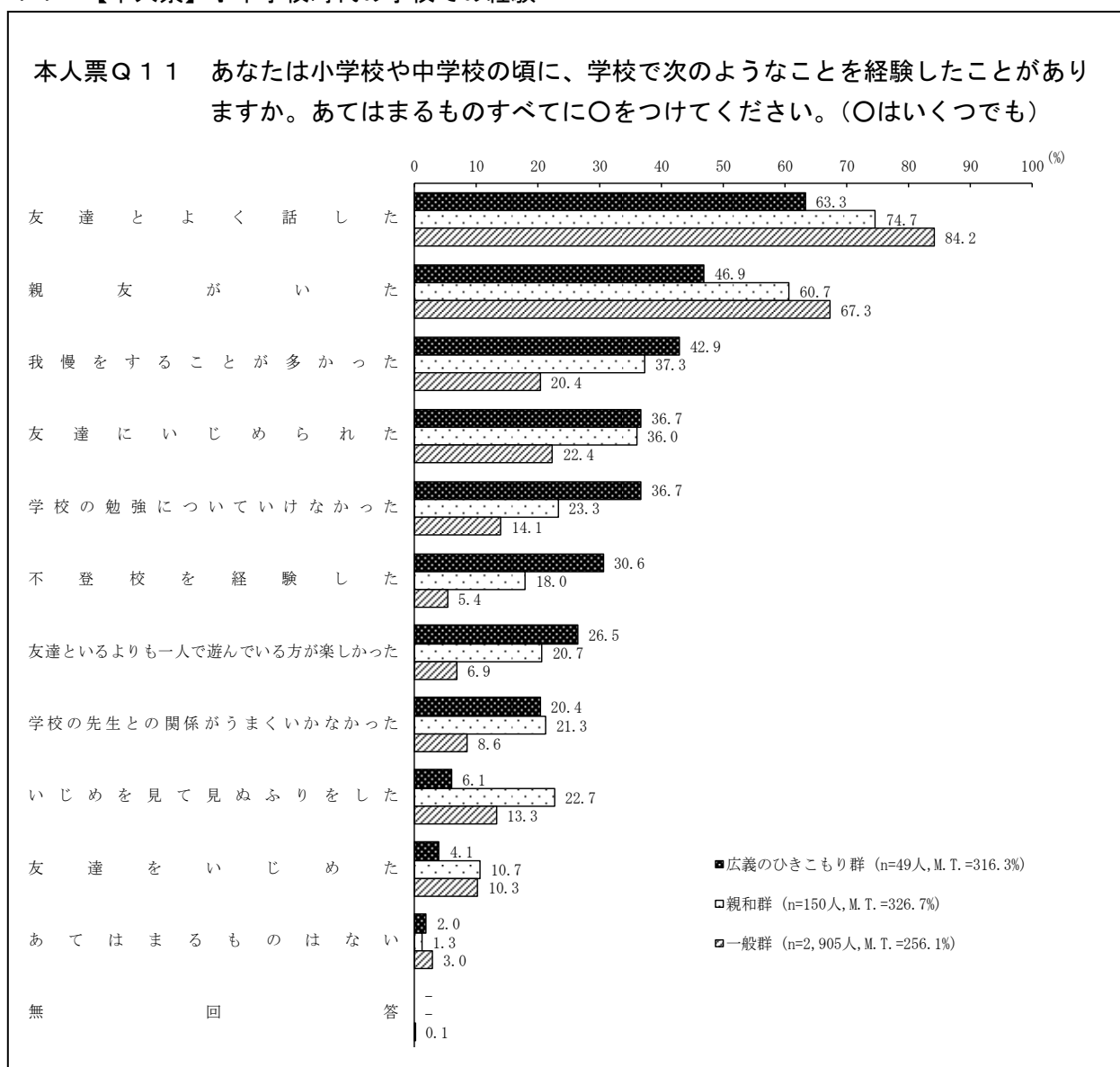


最後に卒業した、又は在学中の学校について聞いたところ、「中学校」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で8.2%、親和群で5.3%、一般群で2.0%となっている。「高等学校」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で46.9%、親和群で42.0%、一般群で34.7%となっている。「4年制大学・大学院」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で22.4%、親和群で34.0%、一般群で34.8%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



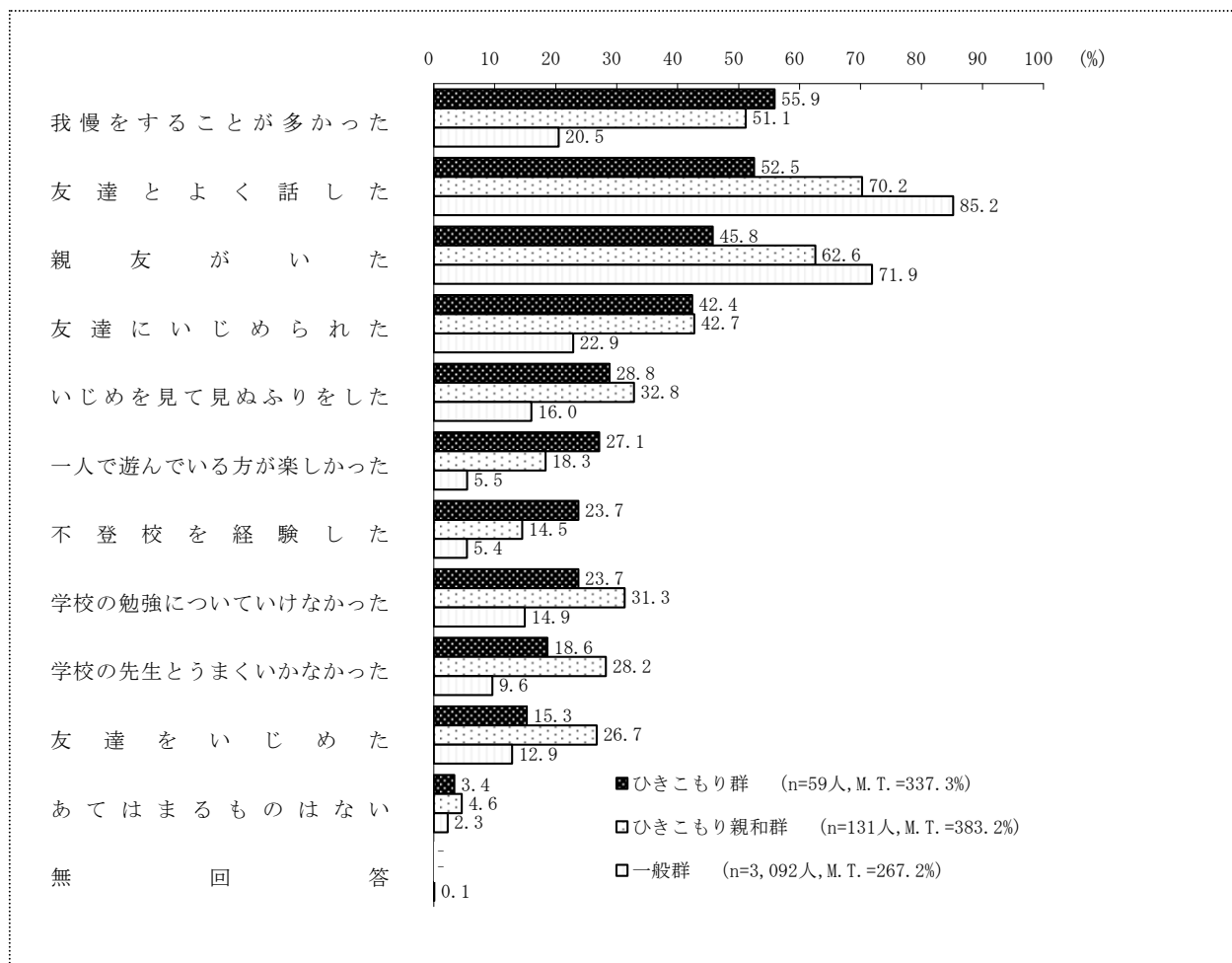
## 1 1 【本人票】小中学校時代の学校での経験



小中学校時代の学校の経験について聞いたところ、「友達とよく話した」をあげた者の割合は一般群で84.2%、「親友がいた」をあげた者の割合は一般群で67.3%「我慢をすることが多かった」をあげた者の割合は、広義のひきこもり群で42.9%、親和群で37.3%、「友達にいじめられた」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で36.7%、親和群で36.0%、「不登校を経験した」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で30.6%、親和群で18.0%となっている。

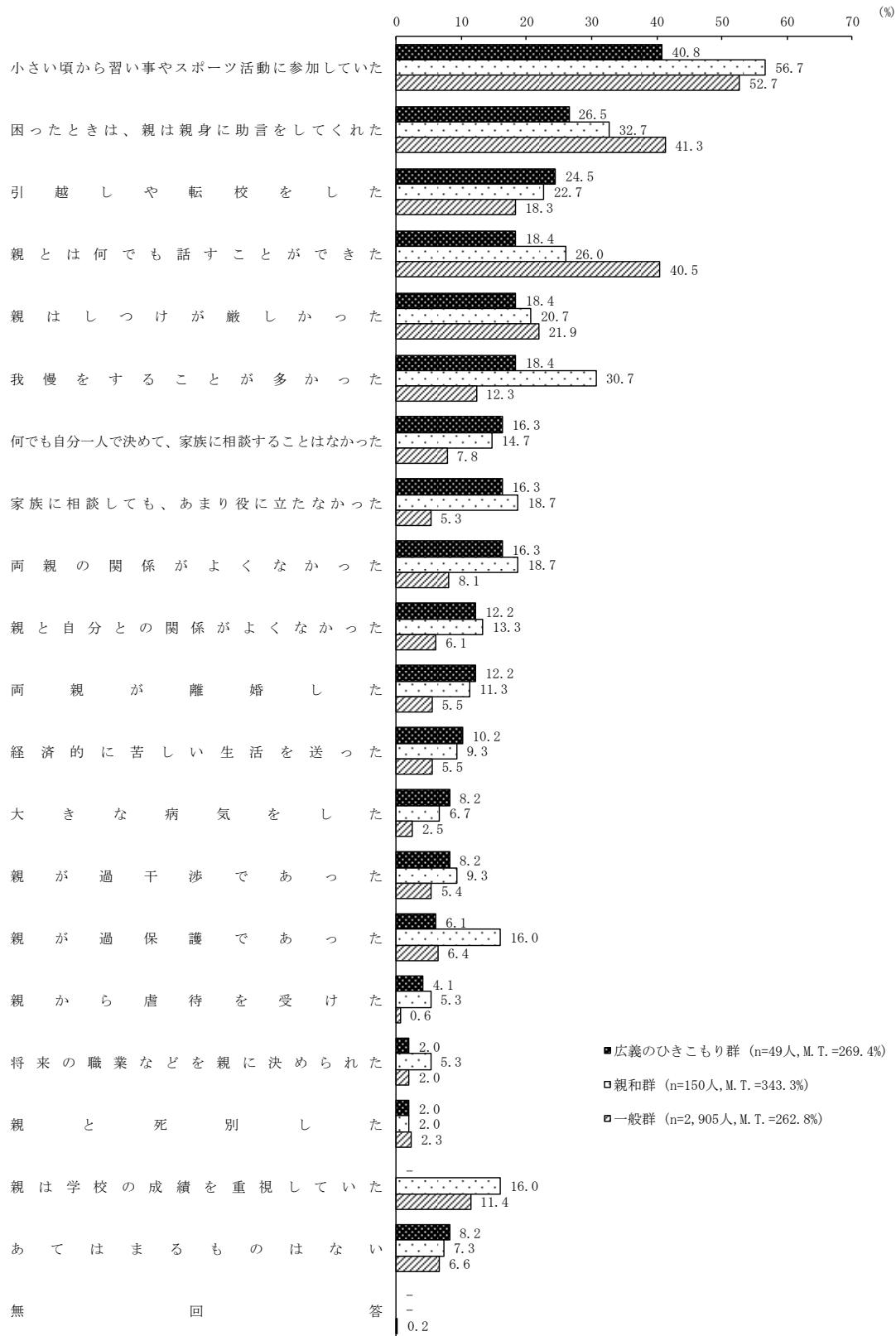


参考：前回（平成22年度）調査



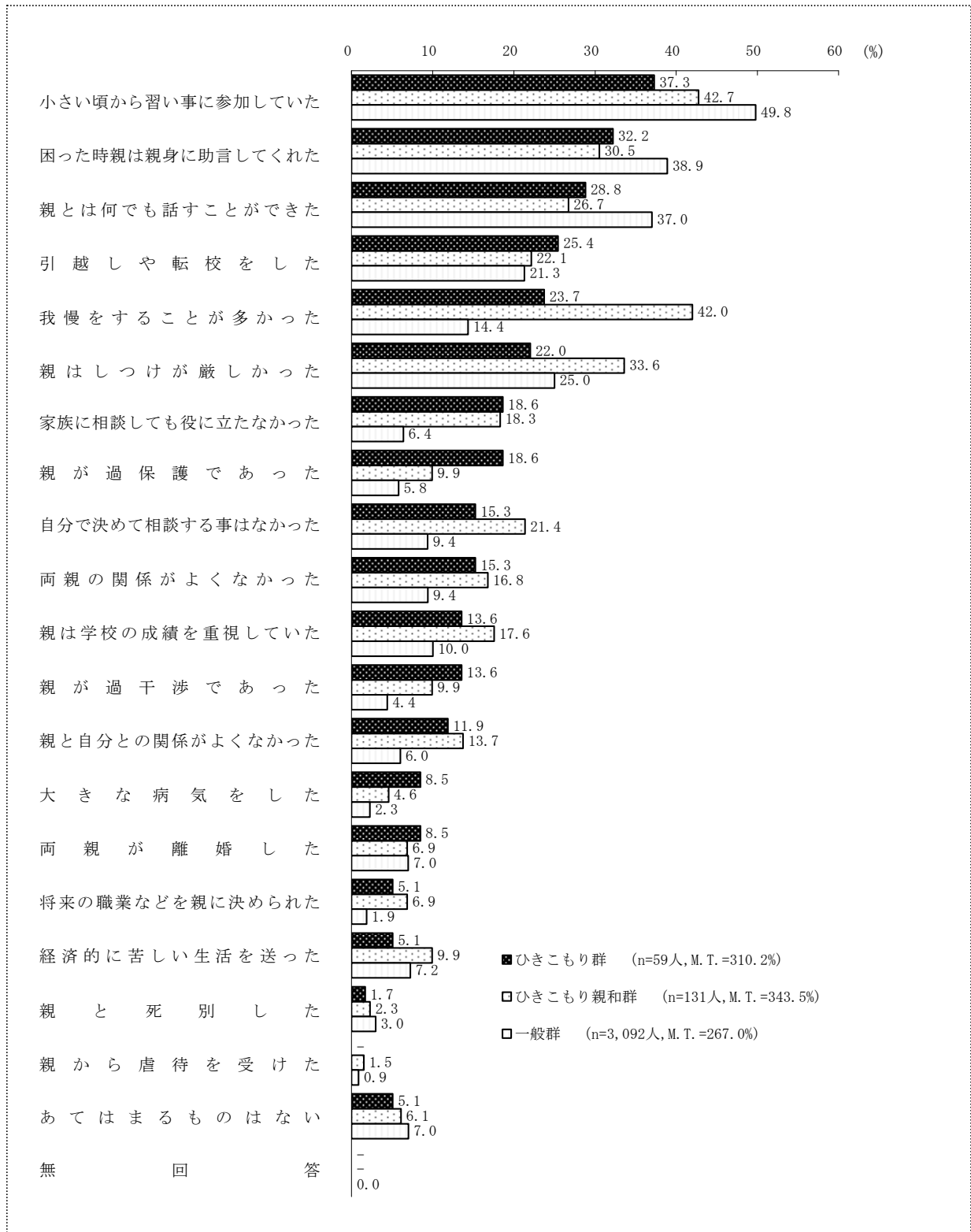
12 【本人票】小中学校時代の家庭での経験

本人票Q12 あなたは小学校や中学校の頃に、家庭で次のようなことを経験したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

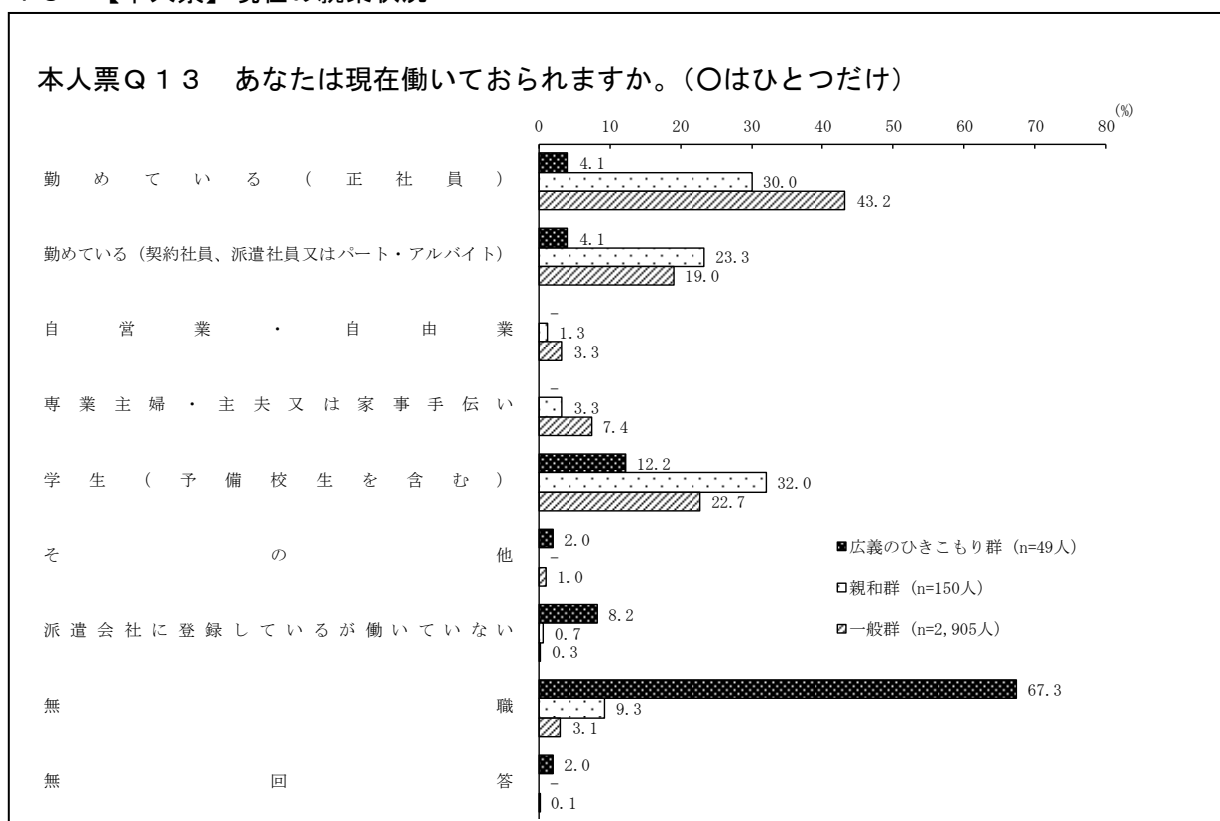


小・中学校時代の家庭での経験について聞いたところ、「困ったときは、親は親身に助言をしてくれた」をあげた者の割合は一般群で 41.3%、「親とは何でも話すことができた」をあげた者の割合は一般群で 40.5%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

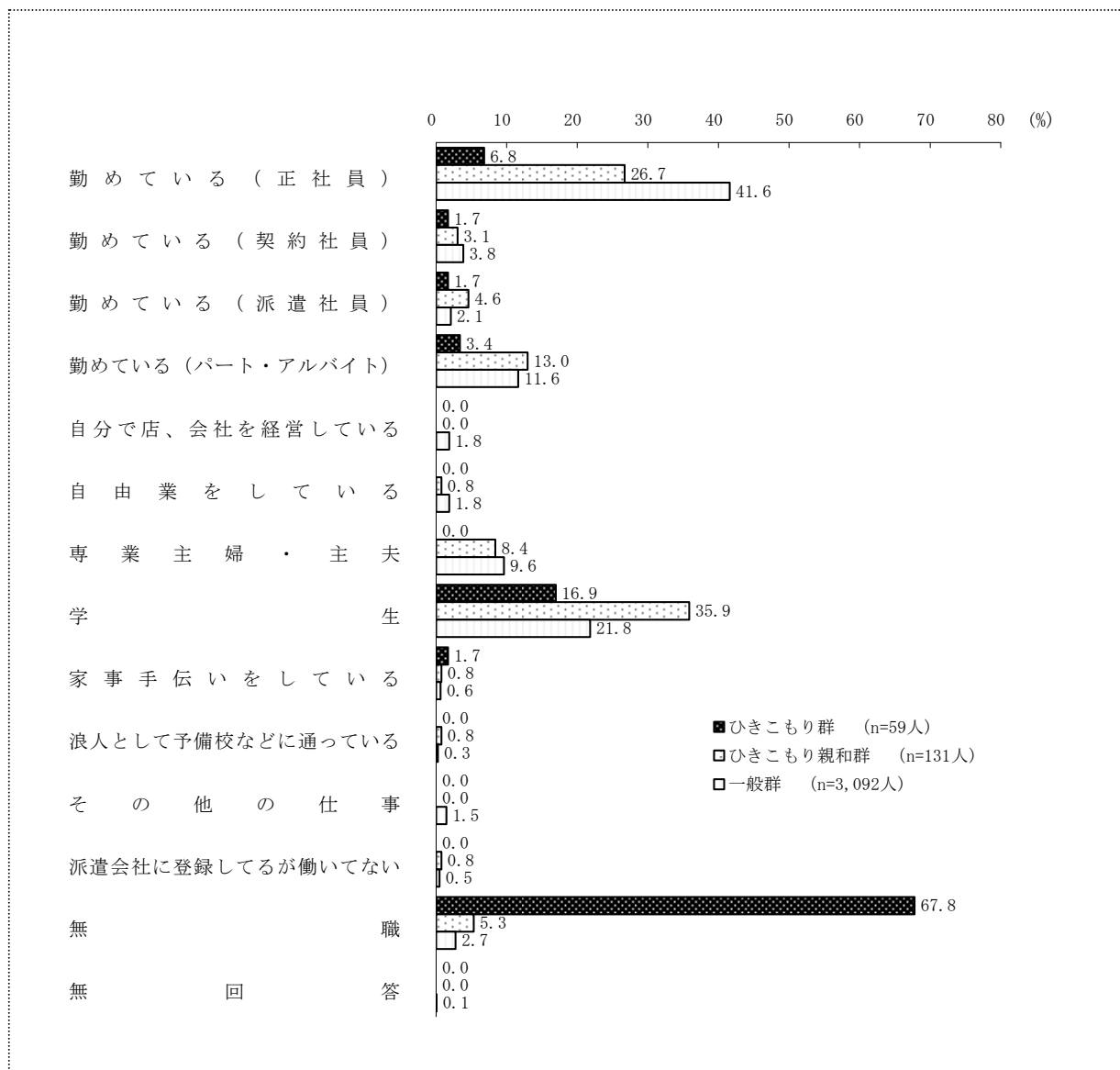


### 1 3 【本人票】現在の就業状況



現在の就業状況について聞いたところ、「勤めている」と答えた者の割合は一般群で43.2%、「専業主婦・主夫又は家事手伝い」と答えた者の割合は一般群で7.4%、「学生」と答えた者の割合は親和群で32.0%、「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で8.2%、「無職」と答えた者の割合は広義のひきこもり群で67.3%、親和群で9.3%となっている。

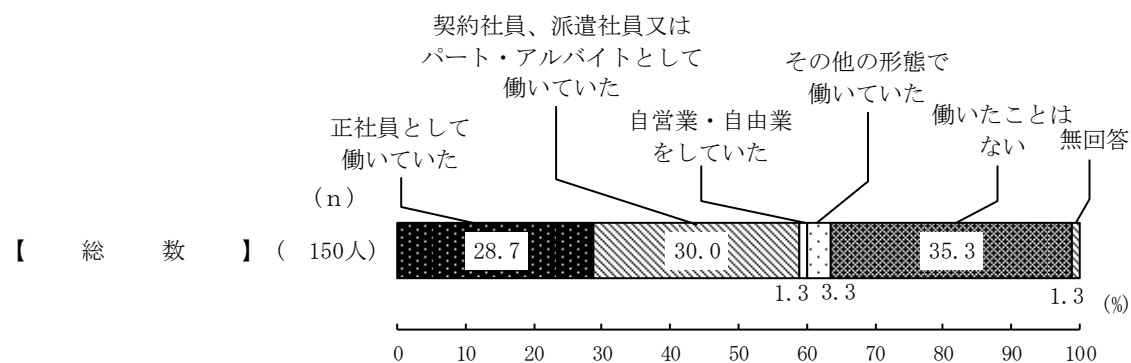
参考：前回（平成22年度）調査



#### 14 【本人票】働いた経験

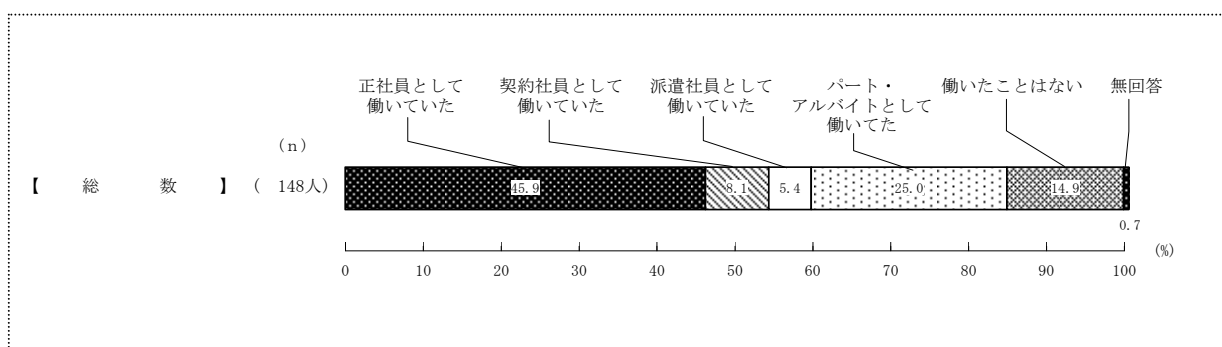
【Q13で、7.または8.とお答えになった方のみ、Q14～Q16に回答してください。】

本人票Q14 あなたは今までに働いていたことはありますか。(○はひとつだけ)



Q13で「7.派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、又は「8.無職」と答えた者に働いた経験を聞いたところ、「正社員として働いていた」と答えた者の割合が28.7%、「契約社員、派遣社員、パート・アルバイトとして働いていた」と答えた者の割合が30.0%で、「働いたことはない」と答えた者の割合が35.3%となっている。

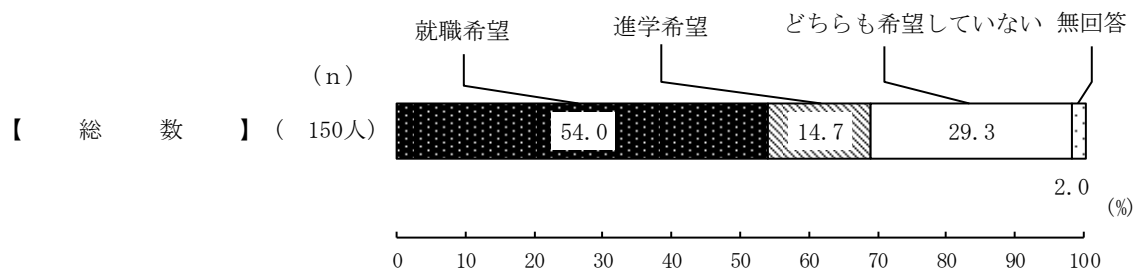
#### 参考（平成22年度）調査



## 15 【本人票】就職又は進学希望

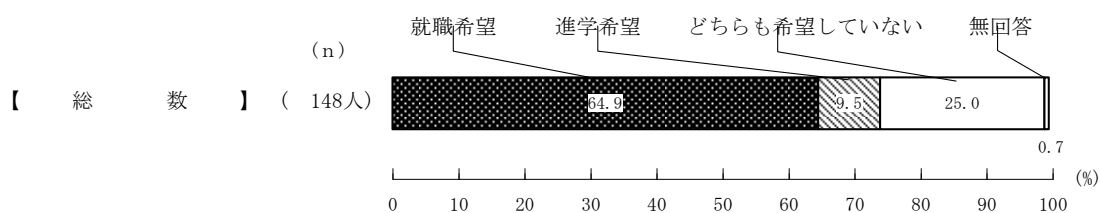
【Q13で、7.または8.とお答えになった方のみ、Q14～Q16に回答してください。】

本人票Q15 現在就職または進学を希望していますか。(〇はひとつだけ)



Q13で「7.派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、又は「8.無職」と答えた者に、現在就職又は進学を希望しているか聞いたところ、「就職希望」と答えた者の割合が54.0%、「進学希望」と答えた者の割合が14.7%、「どちらも希望していない」と答えた者の割合が29.3%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

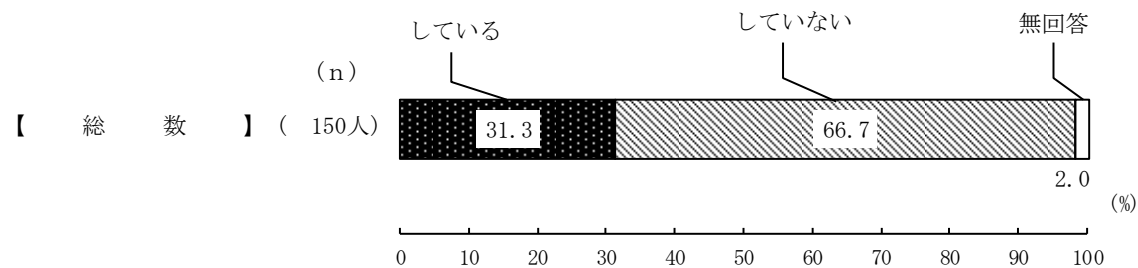




16 【本人票】就職活動

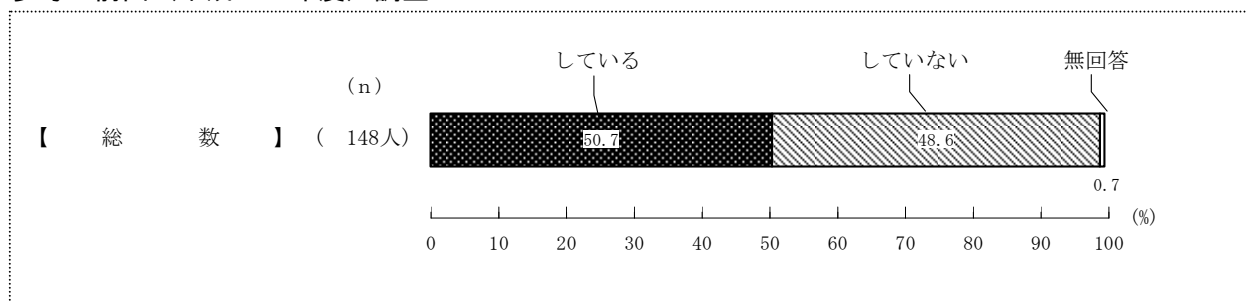
【Q13で、7.または8.とお答えになった方のみ、Q14～Q16に回答してください。】

本人票Q16 現在就職活動をしていますか。(〇はひとつだけ)



Q13で「7.派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」、又は「8.無職」と答えた者に、現在就職活動をしているか聞いたところ、「している」と答えた者の割合が31.3%、「していない」と答えた者の割合が66.7%となっている。

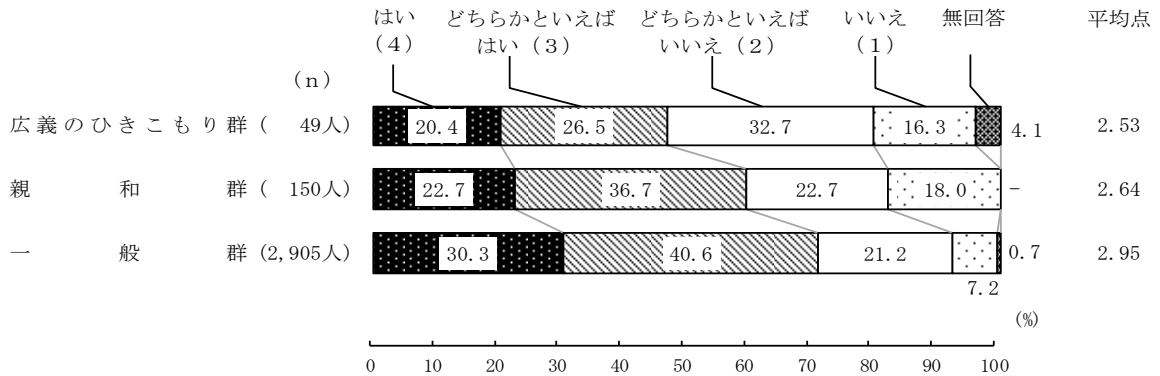
参考：前回（平成22年度）調査



17 【本人票】職業に関する考え方

本人票Q17 次に挙げられた職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまる番号に○をつけてください。(○はひとつの項目につきひとつ)

1. いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

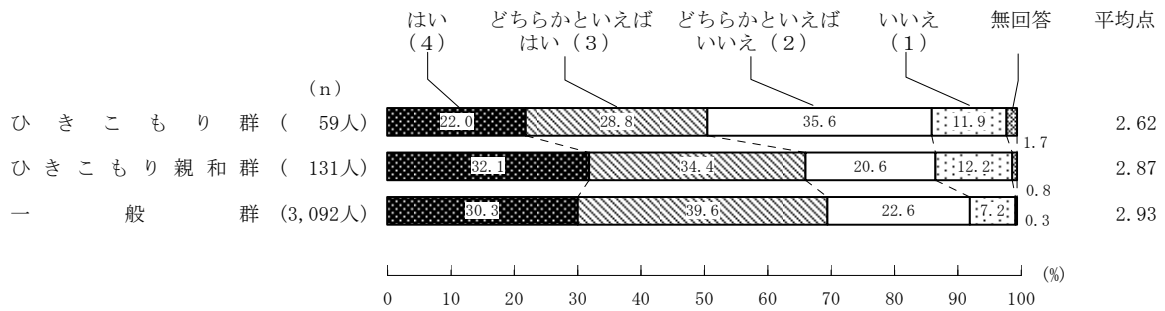


職業に関する4つの意見について、自分の考えにあてはまるか聞いた。

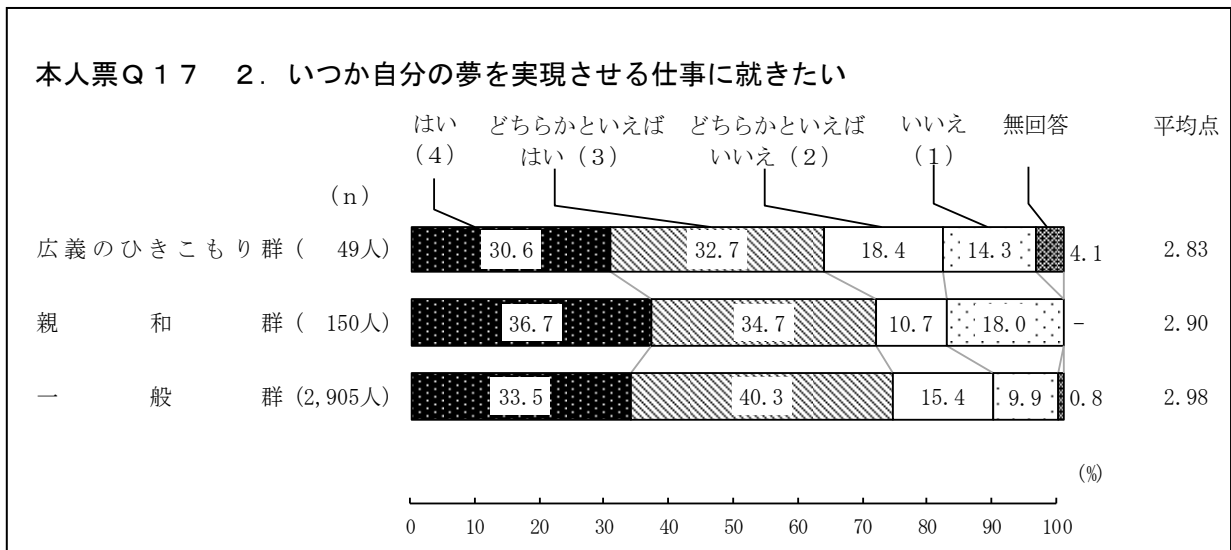
『いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で46.9%、親和群で59.3%、一般群で70.9%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

Q17 1. いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

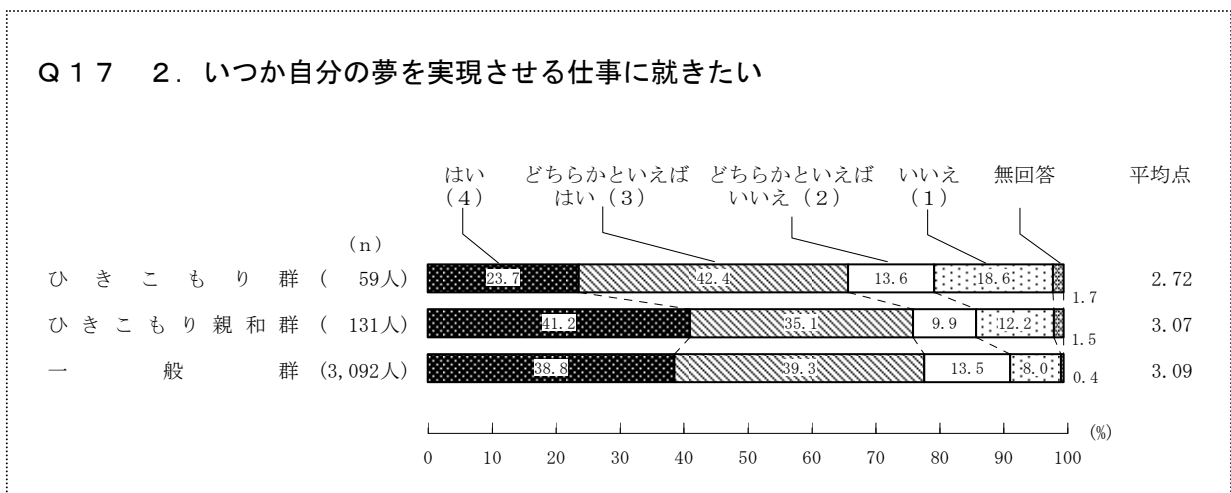


【本人票】

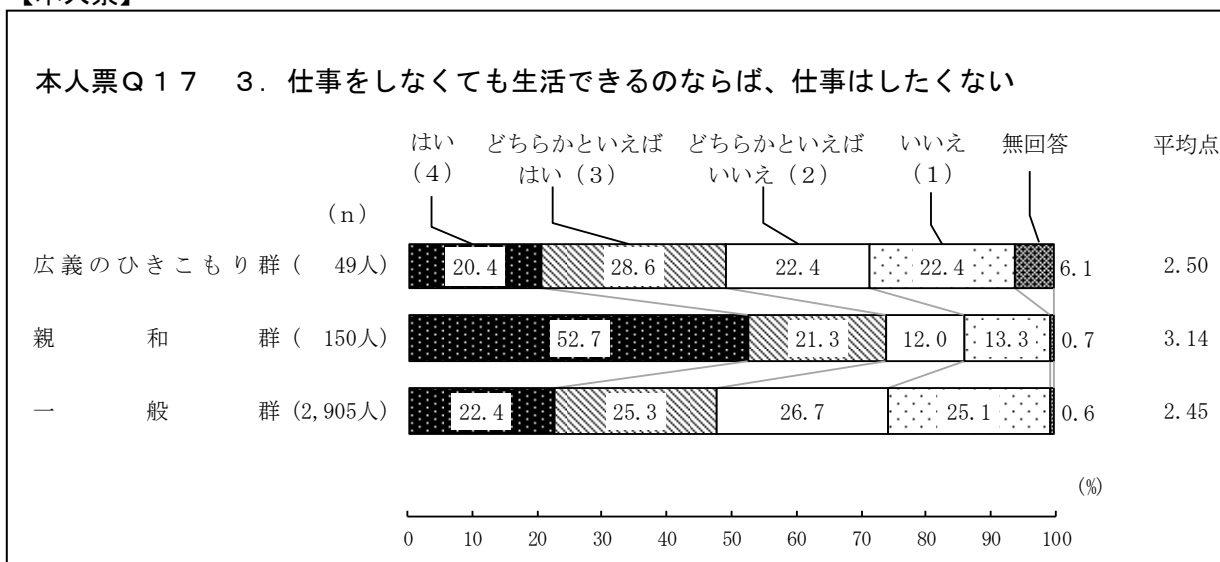


『いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい』について聞いたところ、『はい』（「はい」＋「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で63.3%、親和群で71.3%、一般群で73.9%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

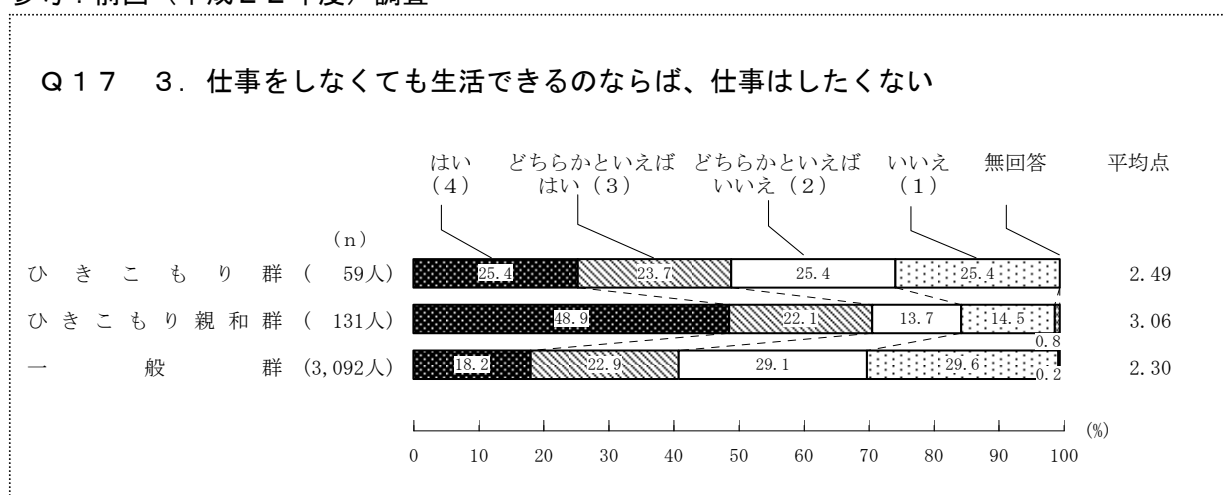


【本人票】

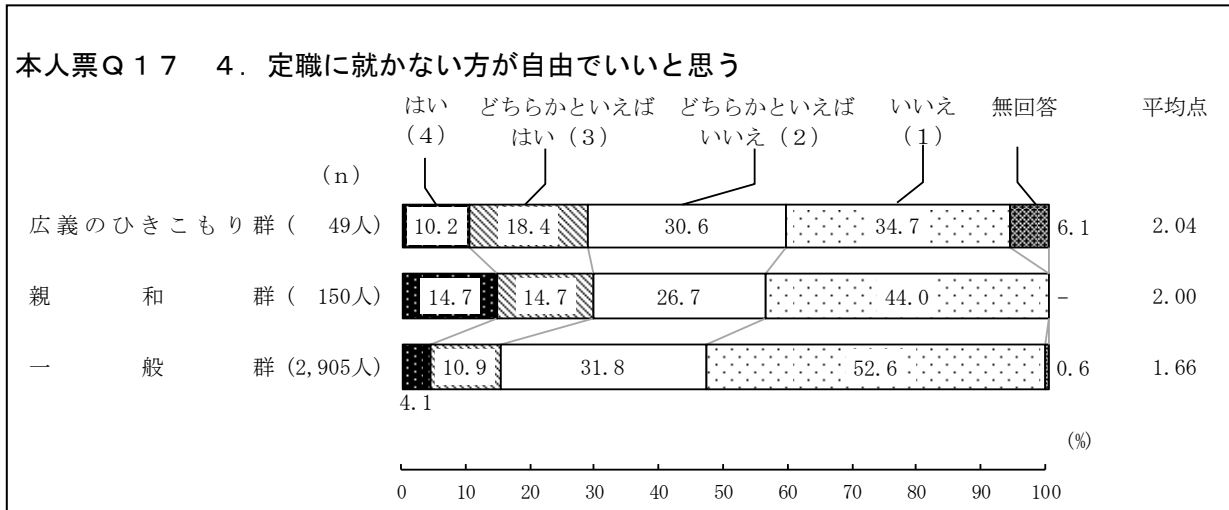


『仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で49.0%、親和群で74.0%、一般群では47.7%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

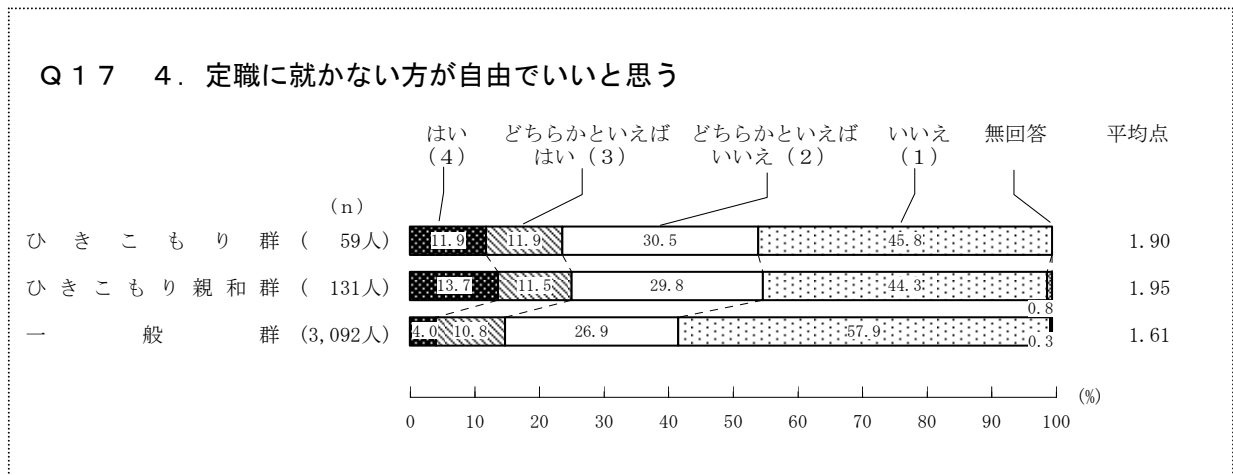


【本人票】

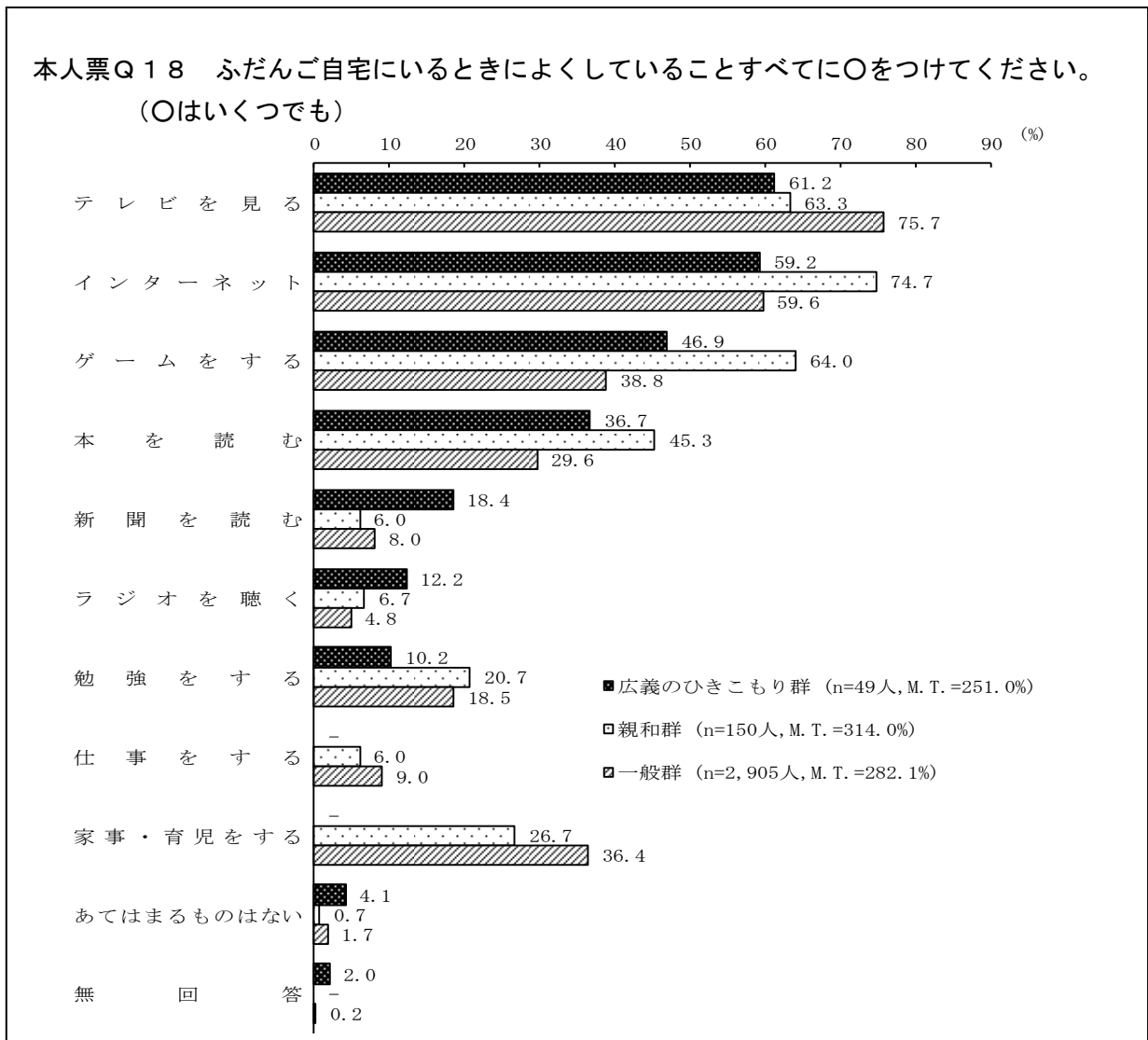


『定職に就かない方が自由でいいと思う』について聞いたところ、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえばいいえ」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で65.3%、親和群で70.7%、一般群で84.4%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

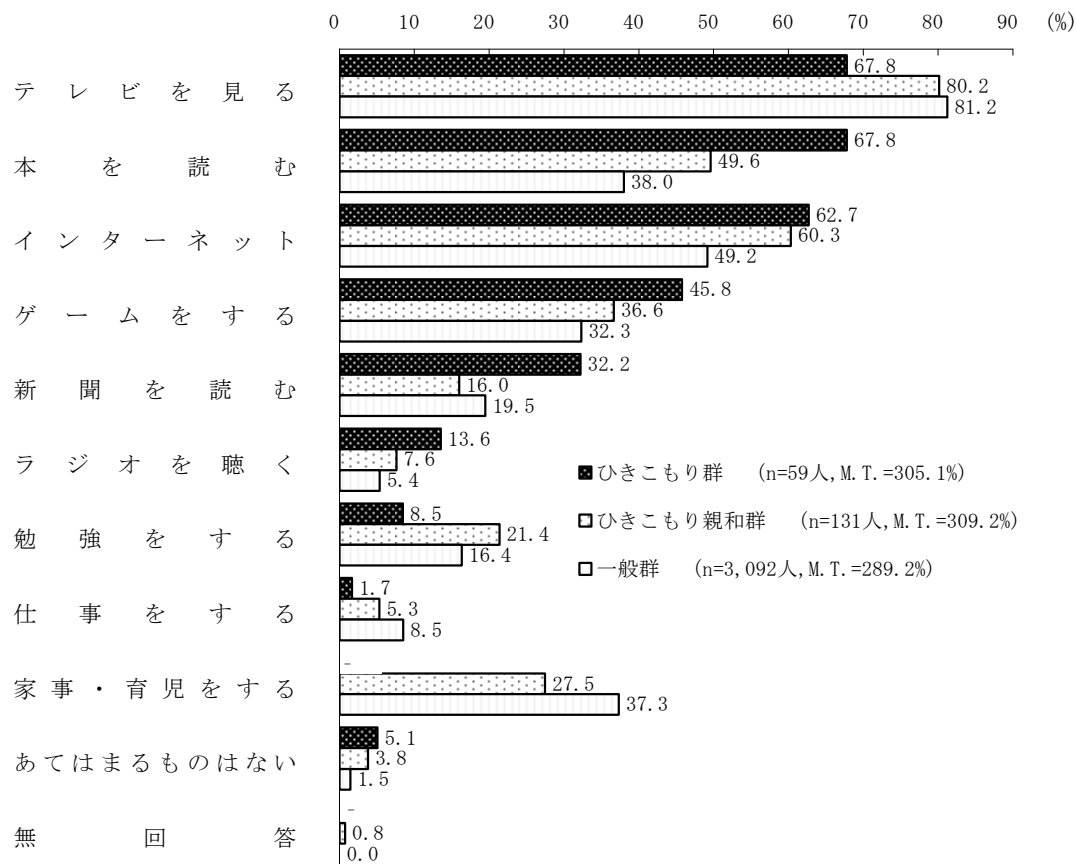


18 【本人票】ふだん自宅をよくしていること



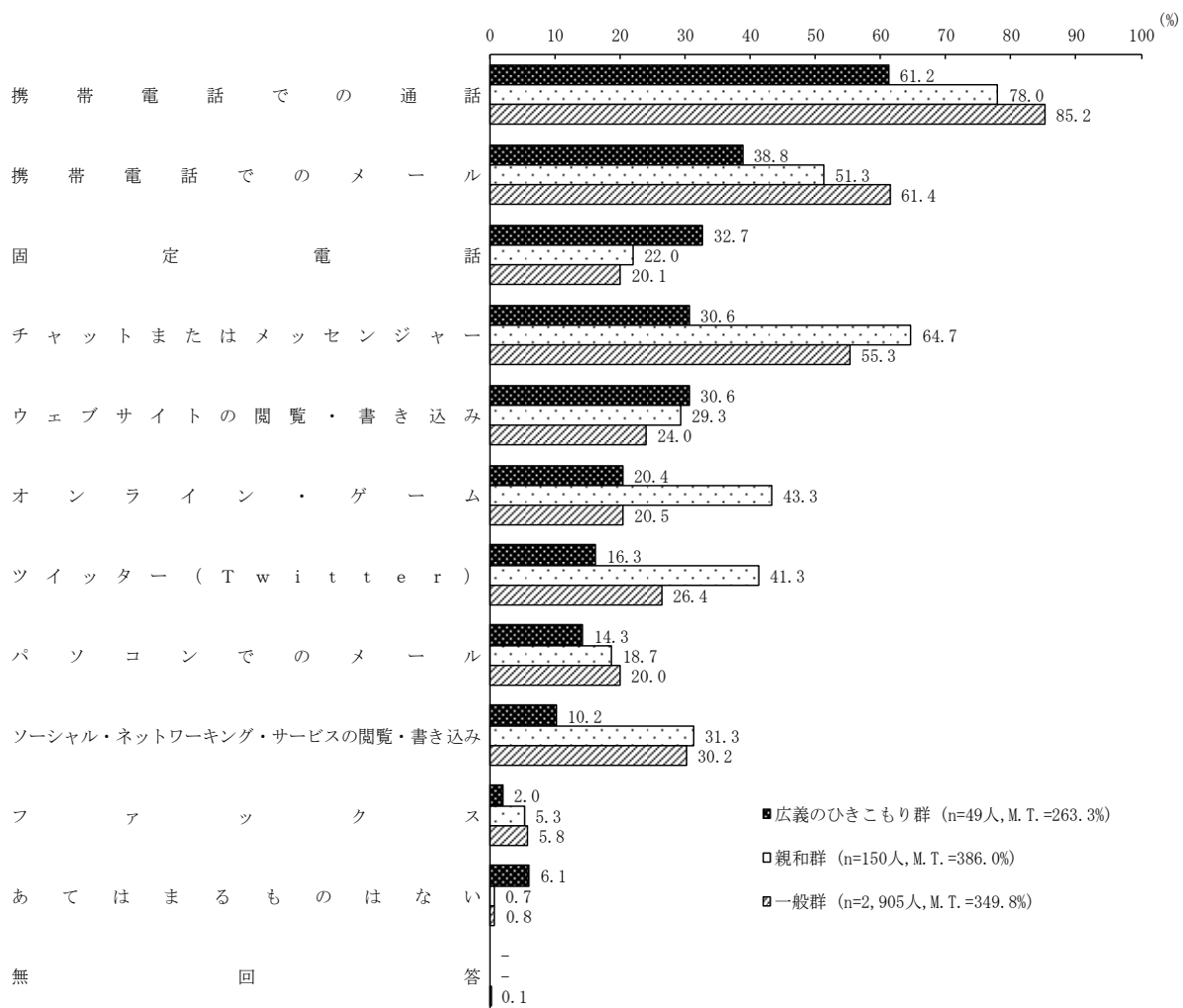
ふだん自宅をよくしていることについて聞いたところ、「テレビを見る」をあげた者の割合は一般群で75.7%、「新聞を読む」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で18.4%、「ラジオを聴く」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で12.2%となっている。

Q18 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。  
 (○はいくつでも)



19 【本人票】通信手段でふだん利用しているもの

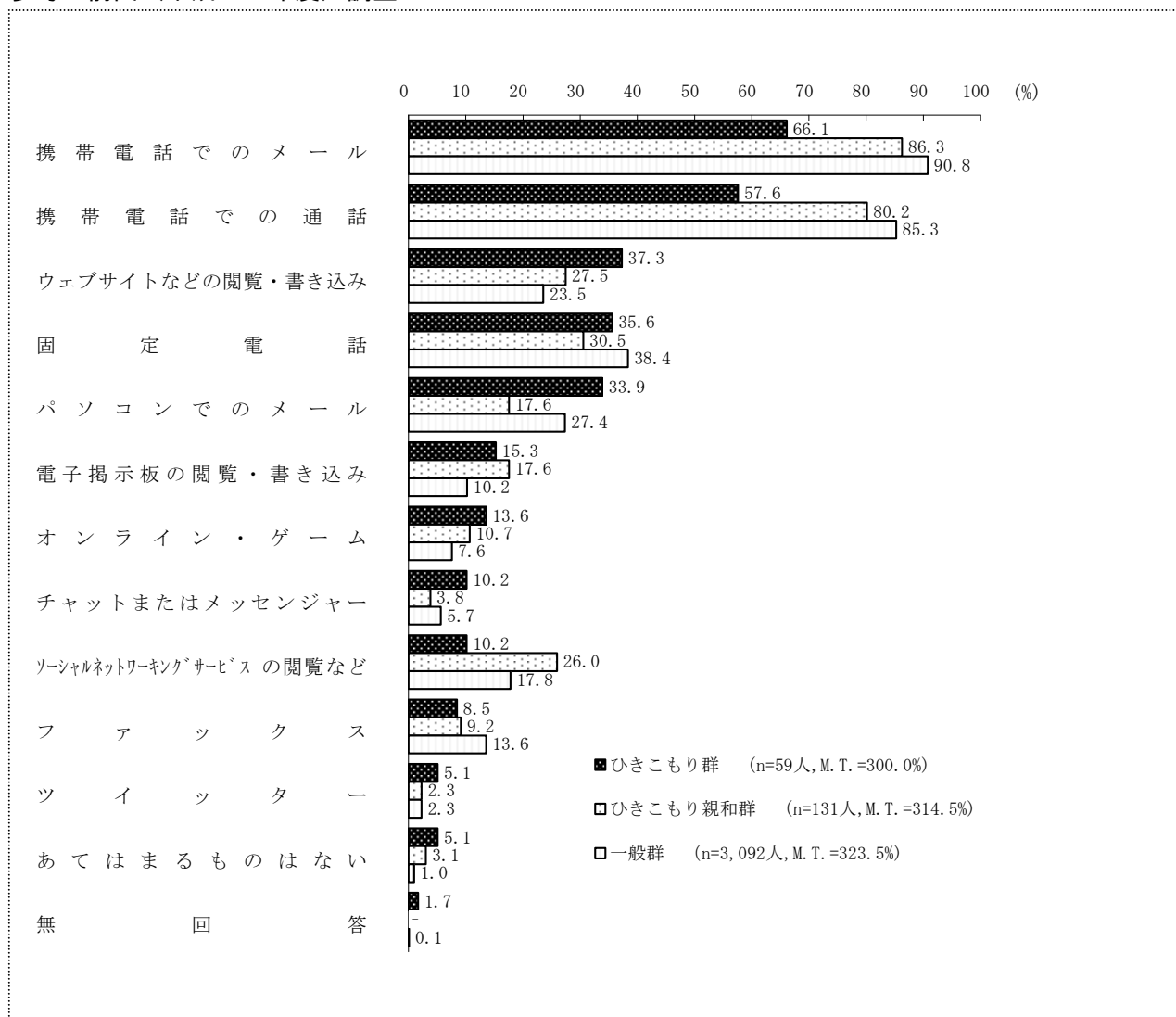
本人票Q19 以下に挙げられた通信手段の中で、ふだん利用しているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



通信手段でふだん利用しているものについて聞いたところ、「携帯電話での通話」をあげた者の割合は一般群で85.2%、「携帯電話でのメール」をあげた者の割合は一般群で61.4%、「固定電話」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で32.7%、「あてはまるものはない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で6.1%となっている。



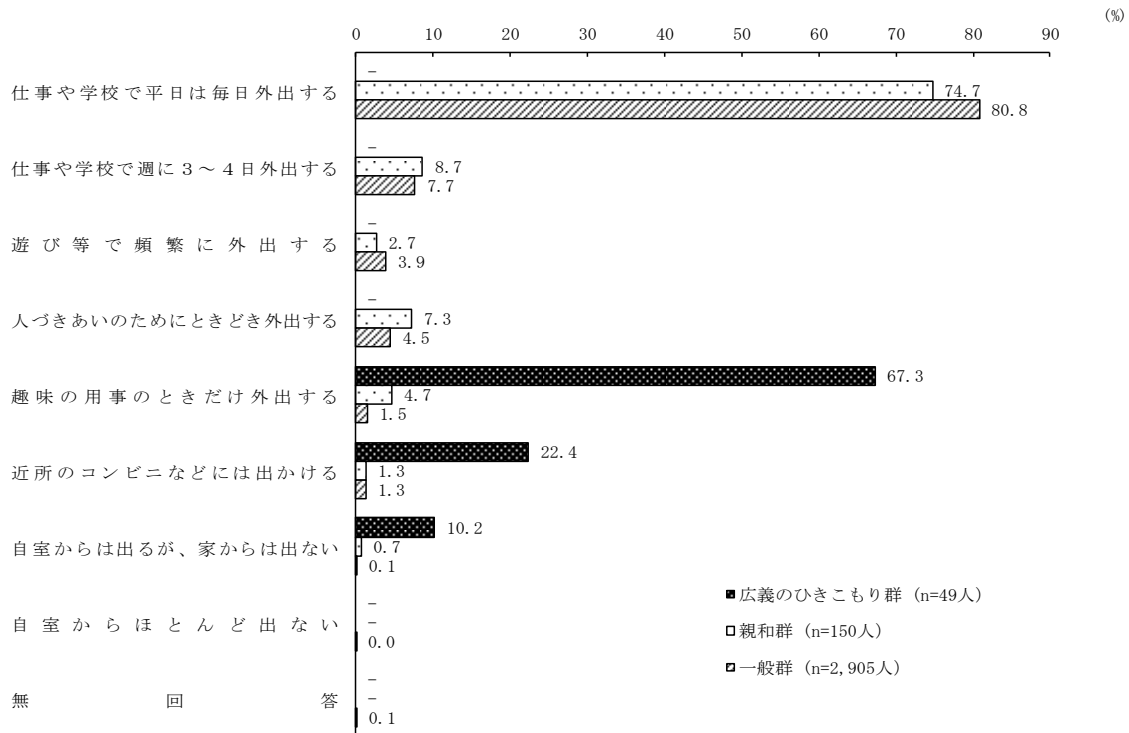
参考：前回（平成22年度）調査



※Q20の設問は、広義のひきこもり群を定義するために使用している。

20 【本人票】ふだんの外出頻度

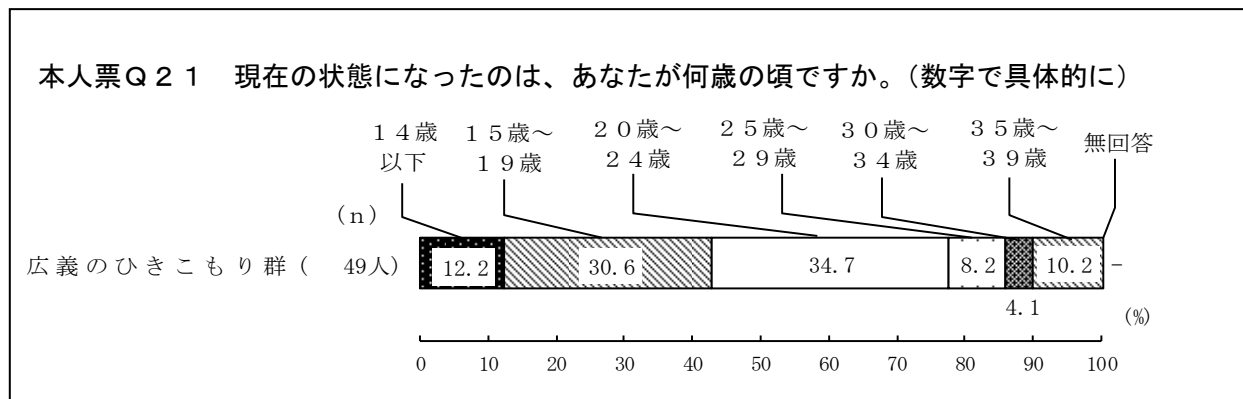
本人票Q20 ふだんどのくらい外出しますか。(〇はひとつだけ)



※本人票Q21～SQ26\_1は、本人票Q20において外出頻度が低かった者（本人票Q20において5～8を選択した者）のみが回答する項目となっている。

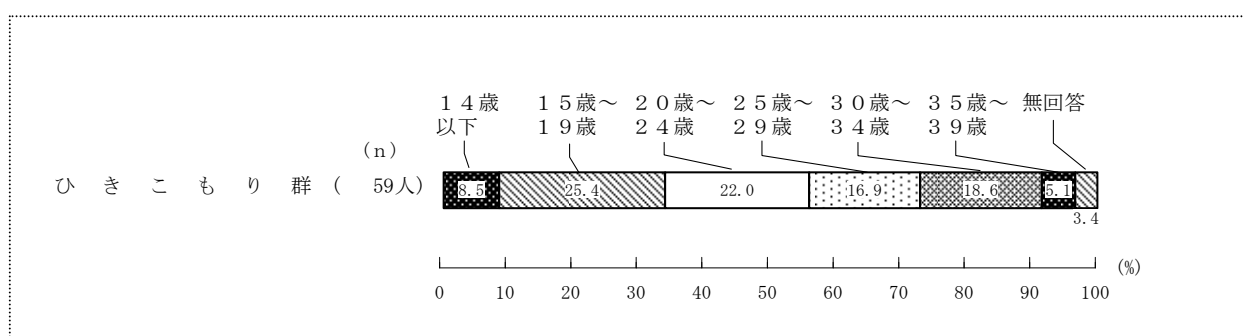
本報告書では、その中でも広義のひきこもり群に該当する者の結果について記載する。

## 2.1 【本人票】ひきこもりの状態になった年齢

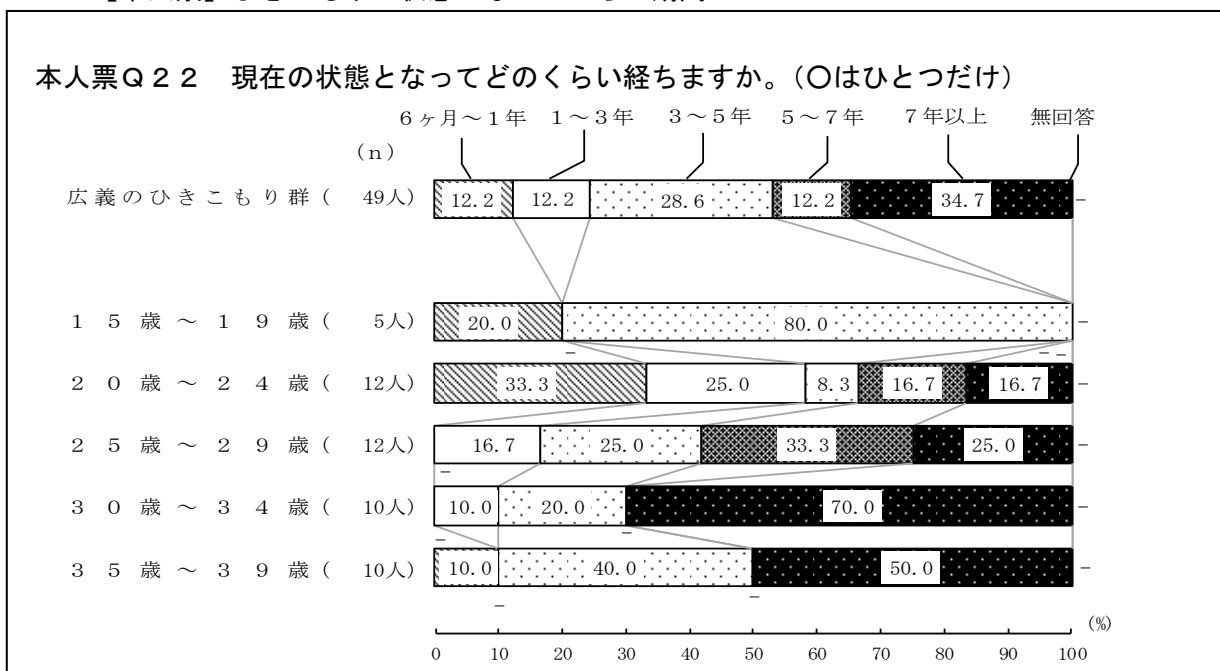


現在の状態になったのは何歳の頃か聞いたところ、「14歳以下」が12.2%、「15～19歳」が30.6%、「20～24歳」が34.7%、「25～29歳」が8.2%、「30～34歳」が4.1%、「35～39歳」が10.2%となっている。

### 参考：前回（平成22年度）調査

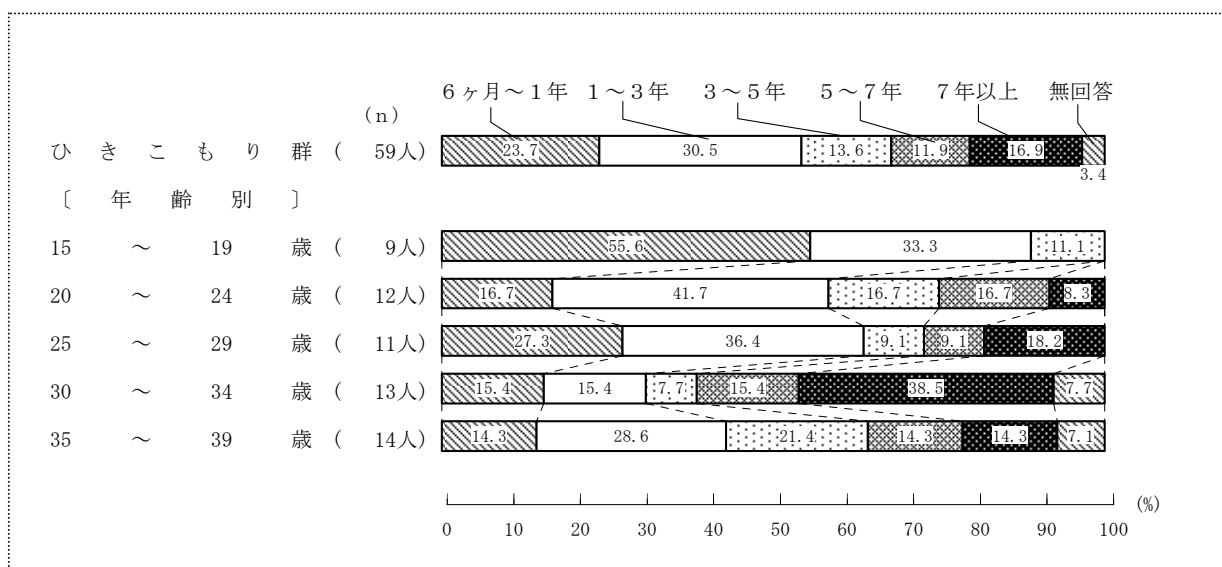


## 2.2 【本人票】ひきこもりの状態になってからの期間

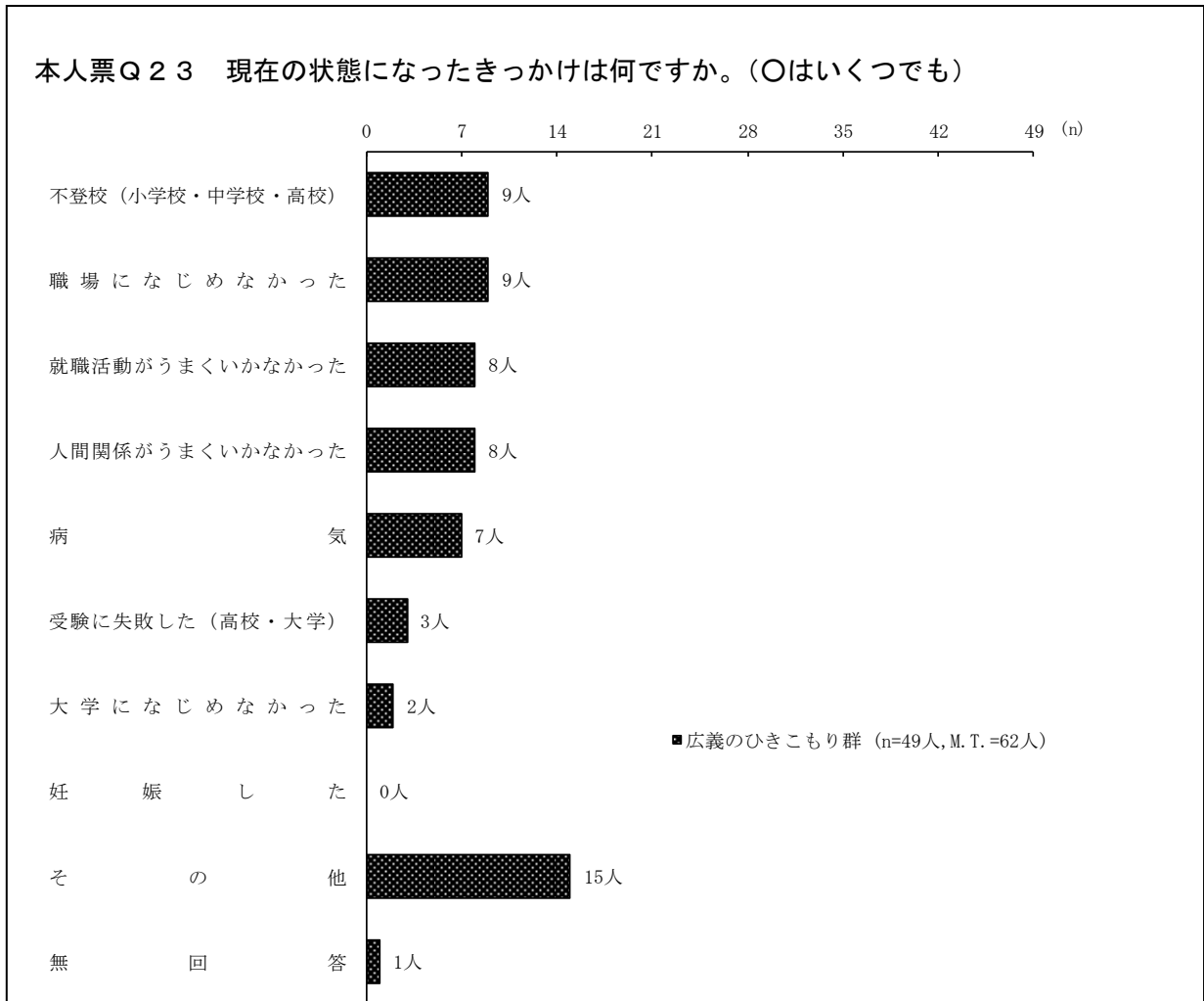


現在の状態になってからの期間を聞いたところ、「6ヶ月～1年」と答えた者の割合が12.2%、「1～3年」と答えた者の割合が12.2%、「3～5年」と答えた者の割合が28.6%、「5～7年」と答えた者の割合が12.2%、「7年以上」と答えた者の割合が34.7%となっている。

### 参考：前回（平成22年度）調査



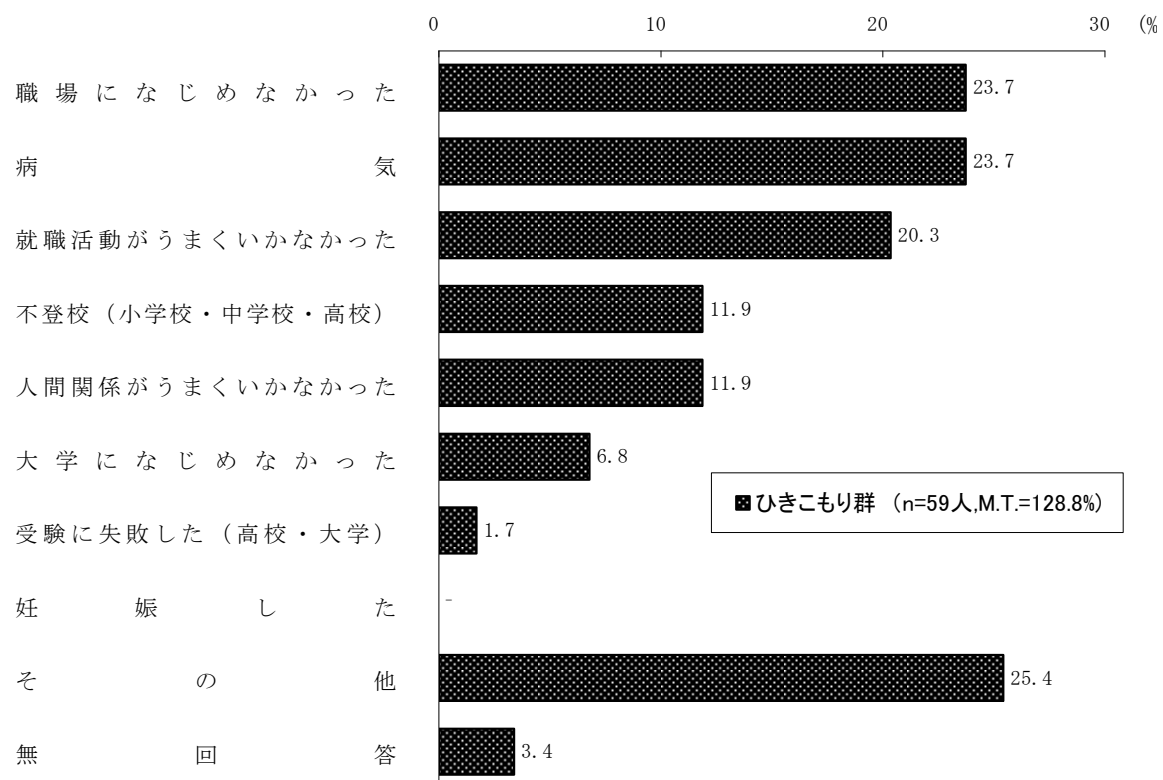
## 2 3 【本人票】ひきこもりの状態になったきっかけ



現在の状態になったきっかけを49人に聞いたところ、「不登校」、「職場になじめなかった」をあげた者がそれぞれ9人、以下、「就職活動がうまくいかなかった」、「人間関係がうまくいかなかった」(8人)、病気(7人)、「受験に失敗した」(3人)、「大学になじめなかった」(2人)となっている。

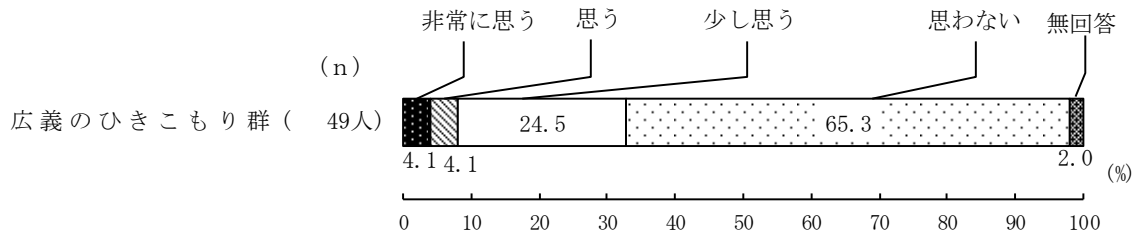
なお、「その他」(15人)については、「無気力」、「特に理由はない」、「インドアなので」、「特に思いつかない」、「会社が営業譲渡された」、「好きな事をしていたいから」などを記載した者のほか、具体的な記載がない者も多かった。

Q23 現在の状態になったきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）



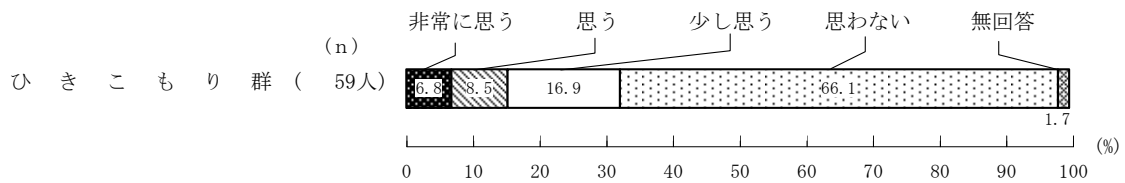
2.4 【本人票】ひきこもりの状態について、関係機関に相談したいか

本人票Q24 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

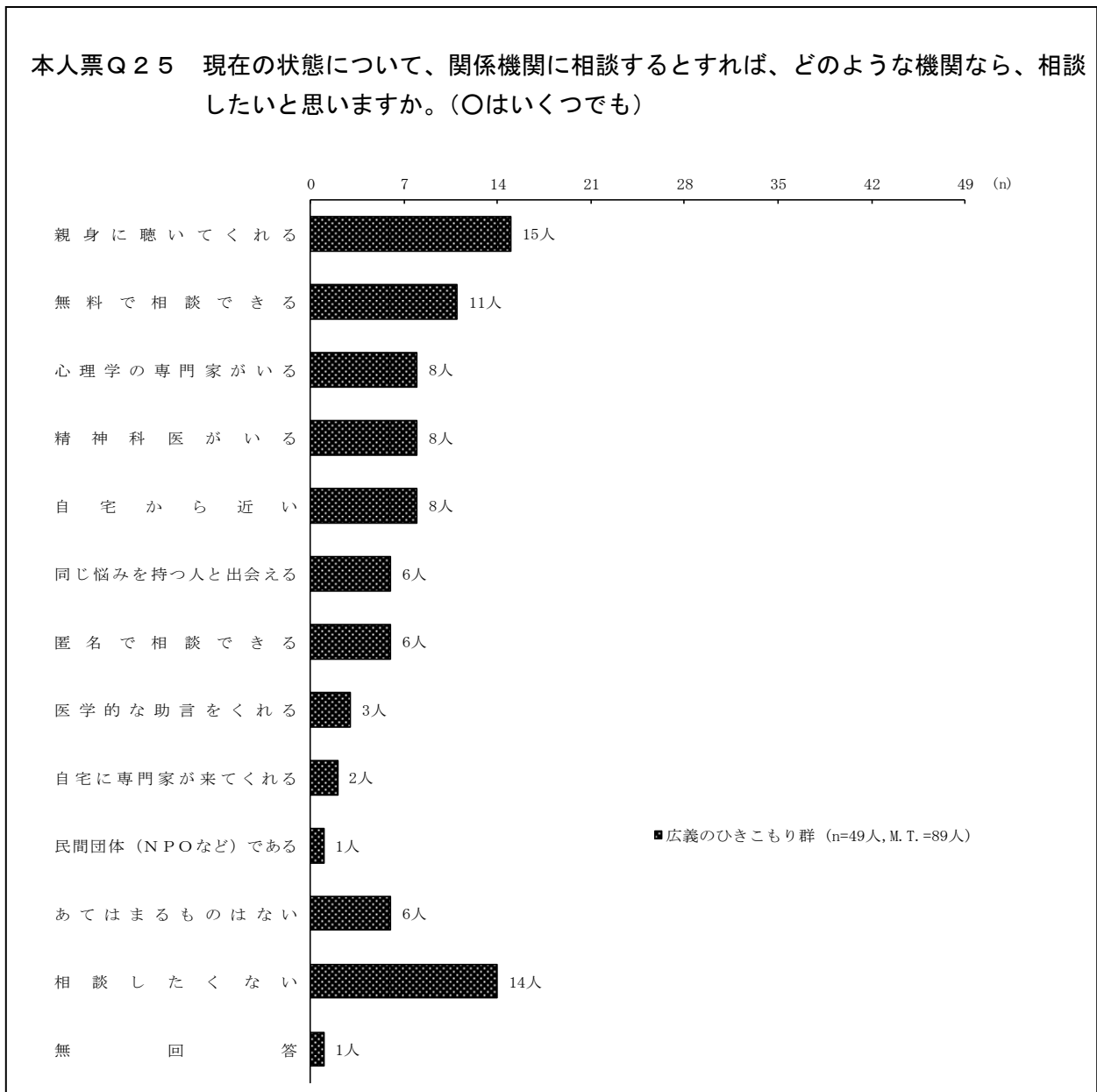


現在の状態について、関係機関に相談したいか聞いたところ、「非常に思う」と答えた者は4.1%、「思う」は4.1%、「少し思う」は24.5%、「思わない」は65.3%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



## 25 【本人票】ひきこもりの状態をどのような機関なら相談したいか

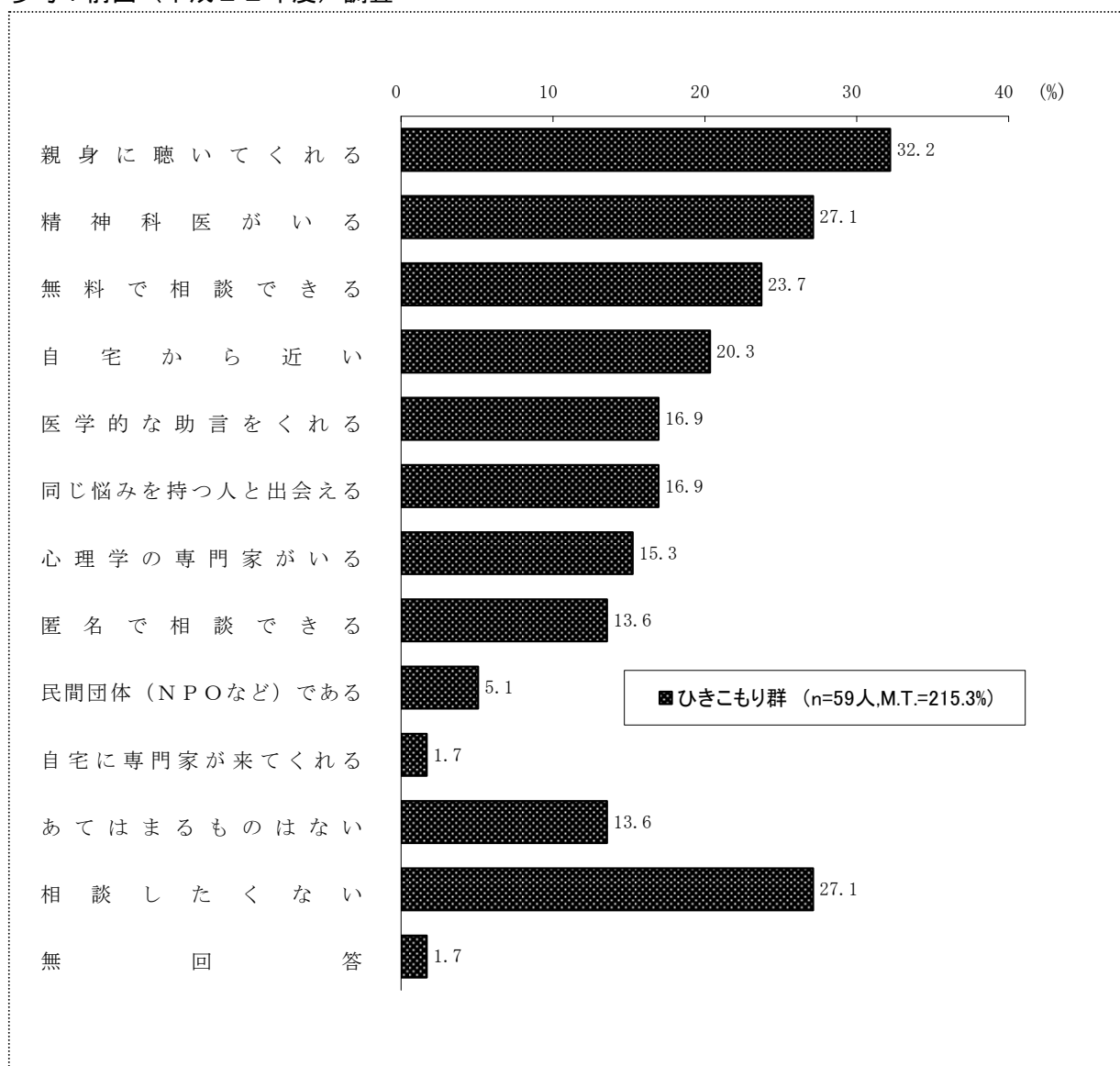


現在の状態を関係機関に相談するとすればどのような機関なら相談したいか 49人に聞いたところ、「親身に聴いてくれる」をあげた者が15人、以下、「無料で相談できる」(11人)、「心理学の専門家がいる」、「精神科医がいる」、「自宅から近い」(8人)、「同じ悩みを持つ人と出会える」、「匿名で相談できる」(6人)、「医学的な助言をくれる」(3人)、「自宅に専門家が来てくれる」(2人)、「公的機関の人や民間団体である」(1人)となっている。

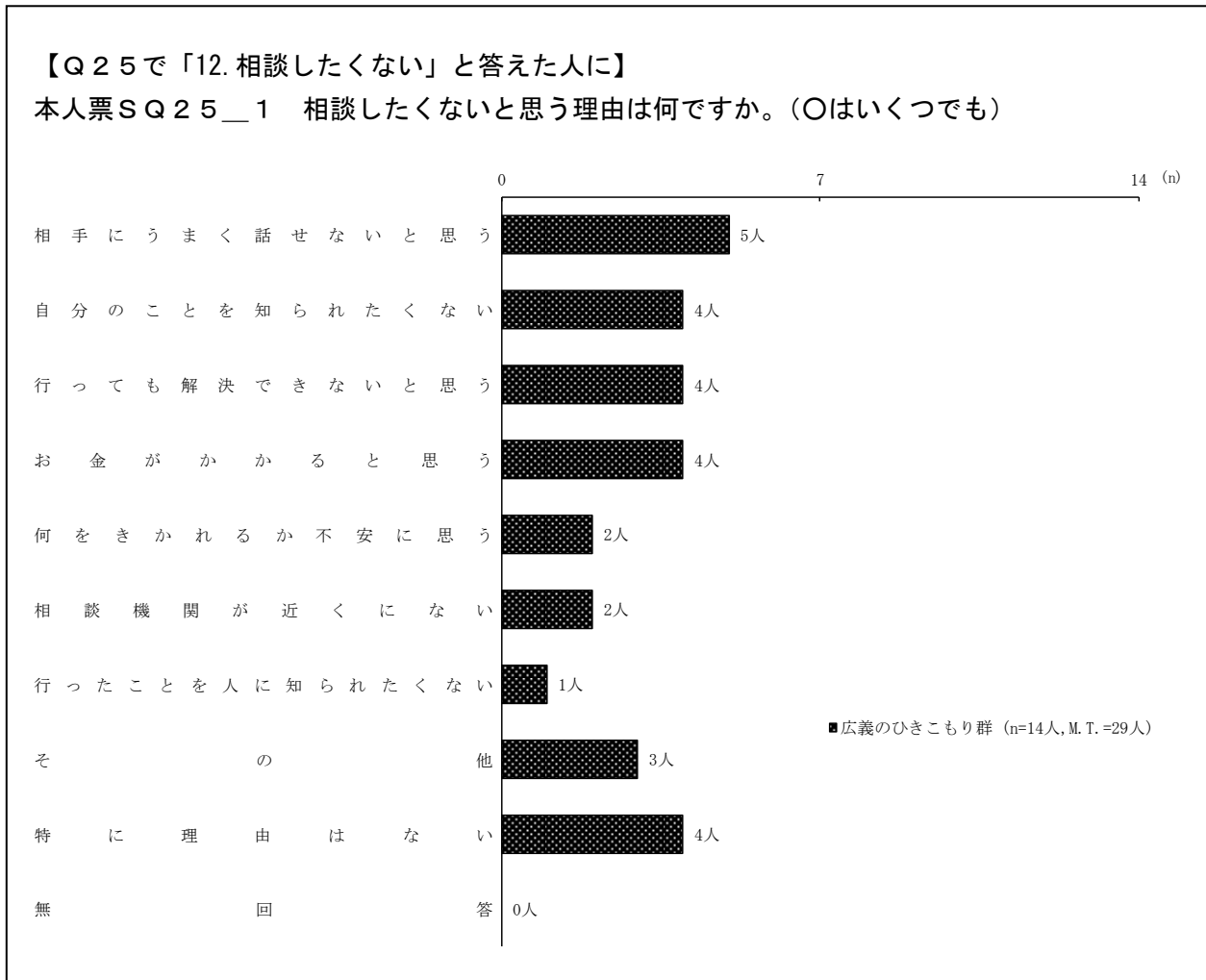
なお、「どのような機関にも相談したくない」は14人となっている。



参考：前回（平成22年度）調査



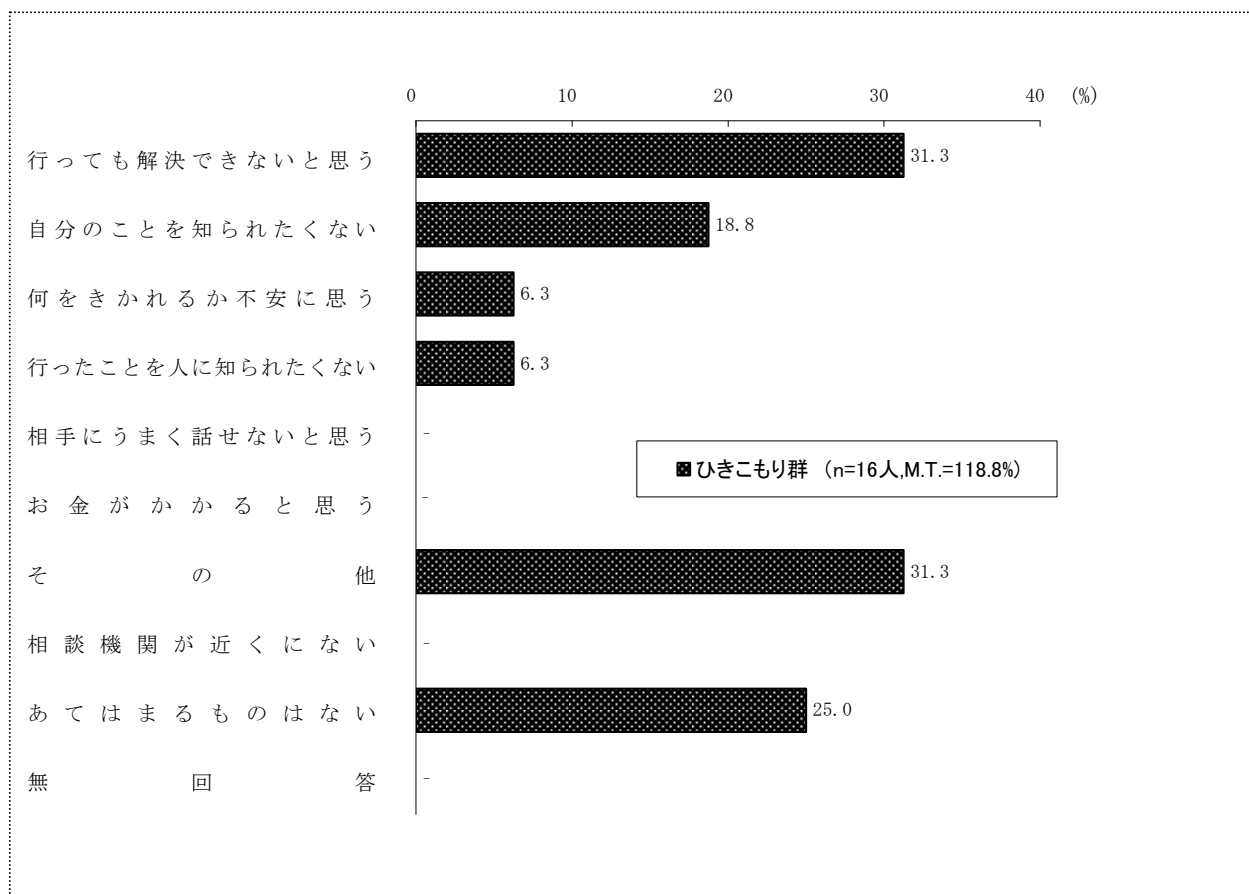
26 【本人票】相談したくない理由



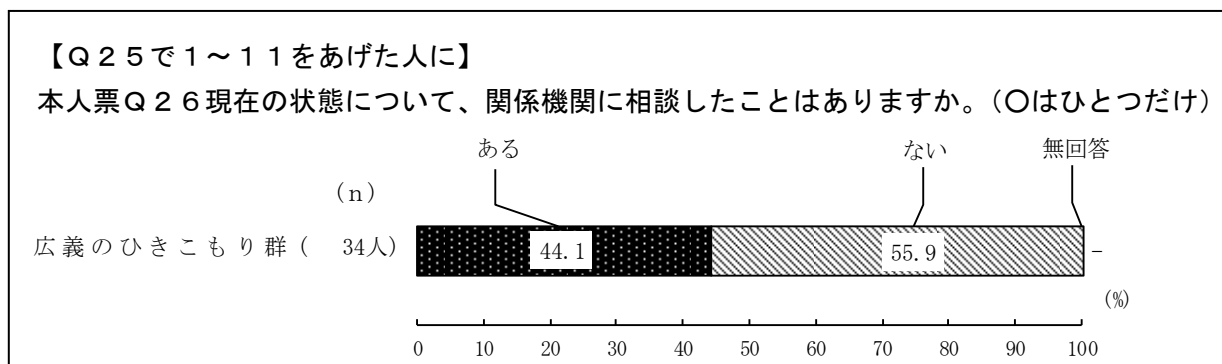
Q25で「相談したくない」と答えた者14人に、相談したくない理由を聞いたところ、「相手にうまく話せないと思う」をあげた者が5人、以下、「自分のことを知られたくない」、「行っても解決できないと思う」、「お金がかかると思う」（4人）、「何をきかれるか不安に思う」、「相談機関が近くにない」（2人）、「行ったことを人に知られたくない」（1人）となっている。

なお、「特に理由はない」は4人となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

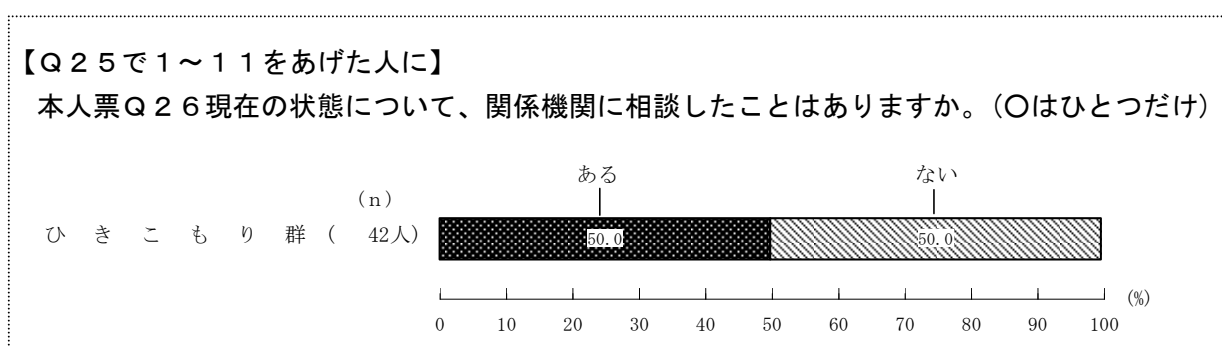


## 27 【本人票】関係機関に相談した経験

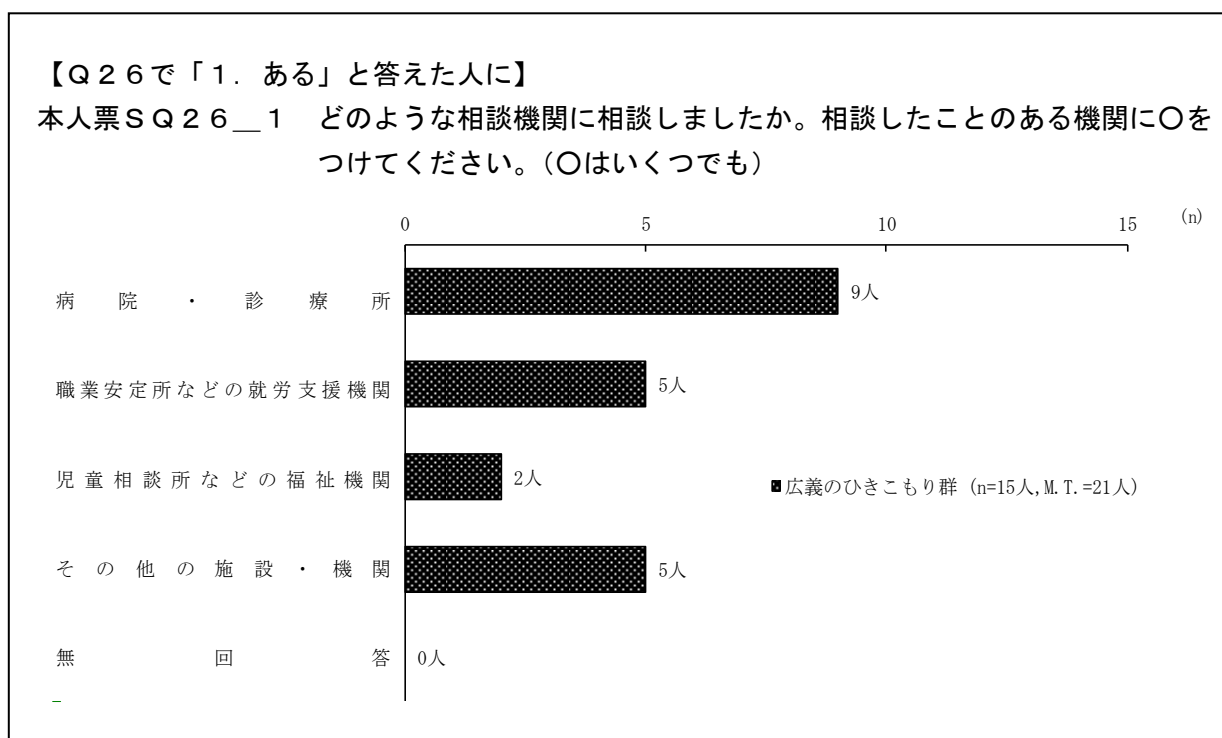


現在の状態について、関係機関に相談したことがあるか聞いたところ、「ある」と答えた者の割合が44.1%、「ない」と答えた者の割合が55.9%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



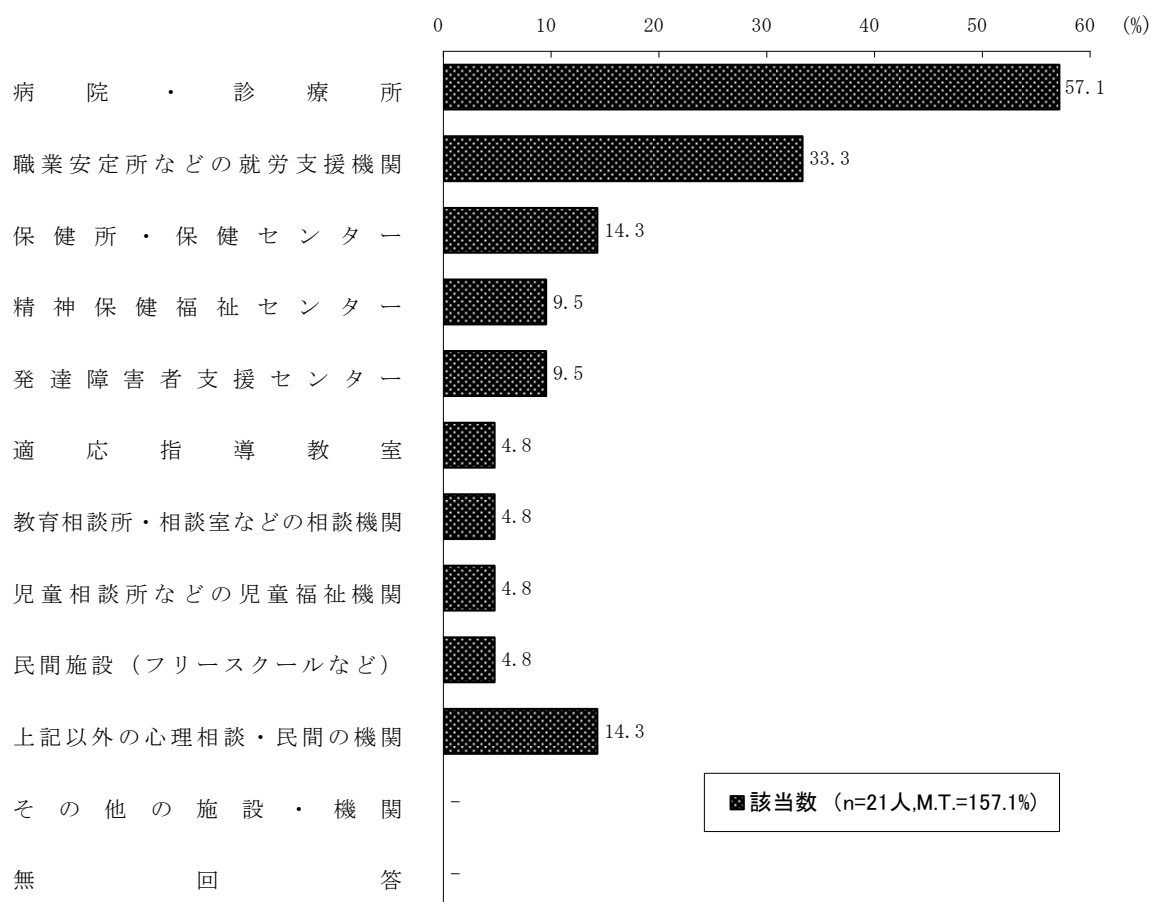
## 28 【本人票】相談した機関



相談したことがあると答えた者15人に、どのような相談機関に相談したか聞いたところ、「病院・診療所」をあげた者が9人、以下、「職業安定所・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」（5人）、「児童相談所・福祉事務所などの福祉機関」（2人）、その他の施設・機関（「精神保健福祉センター」、「発達障害者支援センター」、「市役所」など）（5人）となっている。

【Q26で「1. ある」と答えた人に】

SQ26\_\_1 どのような相談機関に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。（○はいくつでも）



29 【本人票】相談した結果

【Q26で「1. ある」と答えた人に】

本人票SQ26\_2 相談機関に相談した結果について、どのようにお考えですか。

よかった	12
よくなかった	3
どちらともいえない	3
合計	18

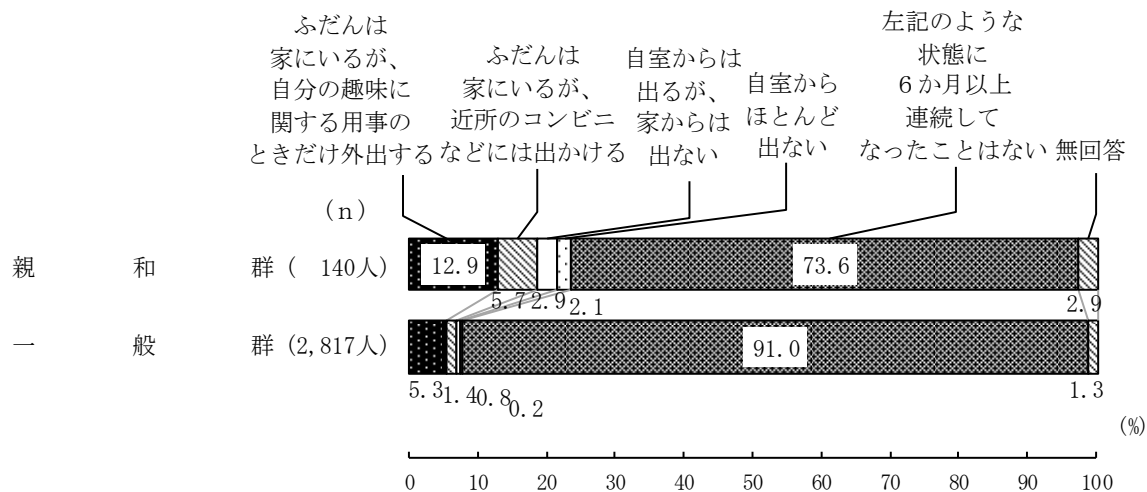
以下では回答の一部を抜粋した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

男性	20～24歳	よかった	思っても何も変わらないから、良いと思ったことはすぐ試すように行動することが大事だと思った。
男性	30～34歳	よかった	ひきこもりをなるべく早くやめたいと思った。
女性	35～39歳	よかった	相談したら、作業所を紹介してもらえたので、相談して良かったと思う。
男性	20～24歳	よかった	自分のことをより理解できるようになり、また同じように上手くいかない人達と話すことで、辛い気持ちを軽減できて良かったと思っています。
女性	30～34歳	よかった	病院を通して市役所と話が出来たので直接、市役所と会話するより話が進んだ。病院を通さずに市役所へ行った時はたらい回しだった。
女性	25～29歳	よくなかった	何も解決しなかった。仕事が出来なくなり、生活が苦しくなった。
男性	35～39歳	よくなかった	もう少し助言が欲しい
女性	35～39歳	よくなかった	対応が遅い

※Q 2 7 の設問は、過去に広義のひきこもりであったと思われる人の群を定義するために使用した。

3 0 【本人票】過去の外出頻度

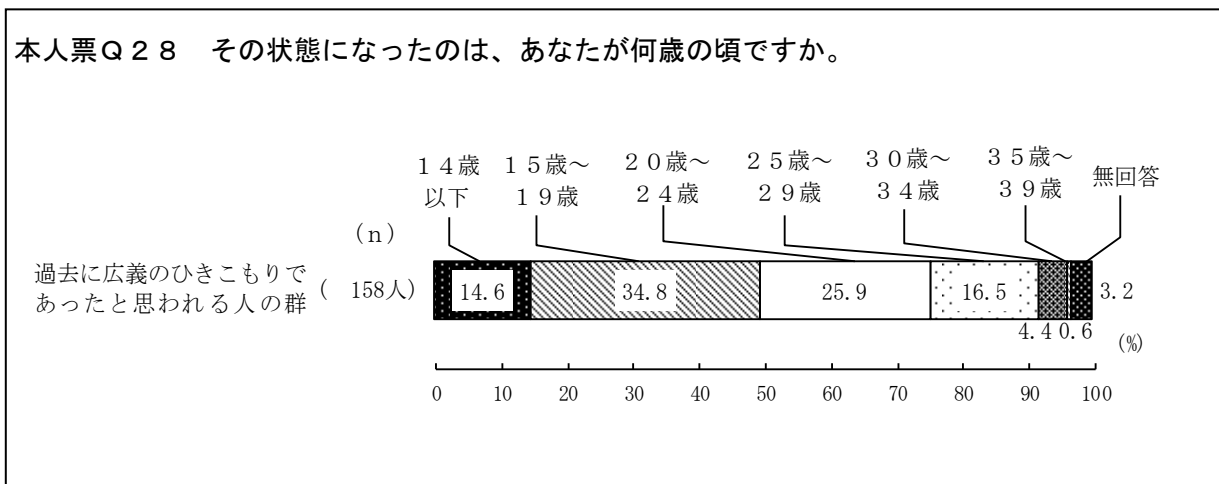
本人票Q 2 7 あなたは今までに6ヶ月以上連続して、以下のような状態になったことはありますか。



※本人票Q28～Q31は、本人票Q20において外出頻度が高かった者（本人票Q20において1～4を選択した者）のみが回答する項目となっている。

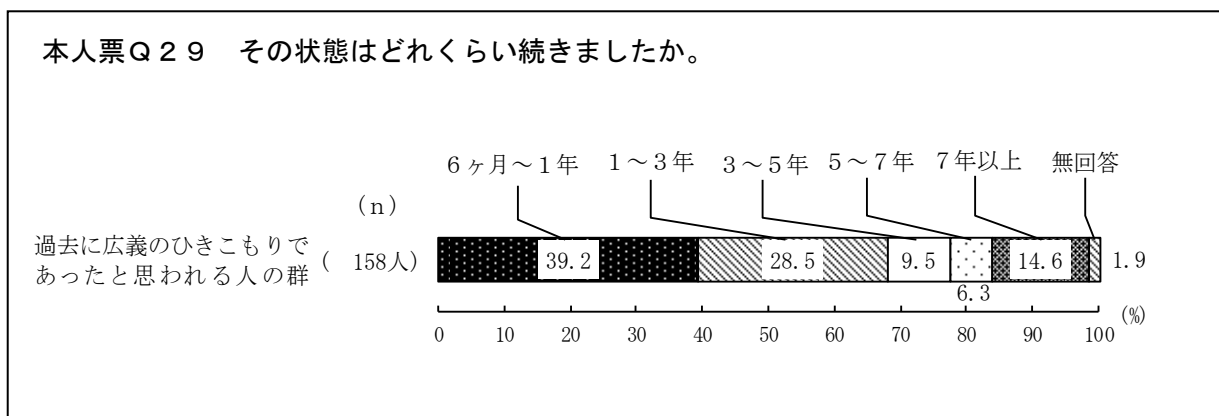
本報告書ではその中でも過去に広義のひきこもりであったと思われる人の群に該当する者の結果について記載する。

### 3.1 【本人票】過去にひきこもりの状態になった年齢



過去にひきこもりの状態になった年齢について聞いたところ、「14歳以下」と答えた者の割合が14.6%、「15歳～19歳」と答えた者の割合が34.8%、「20歳～24歳」と答えた者の割合が25.9%、「25歳～29歳」と答えた者の割合が16.5%、「30歳～34歳」と答えた者の割合が4.4%、「35～39歳」と答えた者の割合が0.6%となっている。

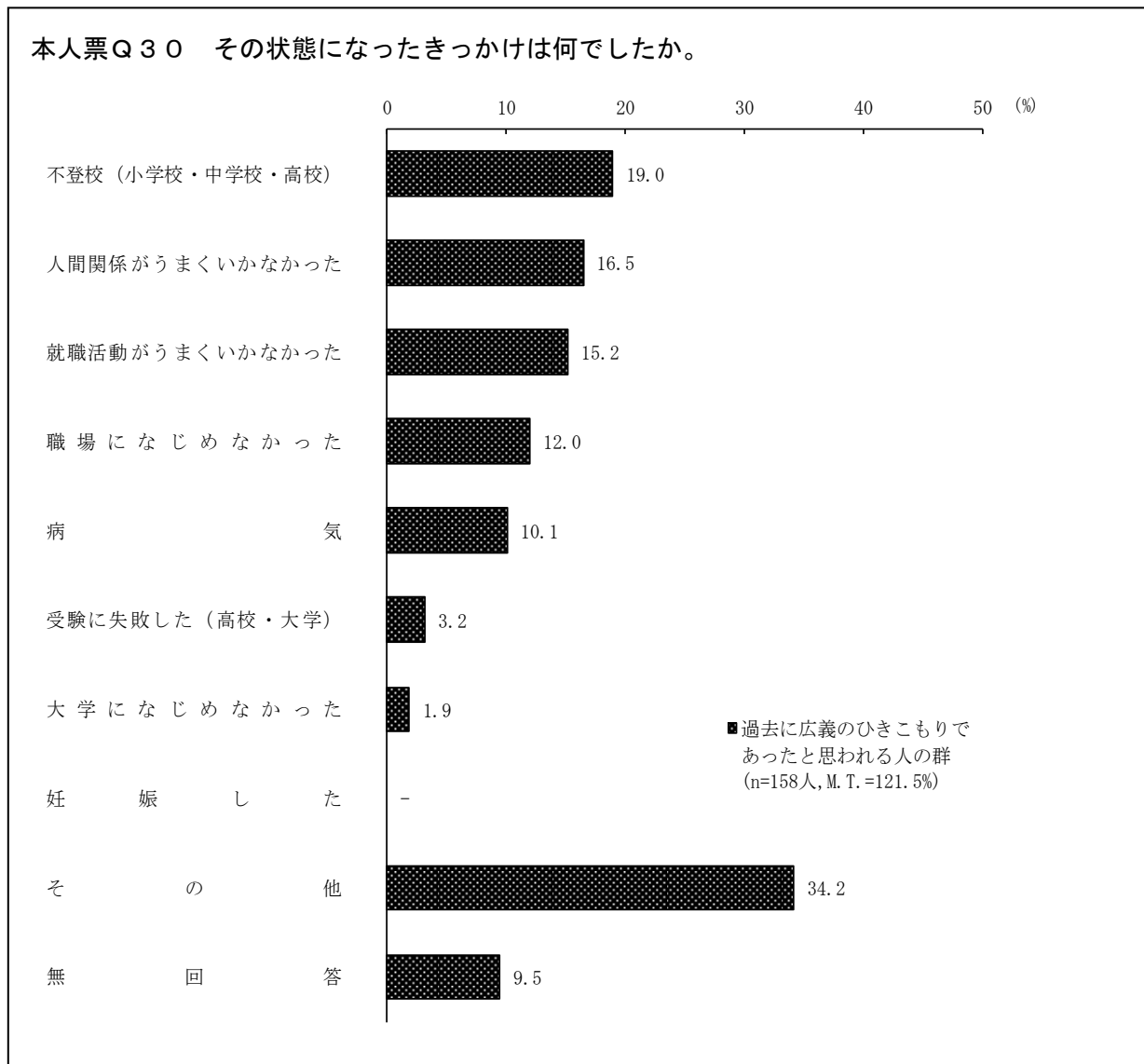
### 3.2 【本人票】過去にひきこもりの状態だった期間



「ひきこもり状態」の継続期間について聞いたところ、「6ヶ月～1年」と答えた者の割合は39.2%、「1～3年」と答えた者の割合は28.5%、「3～5年」と答えた者の割合は9.5%、「5～7年」と答えた者の割合は6.3%、「7年以上」と答えた者の割合は14.6%となっている。



### 3.3 【本人票】過去にひきこもりの状態になったきっかけ



過去にひきこもりの状態になったきっかけについて聞いたところ、「不登校」をあげた者の割合は19.0%、「人間関係がうまくいかなかった」をあげた者の割合は16.5%、「就職活動がうまくいかなかった」をあげた者の割合は15.2%となっており、以下、「職場になじめなかった」(12.0%)、「病気」(10.1%)、「受験に失敗した」(3.2%)、「大学になじめなかった」(1.9%)となっている。

なお、その他(34.2%)については、「特になし・なんとなく」(8人)。「面倒だから」(3人)。「休みたかった」(2名)。「親族の死去」(2人)。「家から学校まで遠いから」、「家の方が落ち着くし、外に用事もない」、「身体の疲れ」、「学校不信」、「希望する高校に入れなかった」、「ストレス発散」、「貯蓄」などを記載した者のほか、具体的な記載がない者や無回答の者も多かった。

### 3 4 【本人票】 ひきこもりの状態ではなくなったきっかけや役立ったこと

本人票Q31 その状態からQ20で回答した現在の状態になったきっかけや役立ったことは何だと思いますか。

以下では回答の一部を抜粋し、きっかけや役立ったこと別に分類した。なお、回答からは個人が特定できないよう加工している。

#### <入学・進学・卒業>

女性	30～34 歳	フリースクール的な学校に通い、友人やバイト、そして人間関係が上手くいくようになったから。
男性	20～24 歳	このままではいけないと思い、自分で勉強をして学校で資格を取って、就職をしようと思ったから。学校を卒業できたのが、一番自信になりました。
女性	15～19 歳	フリースクールに行ったこと。

#### <就職・転職>

男性	20～24 歳	自分にあった職につけたこと。自分を見つめ直し足りなかったことに気が付き、やりたいことが少しずつ見えてきたこと。
女性	30～34 歳	きっかけは転職したことだと感じます。それまでは前の職場で経験した嫌な事がトラウマとなり、なかなか前に進めない状況が続きました。時間が解決したこともあります。家族や周りの友達と関わりながら、少しずつ社会復帰できたのだと思います。
女性	35～39 歳	気軽にアルバイトをし始めて、社会とのかかわりを持ったこと。

#### <友人・知人>

女性	15～19 歳	イライラしたまま家にいることよりも外へ出て友人や職場の先輩に会うことでストレス発散になり、また良いアドバイスももらえる。
男性	15～19 歳	友達が遊びに来てくれた。
女性	25～29 歳	身近な人に自分の気持ちをぶついたり、聞いてもらったり、心配してもらったこと。同じ様な経験をしている人達と知り合う事ができたこと。

#### <家族・家庭>

女性	30～34 歳	家族が頻繁に外へと連れ出してくれていたもので、外への壁を厚く感じる事がなく、環境が変わったのをきっかけに、また学校へ通ったりすることが出来る様になりました。
女性	30～34 歳	友人や家族が側にいてくれたので以前のように自信がなくとも外出など、普通の生活を送れるようになりました。
女性	25～29 歳	家族がよく外へ連れ出してくれ、また話をよく聞いてくれた。後は猫を飼っていたのも立ち直ったきっかけになりました。

<医療機関・支援機関>

女性	30～34 歳	医療機関、地域活動支援センターと家庭との連携
男性	15～19 歳	病院の思春期外来に相談してみたことと、親友に相談してみたこと。

<自身の成長(年齢・精神・体力)、時間の経過>

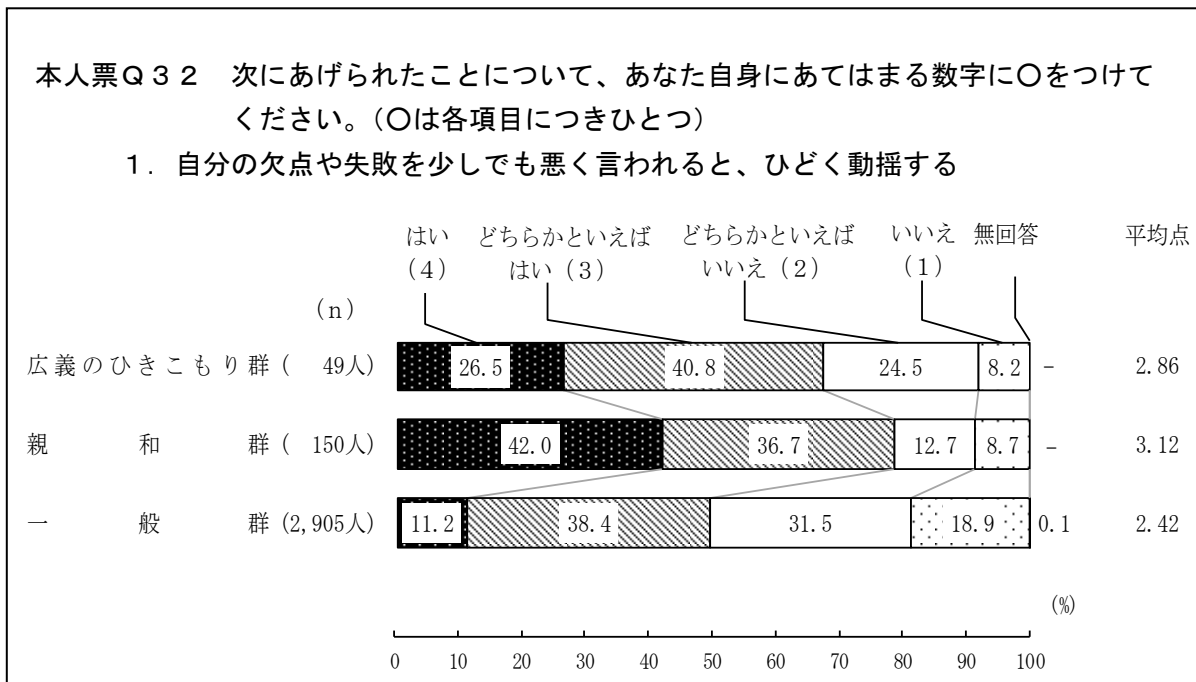
女性	20～24 歳	高校は必死に通って卒業した。“普通”に人生を送りたいと思い必死に就活をし働き、転職もした。不登校克服も就活も仕事も転職活動もつらかったが、諦めなければなんとかなるものだなと思った。
男性	30～34 歳	依存先のインターネットやネットゲームを大して面白くないものと捉えるように意図的に考えや見方を変えたこと。敢えてこのままではどんな事態になるかを（気が塞ぎすぎない程度に）考え、想像したこと。
男性	30～34 歳	年齢を重ねて精神的に安定したため
男性	35～39 歳	特別な理由はなく、時間の経過により意識が変化していた。

<生活のため(お金が無くなったため)>

女性	35～39 歳	生活資金が不足したため。社会との繋がりを保つため。
----	---------	---------------------------

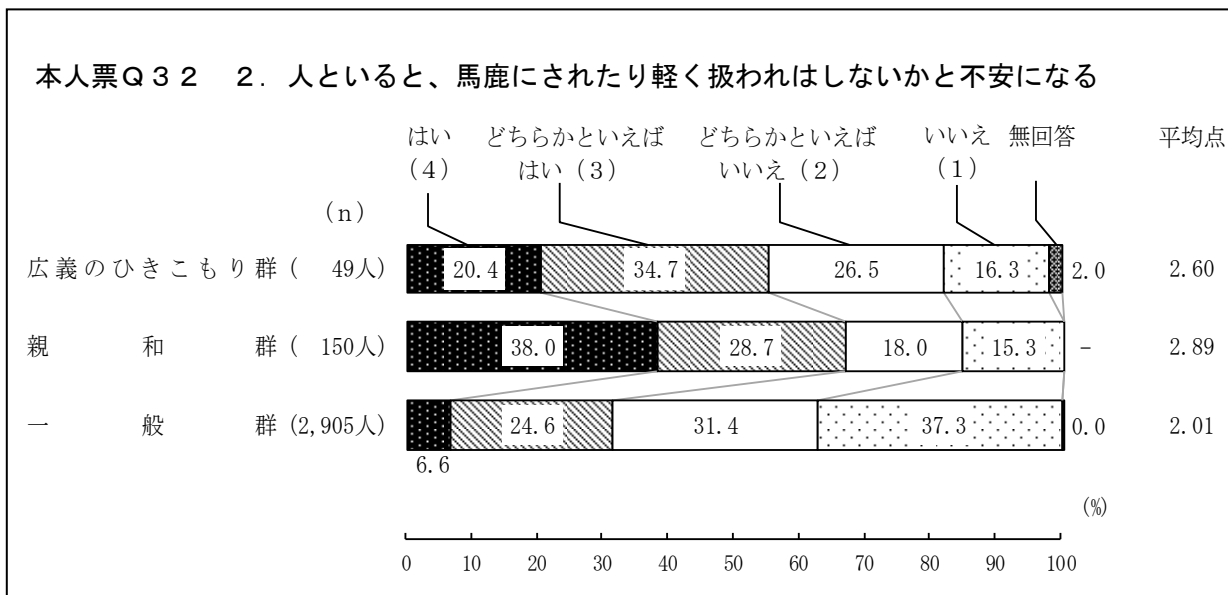
### 35 【本人票】自身にあてはまること

あなた自身にあてはまるかどうか16項目について聞いた。



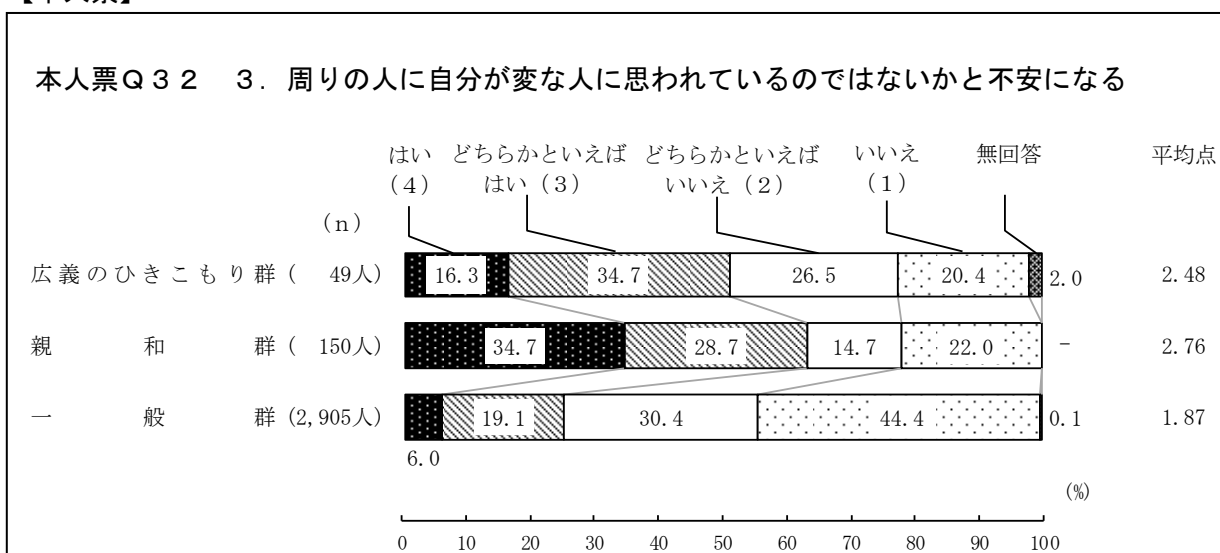
『自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺する』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で67.3%、親和群で78.7%、一般群で49.5%となっている。

### 【本人票】



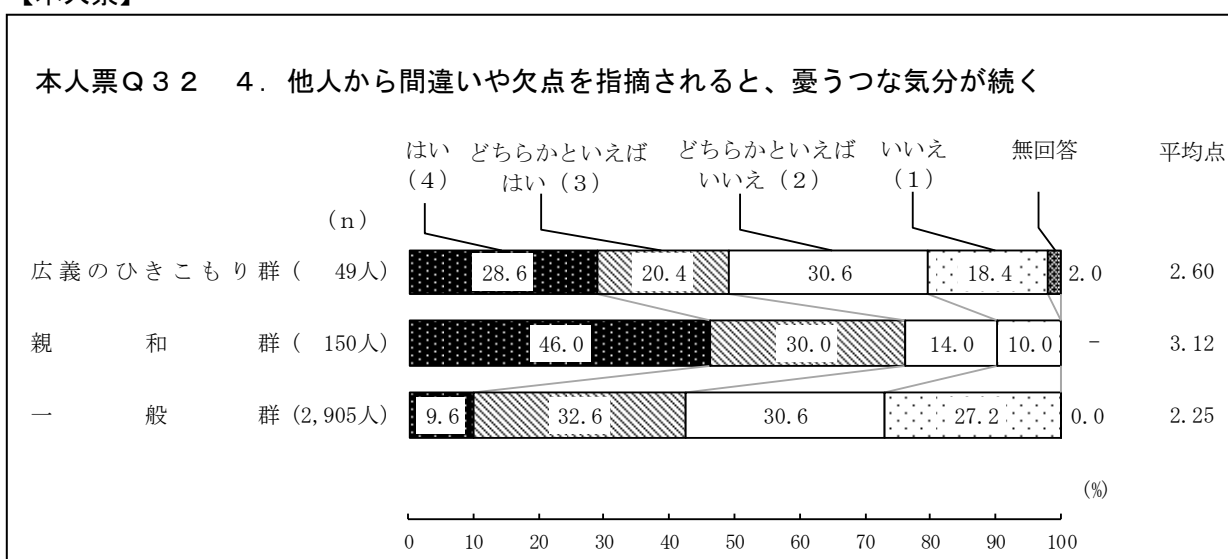
『人といると、馬鹿にされたり軽く扱われはしないかと不安になる』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で55.1%、親和群で66.7%、一般群で31.2%となっている。

【本人票】



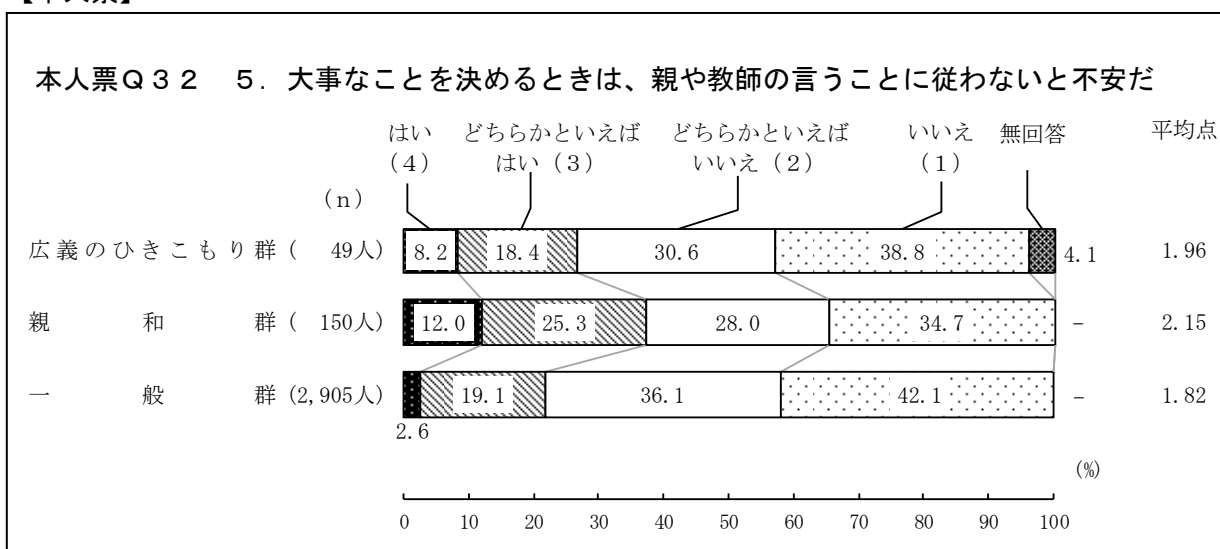
『周りの人に自分が変な人に思われているのではないかと不安になる』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で 51.0%、親和群で 63.3%、一般群で 25.2%となっている。

【本人票】



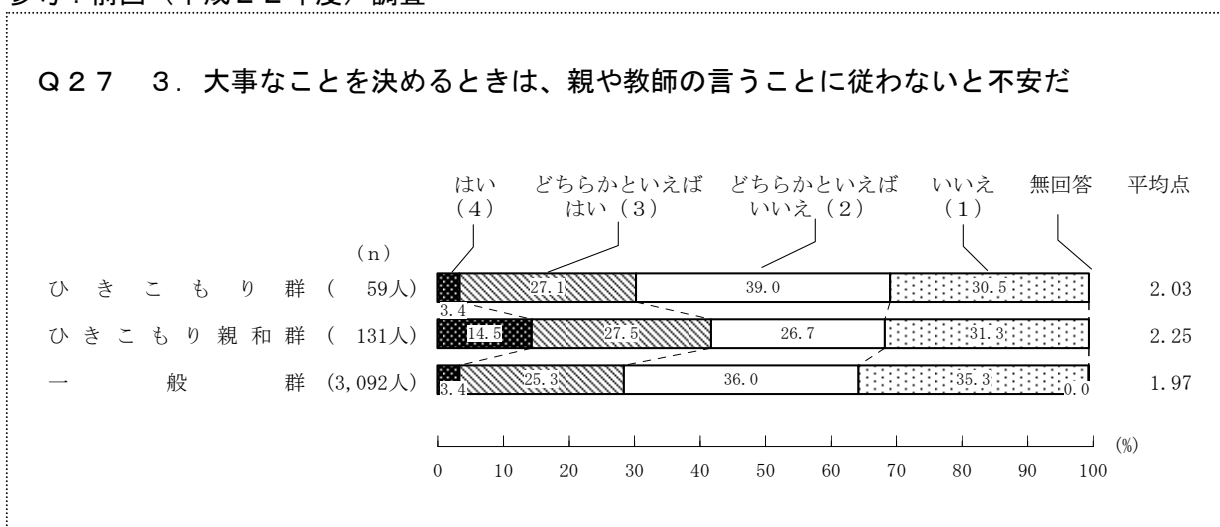
『他人から間違いや欠点を指摘されると、憂うつな気分が続く』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で 49.0%、親和群で 76.0%、一般群で 42.2%となっている。

【本人票】

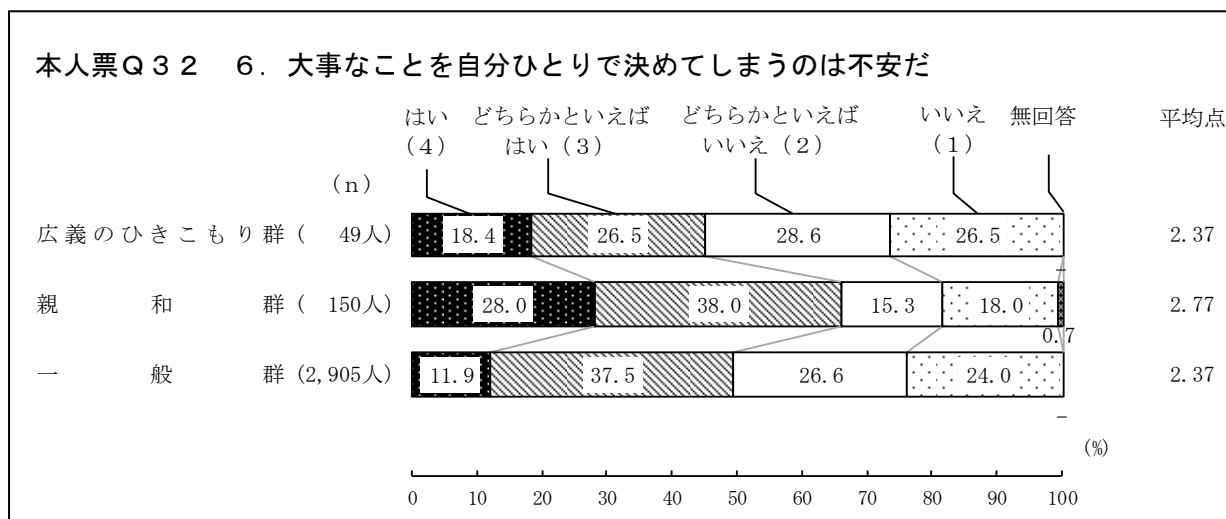


『大事なことを決めるときは、親や教師の言うことに従わないと不安だ』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で26.5%、親和群で37.3%、一般群で21.8%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

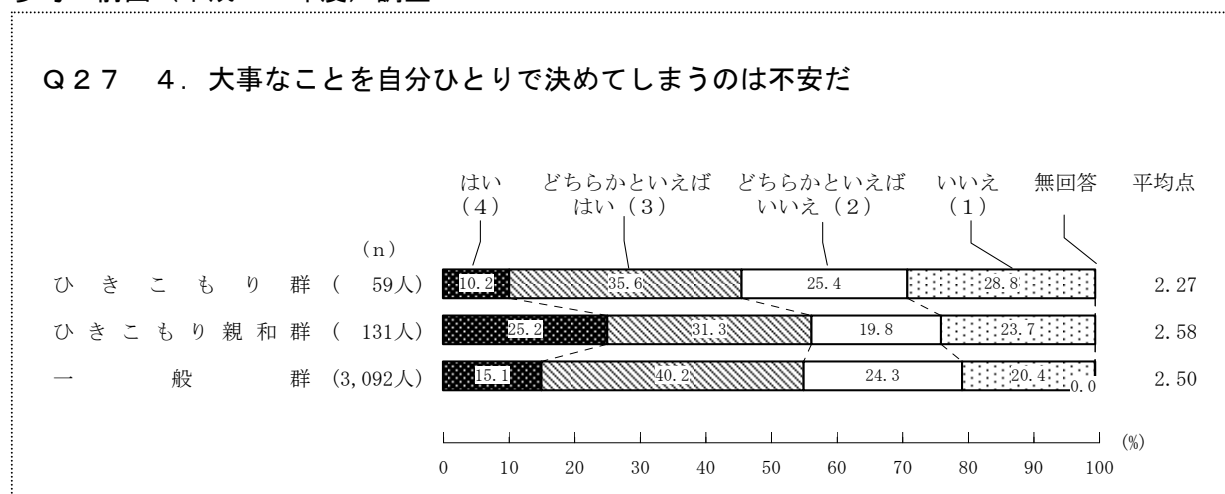


【本人票】

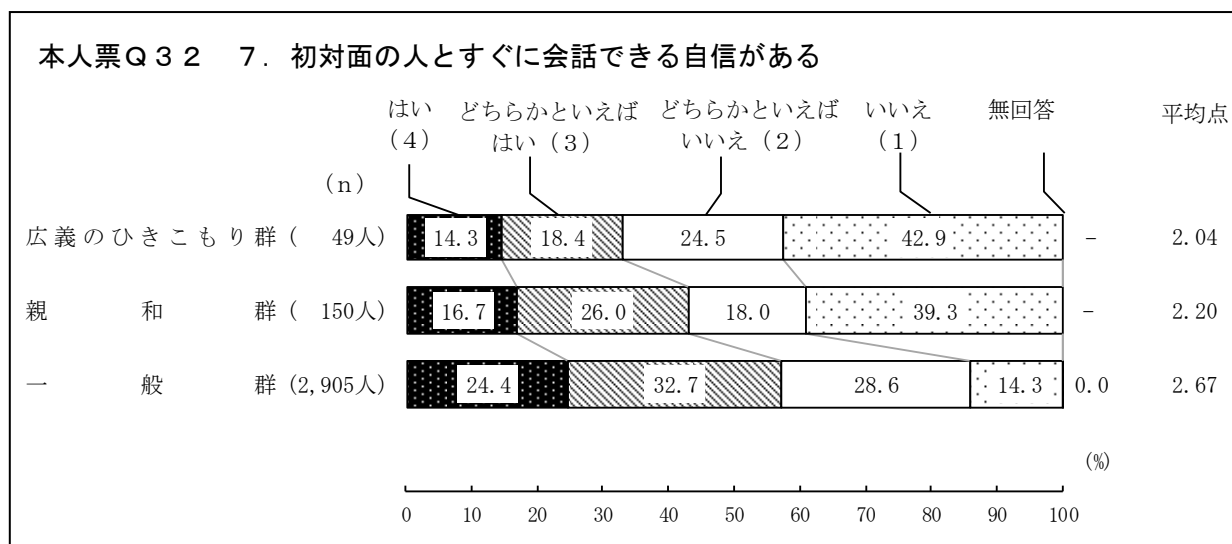


『大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ』について聞いたところ、『はい』（「はい」＋「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で44.9%、親和群で66.0%、一般群で49.4%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

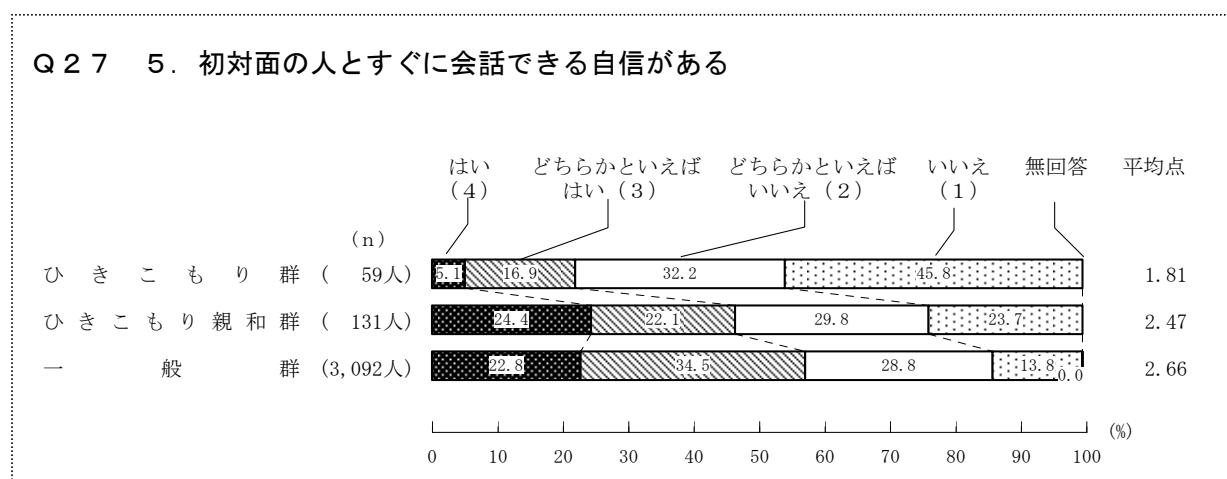


【本人票】



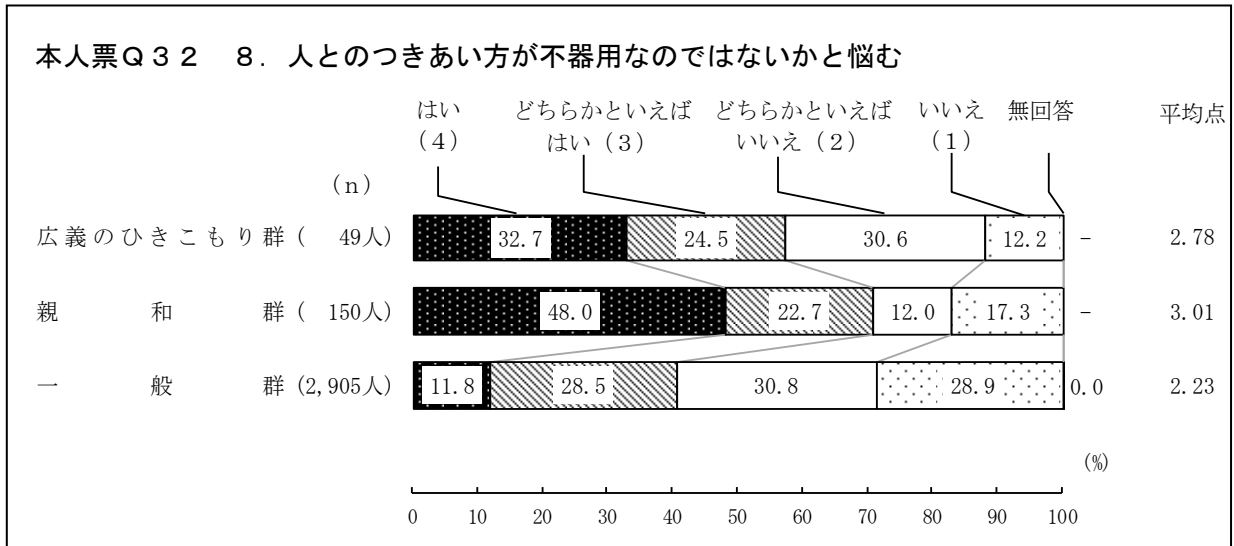
『初対面の人とすぐに会話できる自信がある』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で32.7%、親和群で42.7%、一般群で57.1%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



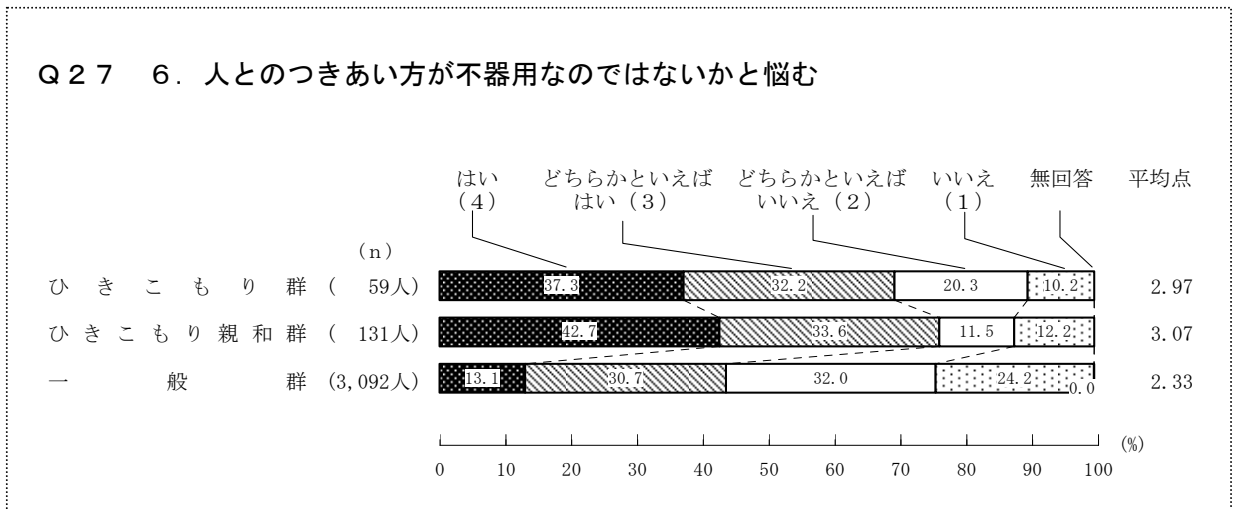


【本人票】

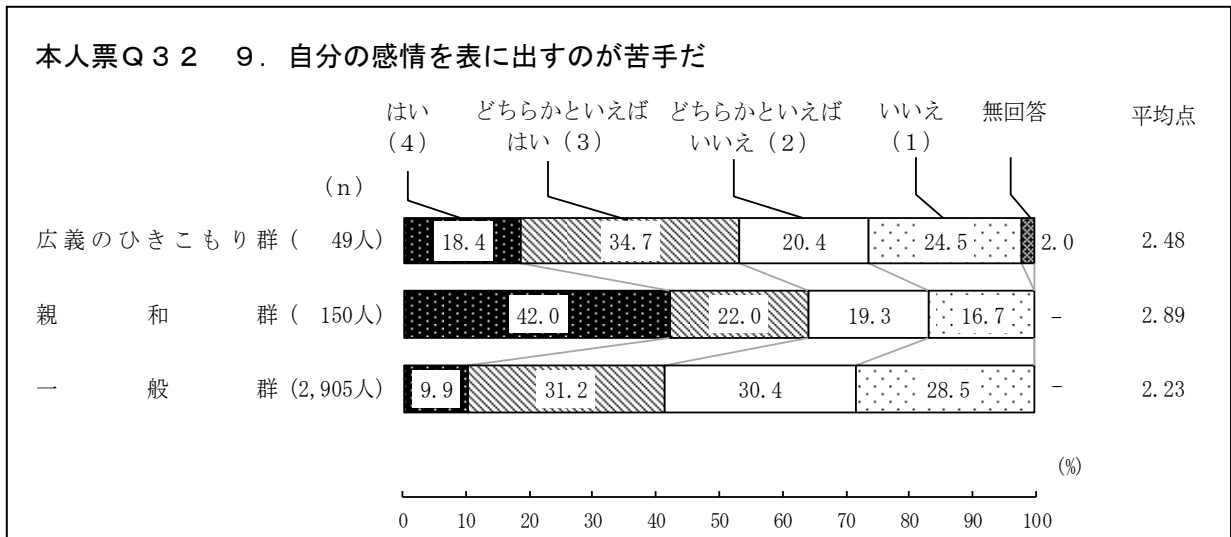


『人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む』について聞いたところ『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で57.1%、親和群で70.7%、一般群で40.3%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

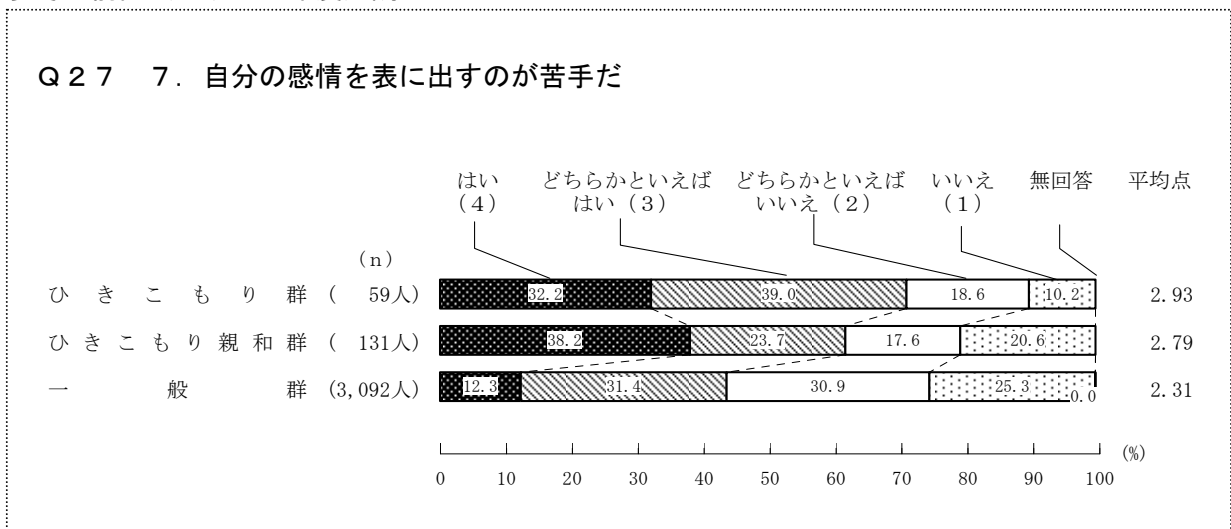


【本人票】

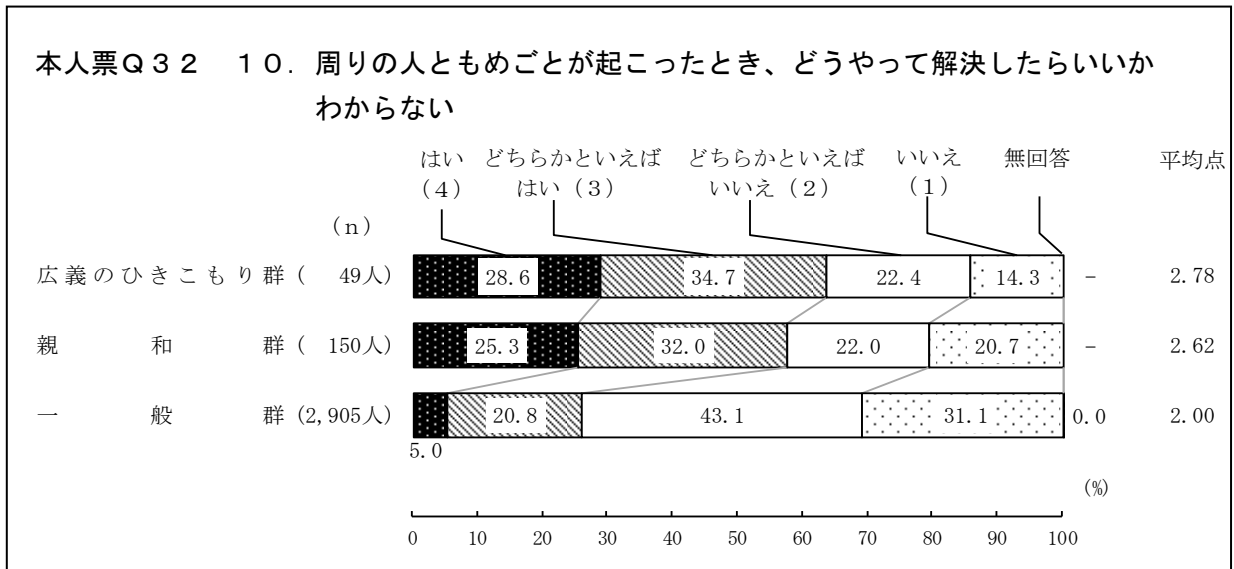


『自分の感情を表に出すのが苦手だ』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえ  
ばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で53.1%、親和群で64.0%、一般群で41.1%と  
なっている。

参考：前回（平成22年度）調査

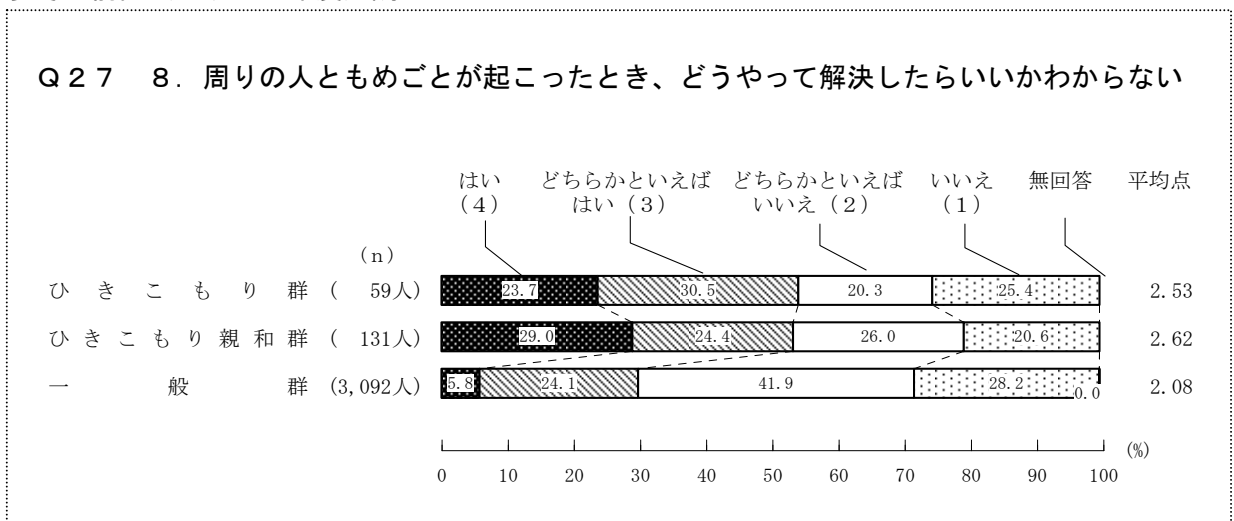


【本人票】

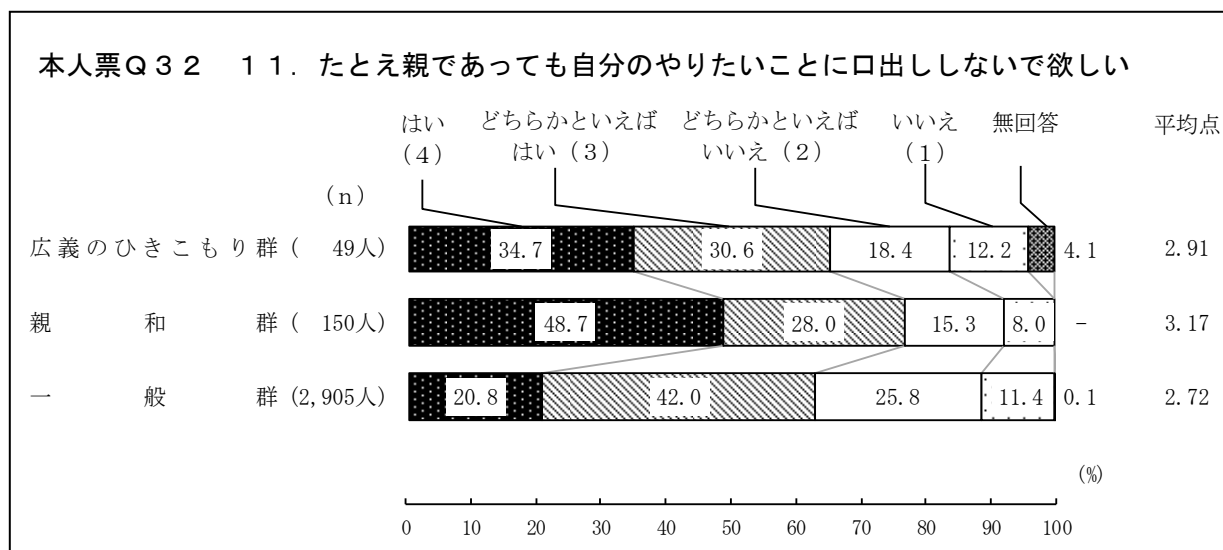


『周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で63.3%、親和群で57.3%、一般群で25.7%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

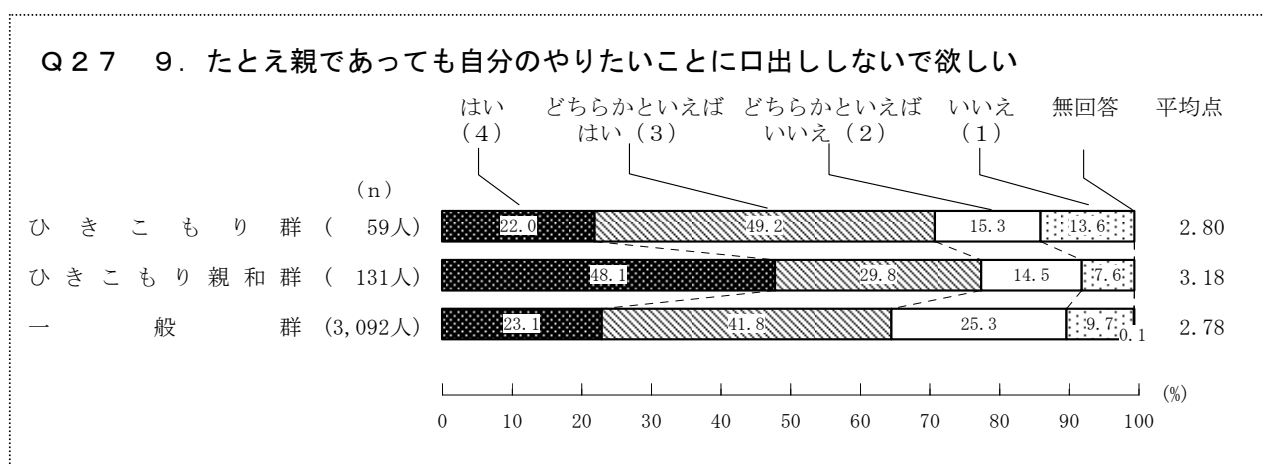


【本人票】

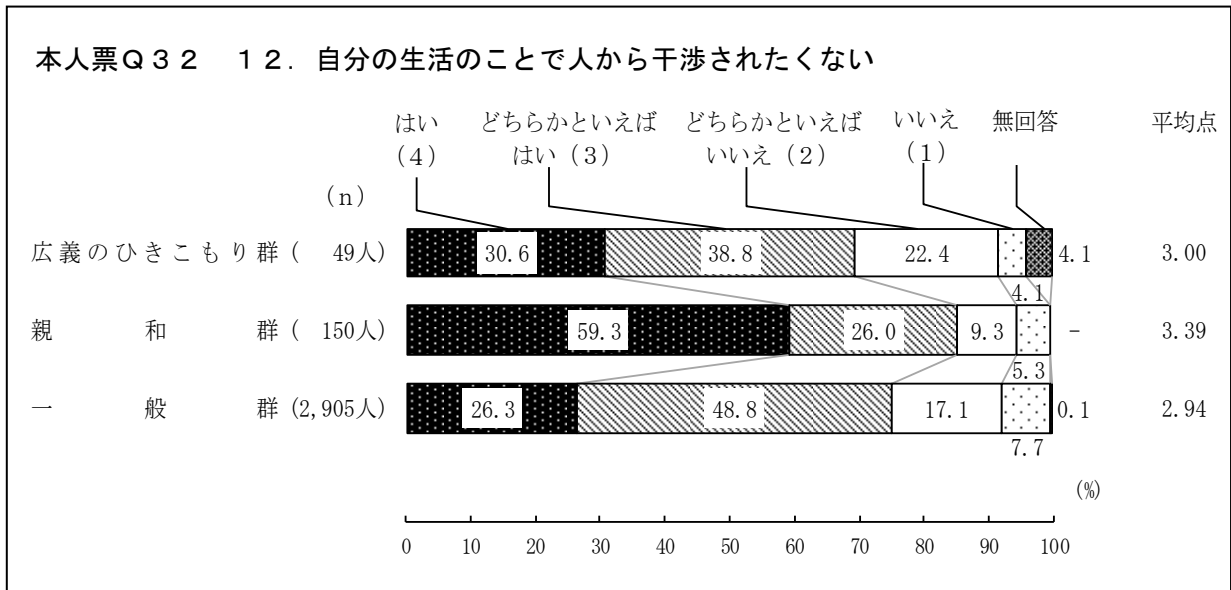


『たとえ親であっても自分のやりたいことに口出ししないで欲しい』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で 65.3%、親和群で 76.7%、一般群で 62.7%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

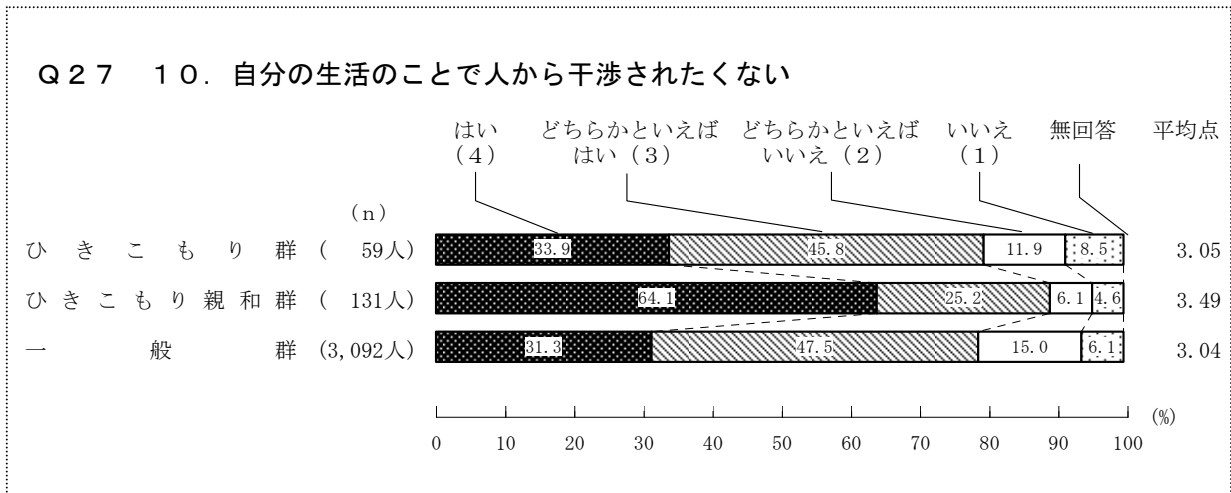


【本人票】



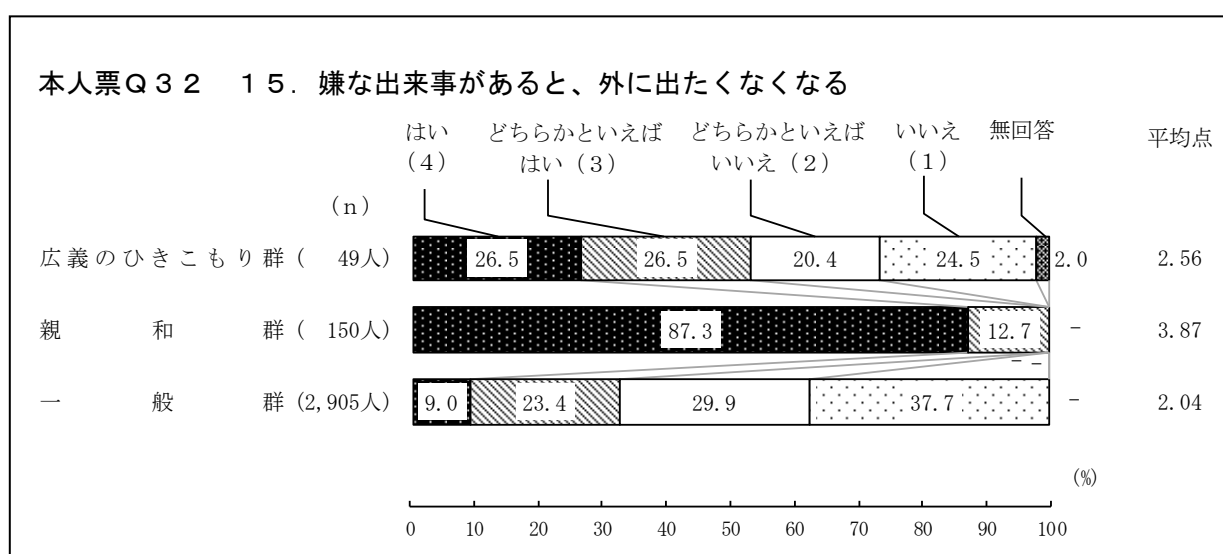
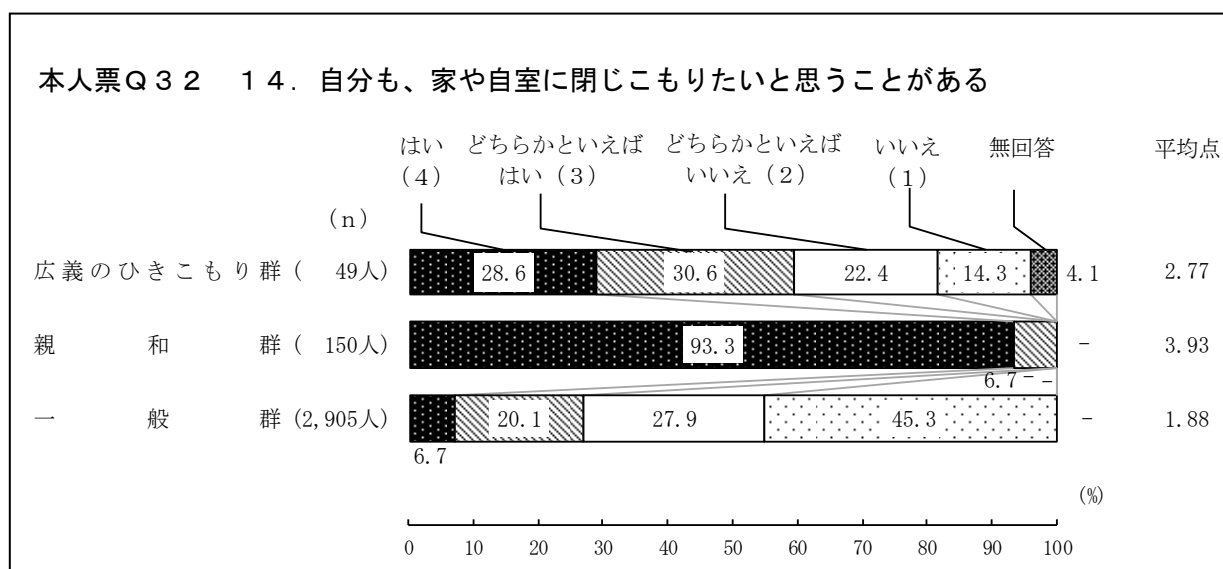
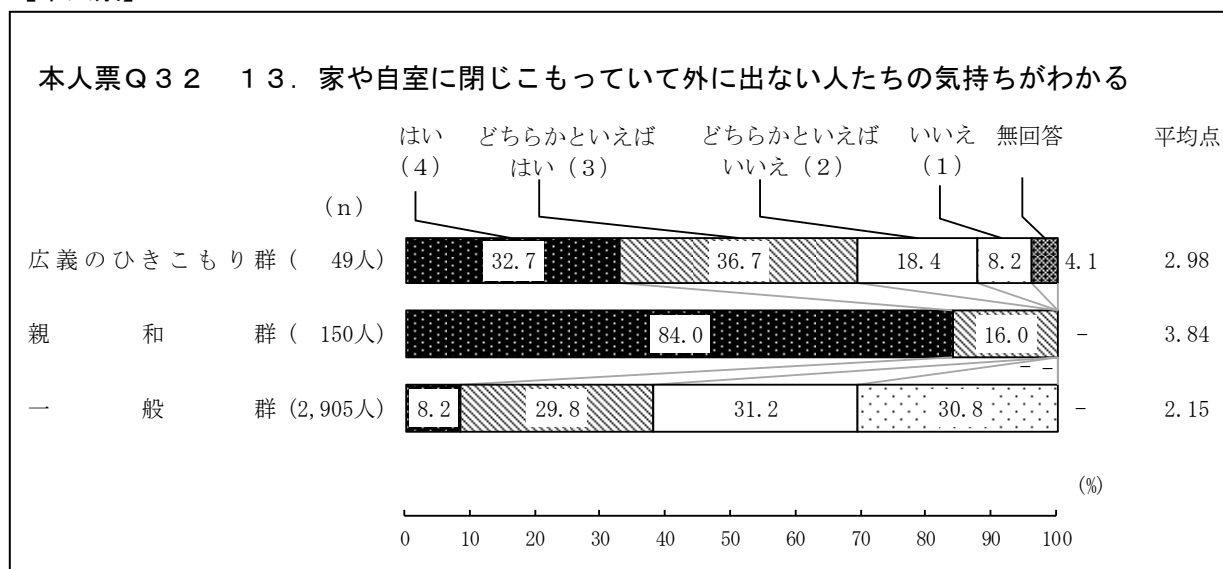
『自分の生活のことで人から干渉されたくない』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で69.4%、親和群で85.3%、一般群で75.1%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

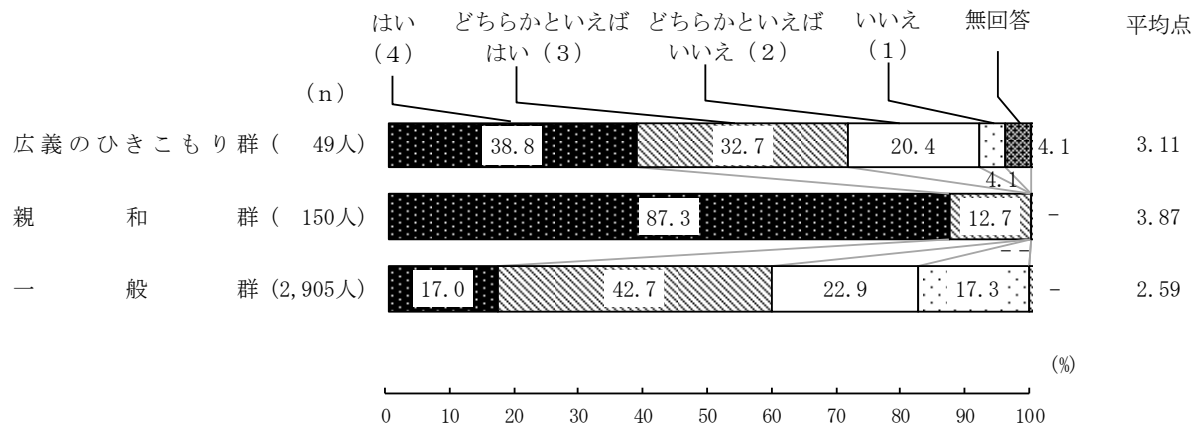


※Q32(13)～(16)の設問は親和群を定義するために使用した。

【本人票】

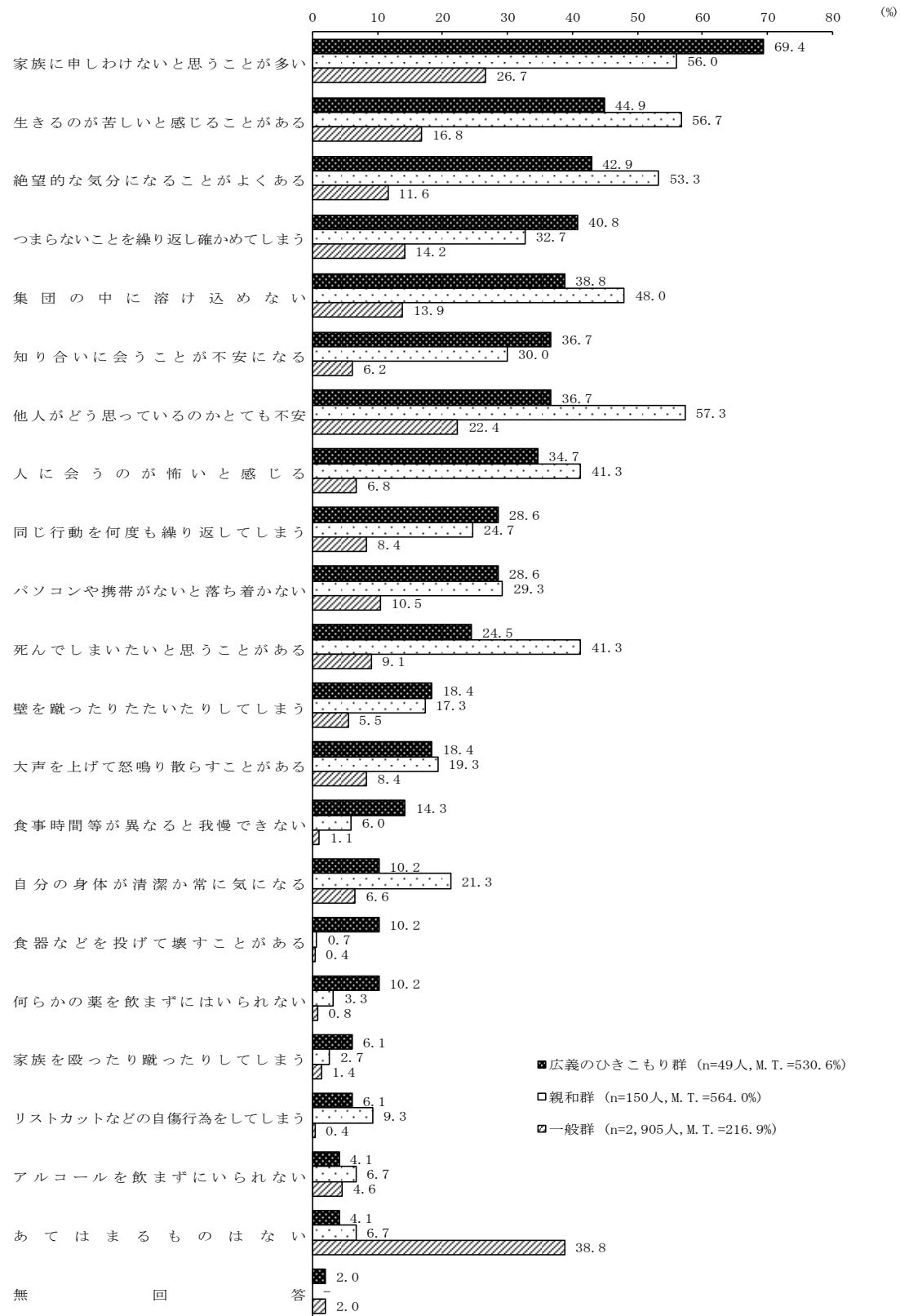


本人票Q32 16. 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う



36 【本人票】不安要素についてあてはまること

本人票Q33 次にあげられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)





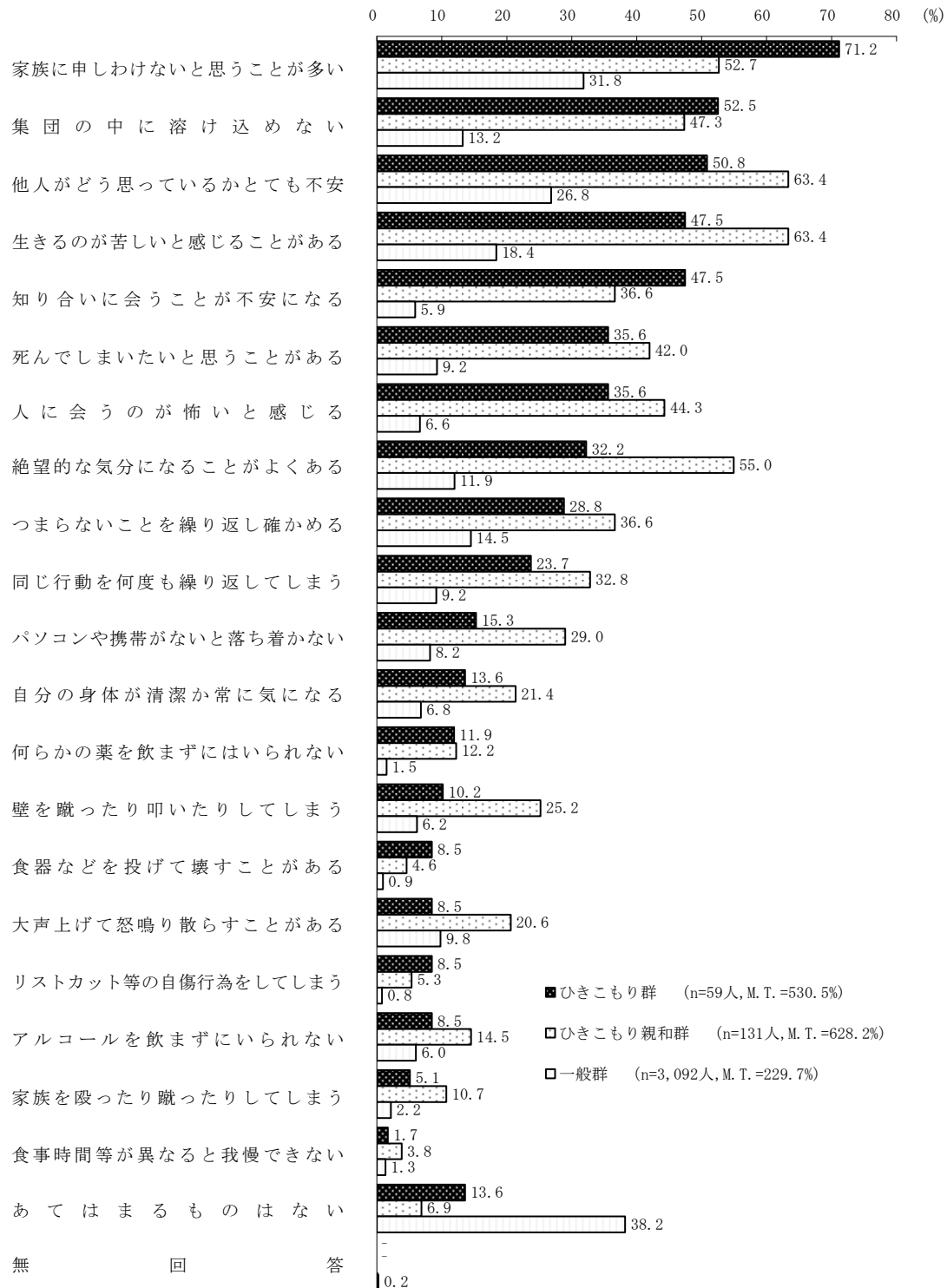
不安などの項目であてはまるものを聞いたところ、ひきこもり群では「家族に申し訳ないと思うことが多い」をあげた者が 69.4%と最も多く、以下、「生きるのが苦しいとすることがある」(44.9%)、「絶望的な気分になることがよくある」(42.9%)、「つまらないことを繰り返し確かめてしまう」(40.8%)となっていた。

親和群では、「他人がどう思っているのかとても不安」(57.3%)、「生きるのが苦しいとすることがある」(56.7%)、「家族に申し訳ないと思うことが多い」(56.0%)、「絶望的な気分になることがよくある」(53.3%)について、5割を超える者があげていた。

一般群では、「あてはまるものはない」(38.8%)が最も多かった。

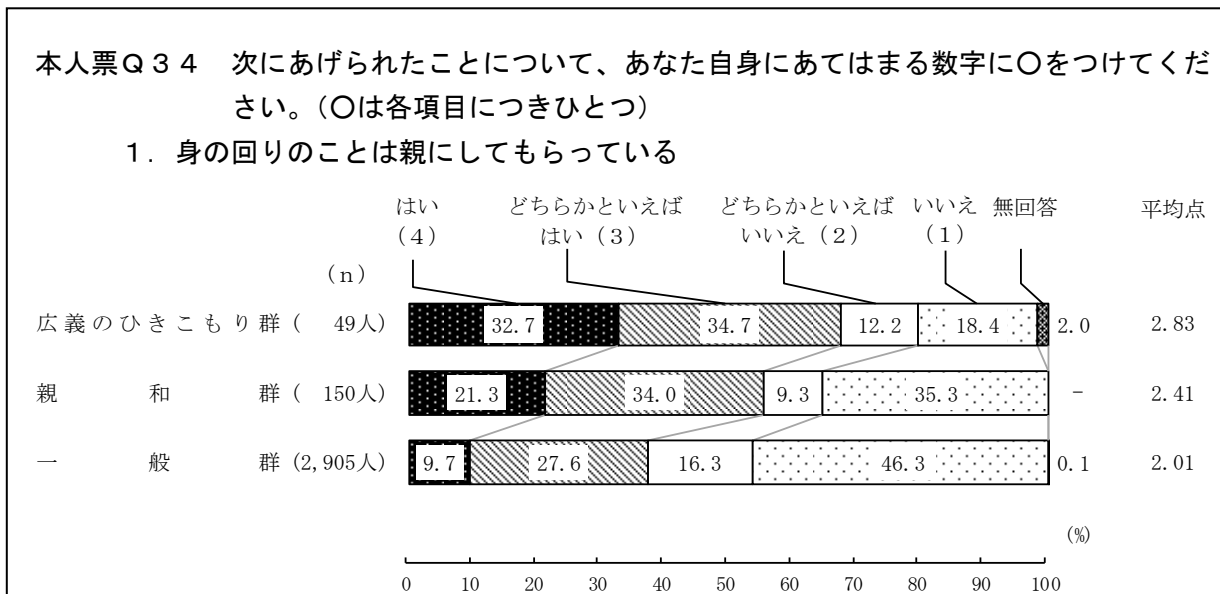
参考：前回（平成22年度）調査

Q28 次にあげられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）



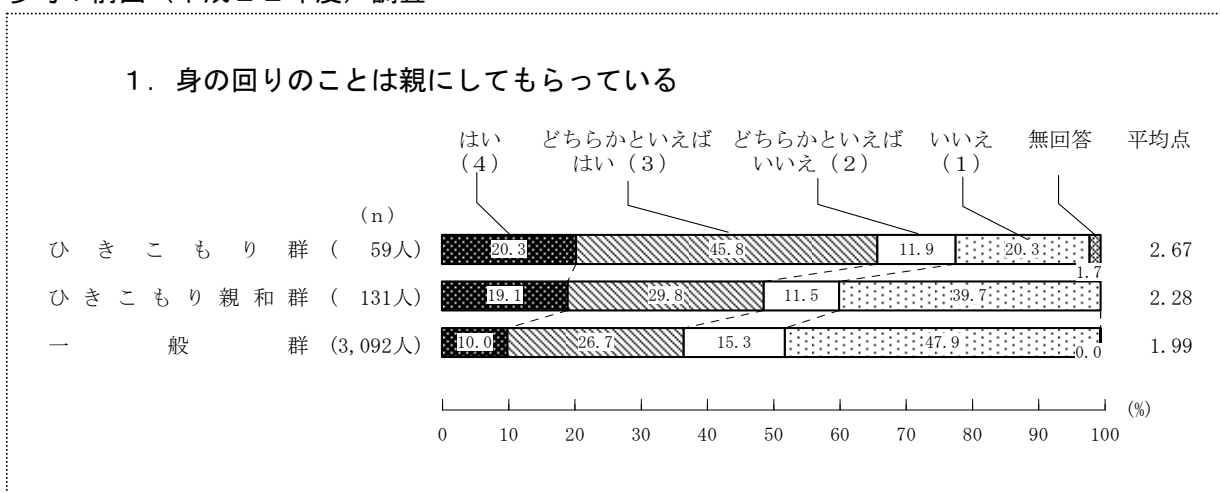
### 37 【本人票】ふだんの生活態度

あなた自身にあてはまるかどうか12項目について聞いた。



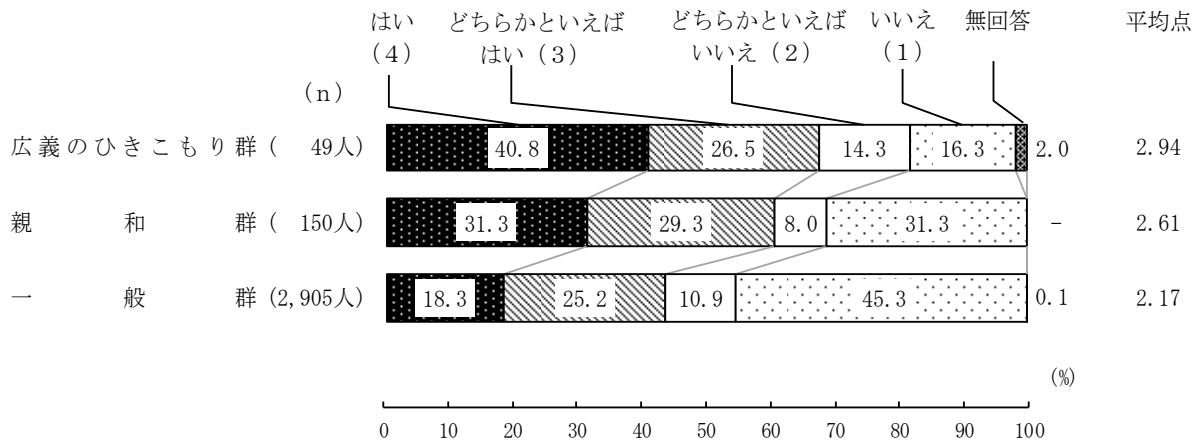
『身の回りのことは親にしてもらっている』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で67.3%、親和群で55.3%、一般群で37.4%となっている。

#### 参考：前回（平成22年度）調査



【本人票】

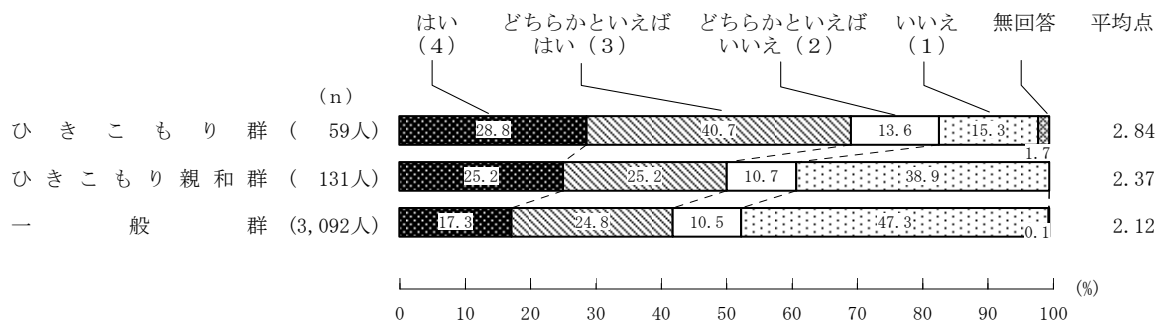
本人票Q34 2. 食事や掃除は親まかせである



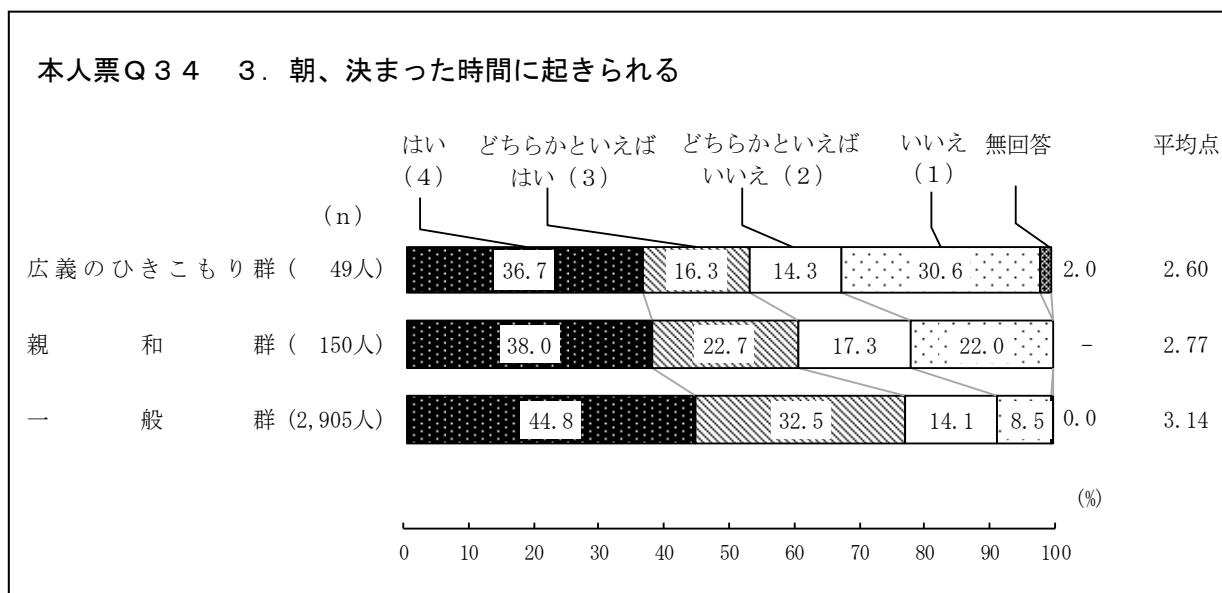
『食事や掃除は親まかせである』について聞いたところ『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で67.3%、親和群で60.7%、一般群で43.6%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

Q29 2. 食事や掃除は親まかせである

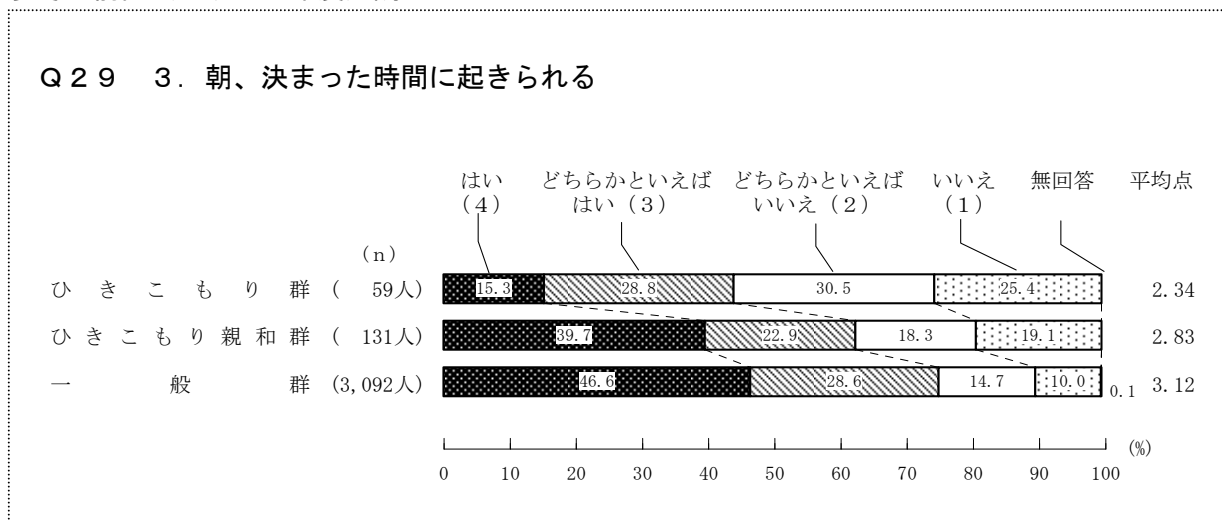


【本人票】

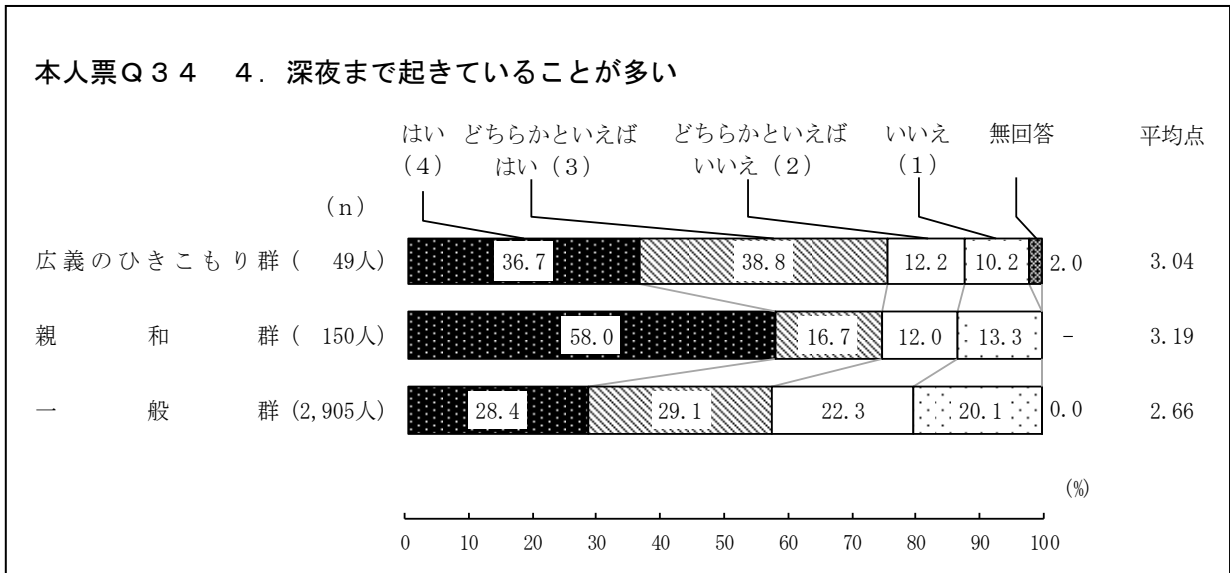


『朝、決まった時間に起きられる』について聞いたところ、『いいえ』（「いいえ」+「どちらかといえはいえ」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で44.9%、親和群で39.3%、一般群で22.7%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

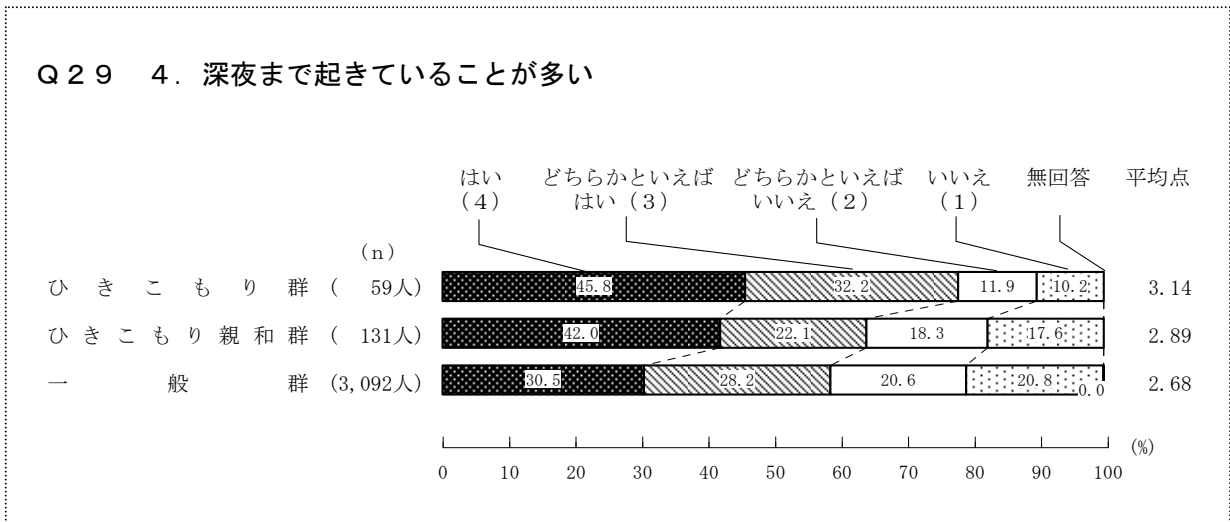


【本人票】



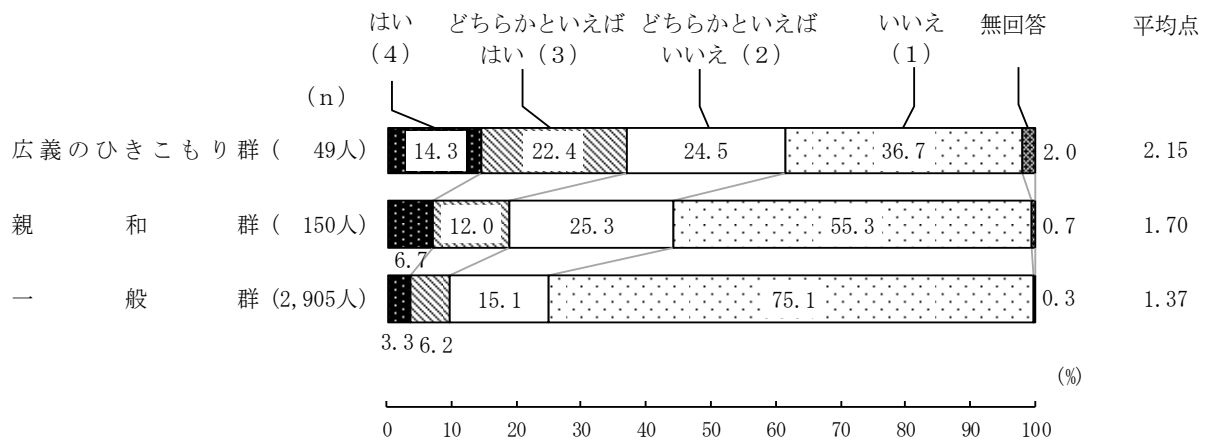
『深夜まで起きていることが多い』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で75.5%、親和群で74.7%、一般群で57.5%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



【本人票】

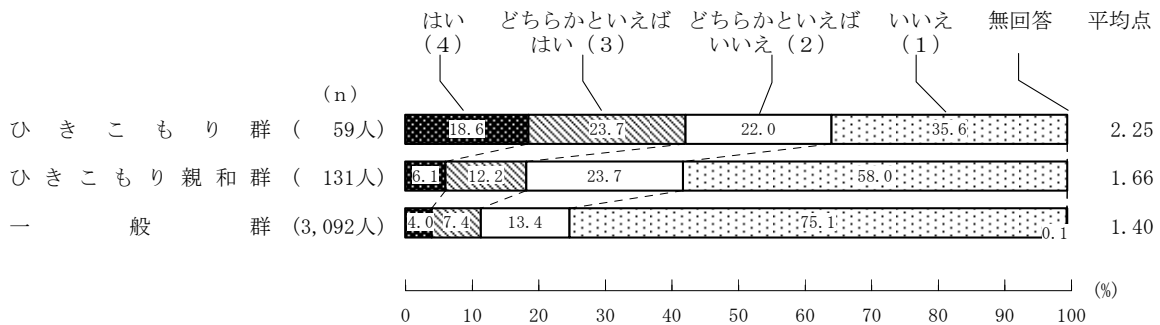
本人票Q34 5. 昼夜逆転の生活をしている



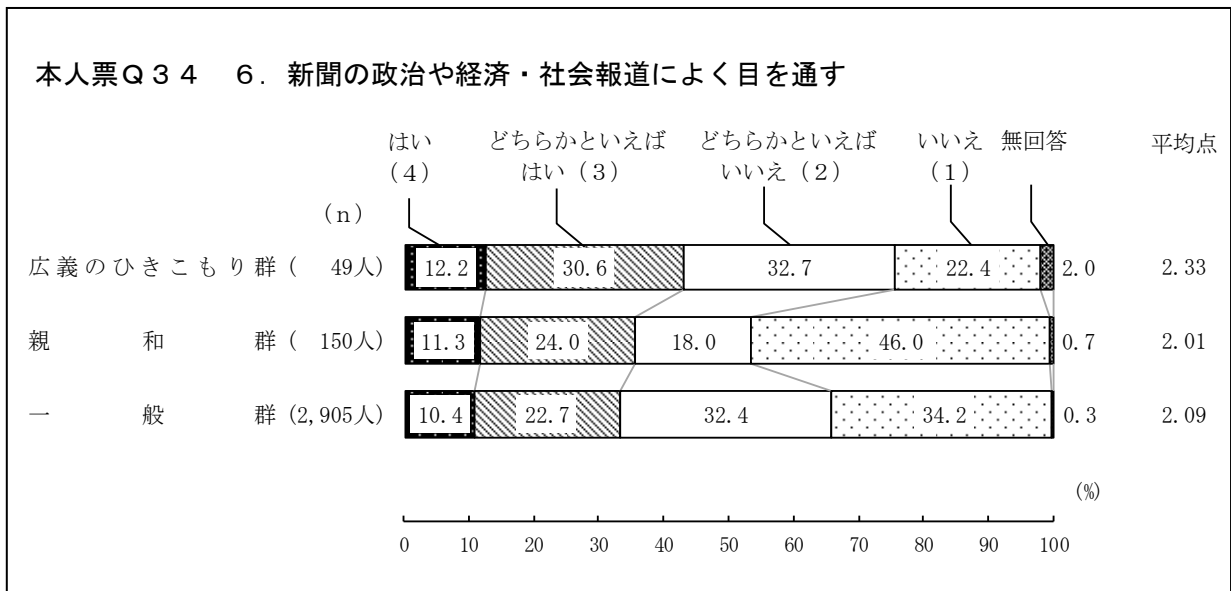
『昼夜逆転の生活をしている』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で36.7%、親和群で18.7%、一般群で9.5%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

Q29 5. 昼夜逆転の生活をしている

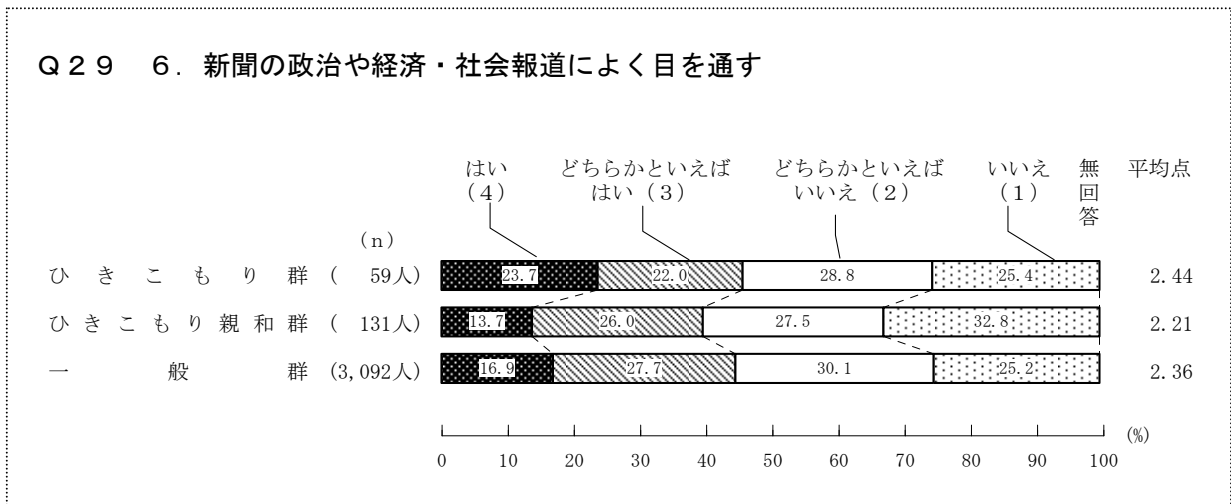


【本人票】



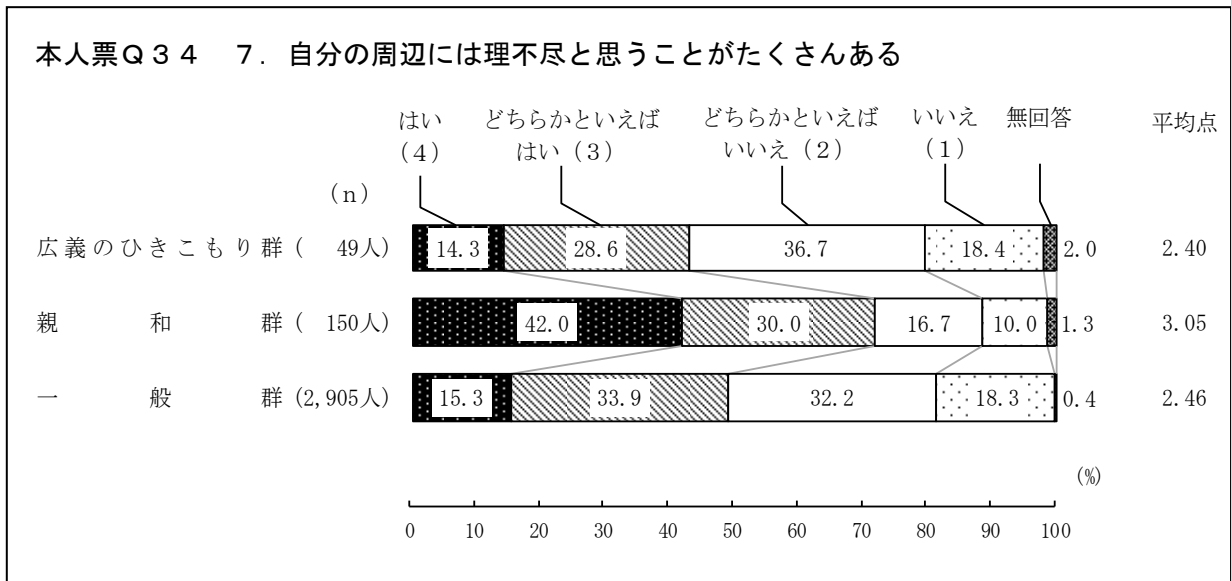
『新聞の政治や経済・社会報道によく目を通す』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で42.9%、親和群で35.3%、一般群で33.1%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



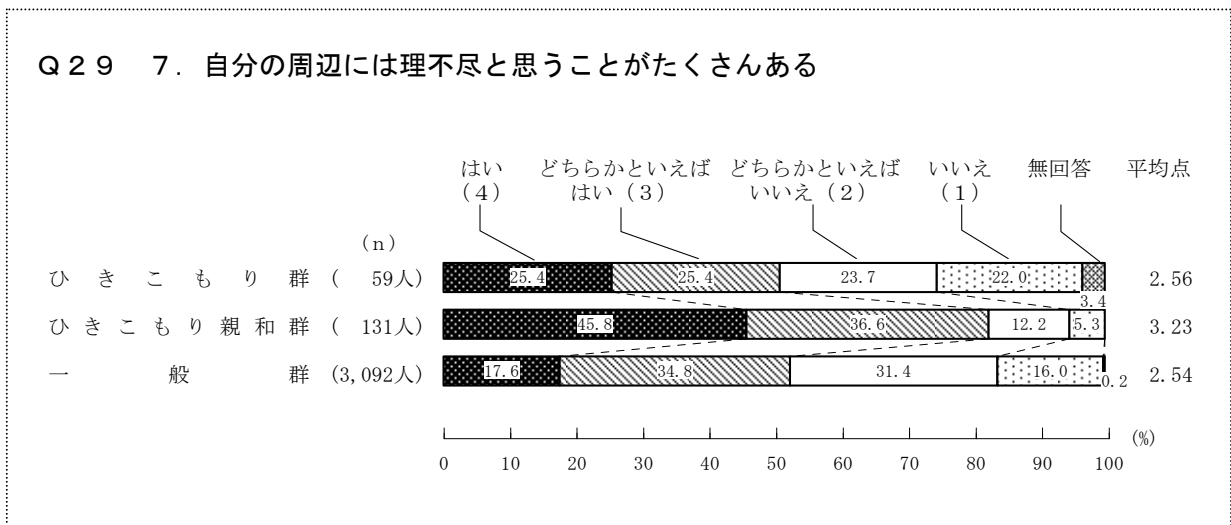


【本人票】



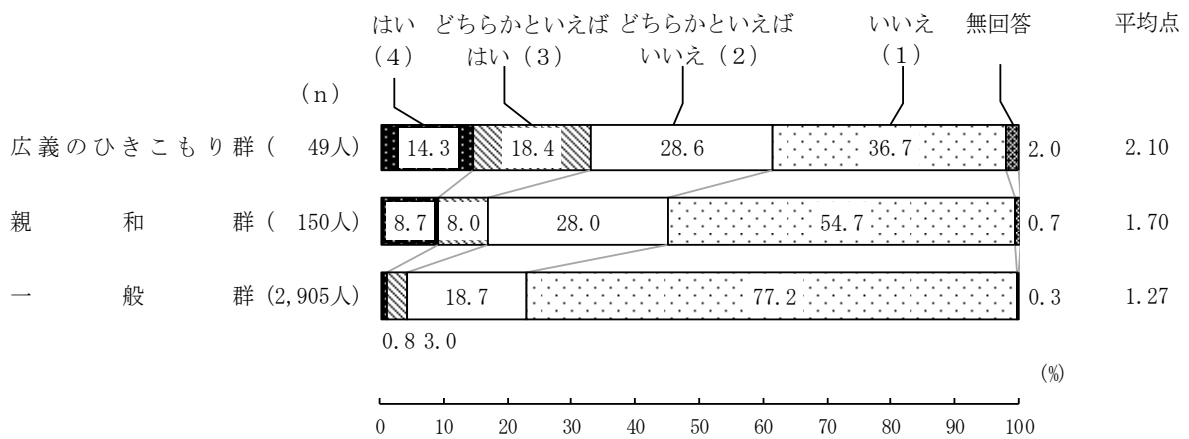
『自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で42.9%、親和群で72.0%、一般群で49.2%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



【本人票】

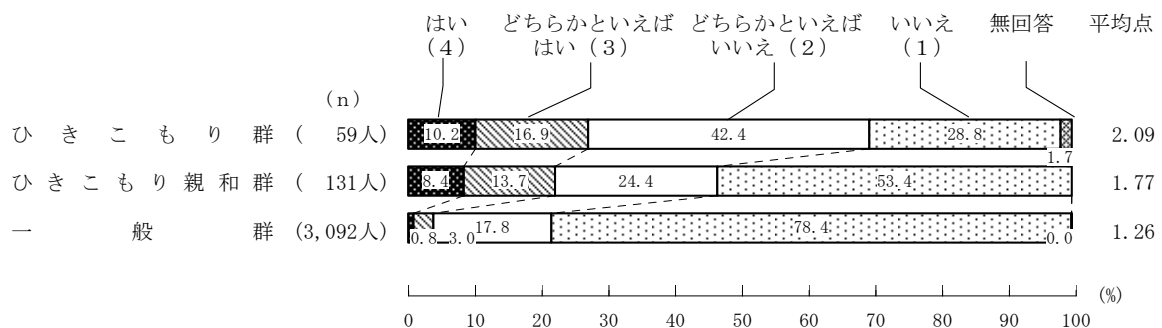
本人票Q34 8. 誰とも口を利かずに過ごす日が多い



『誰とも口を利かずに過ごす日が多い』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で32.7%、親和群で16.7%、一般群で3.8%となっている。

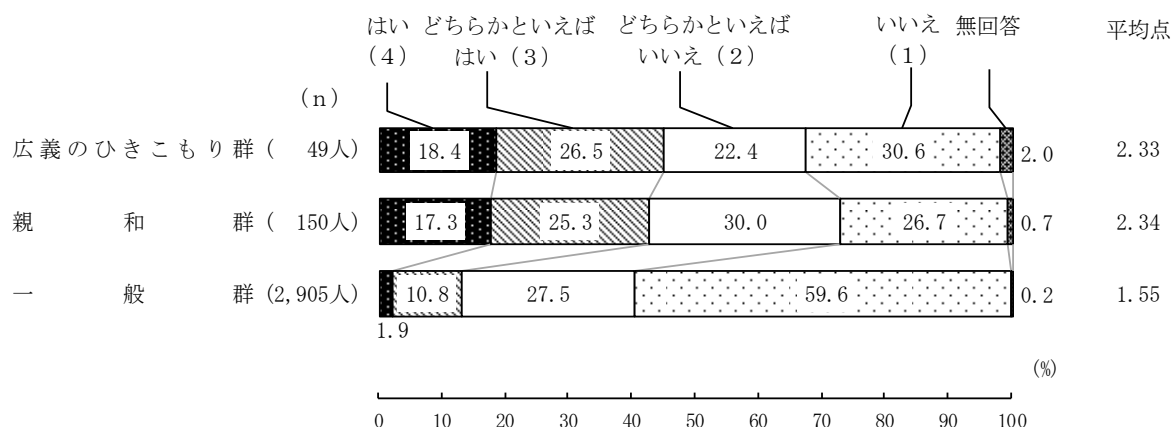
参考：前回（平成22年度）調査

Q29 8. 誰とも口を利かずに過ごす日が多い



【本人票】

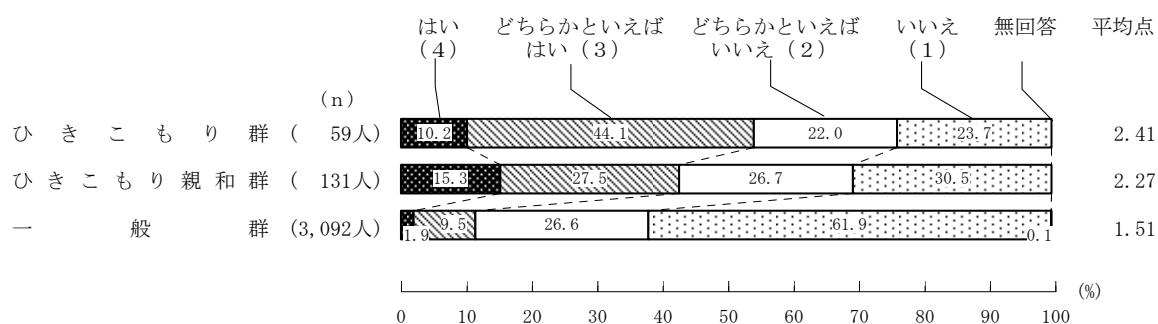
本人票Q34 9. 人と会話をするのはわずらわしい



『人と会話をするのはわずらわしい』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえ  
ばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で44.9%、親和群で42.7%、一般群で12.7%と  
なっている。

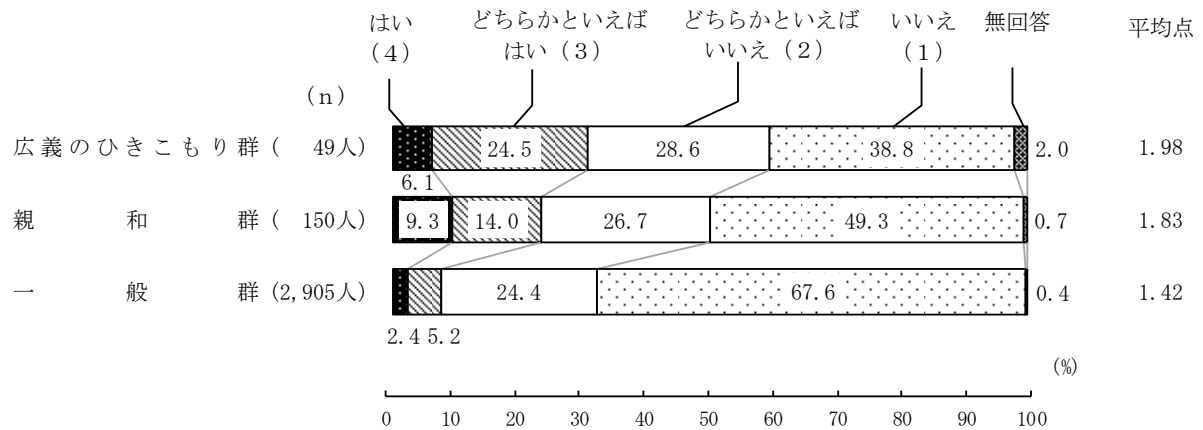
参考：前回（平成22年度）調査

Q29 9. 人と会話をするのはわずらわしい



【本人票】

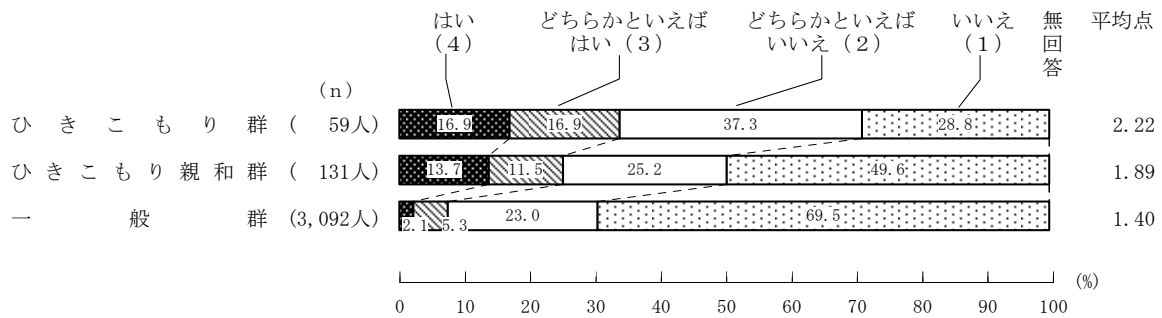
本人票Q34 10. 過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない



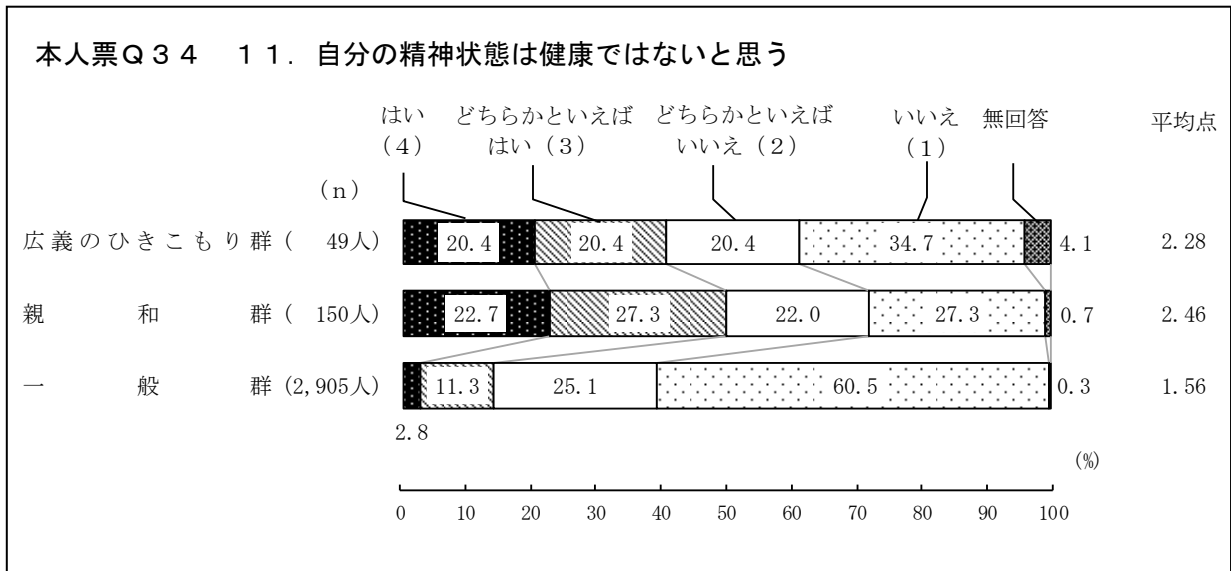
『過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で30.6%、親和群で23.3%、一般群で7.6%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

Q29 10. 過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない

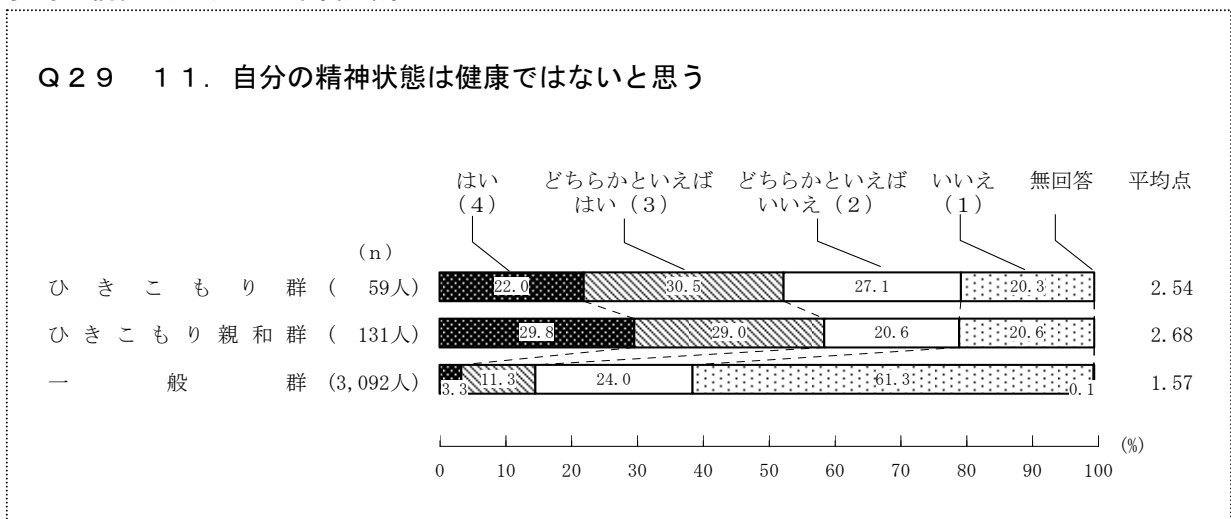


【本人票】



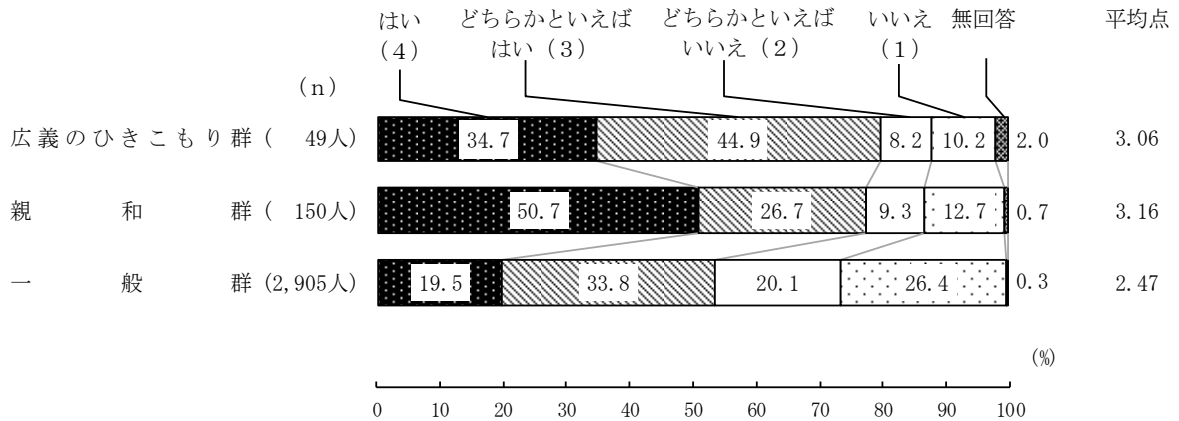
『自分の精神状態は健康ではないと思う』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で40.8%、親和群で50.0%、一般群で14.1%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査



【本人票】

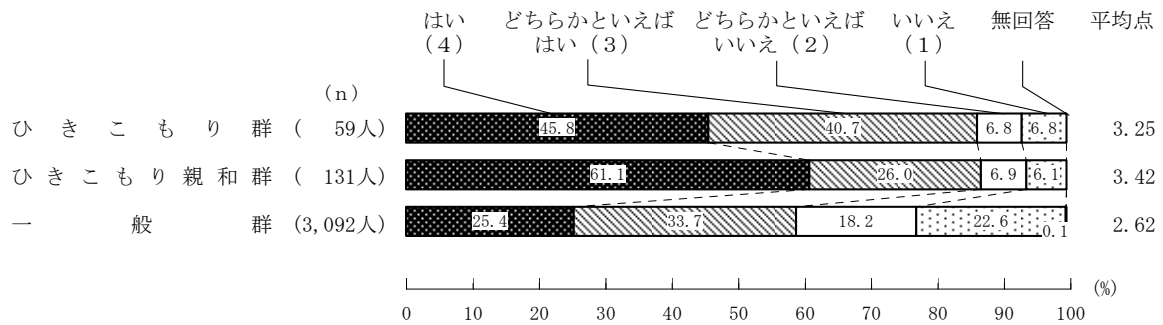
本人票Q34 12. 自分の今の状態について考えることがよくある



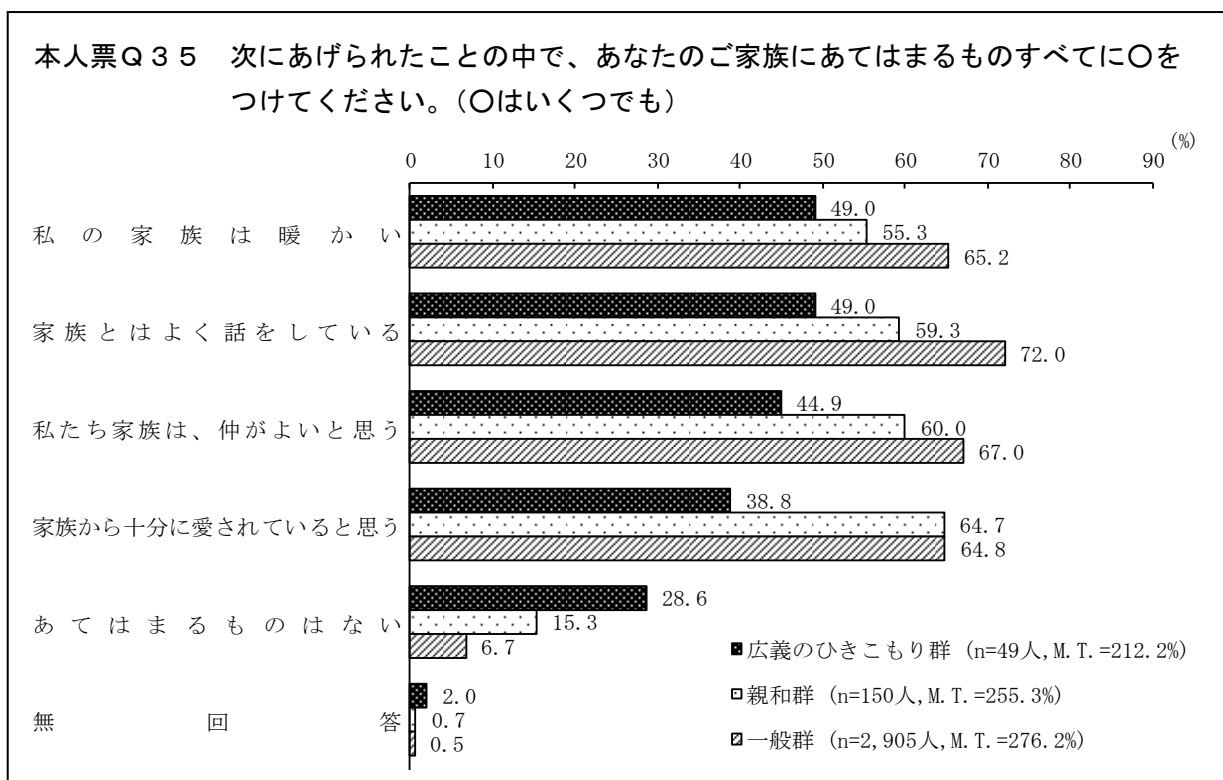
『自分の今の状態について考えることがよくある』について聞いたところ、『はい』（「はい」+「どちらかといえばはい」）とする者の割合は、広義のひきこもり群で79.6%、親和群で77.3%、一般群で53.3%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

Q29 12. 自分の今の状態について考えることがよくある

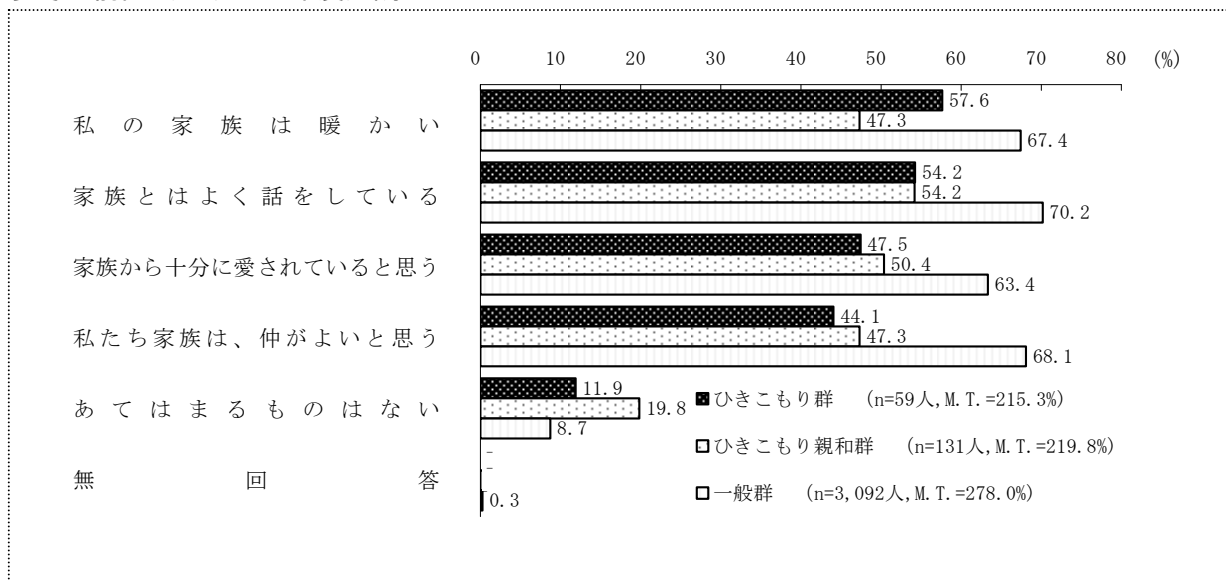


38 【本人票】家庭の状況

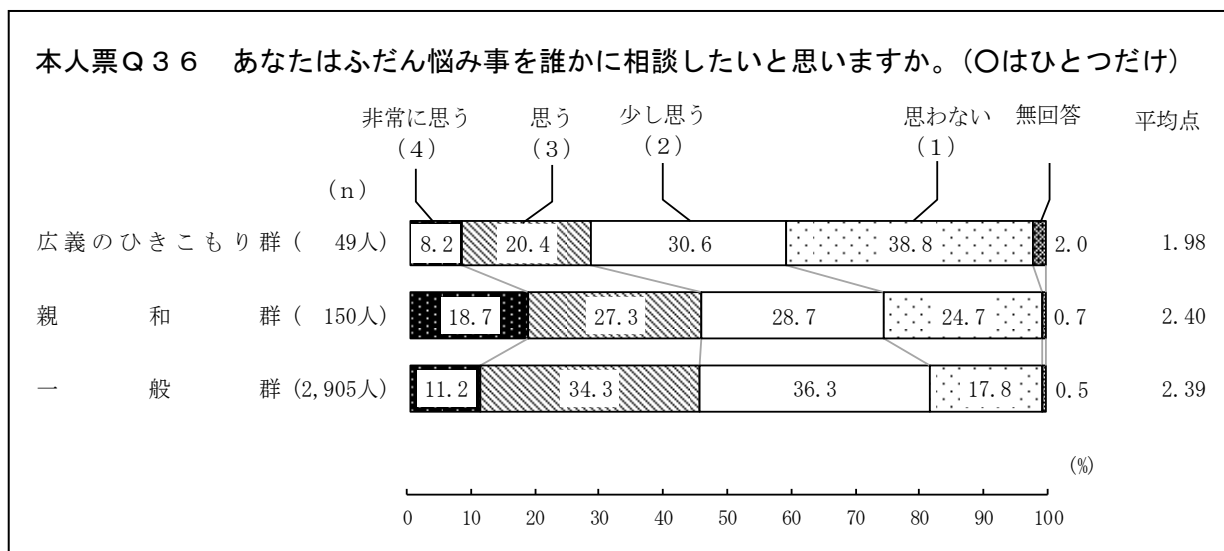


家庭の状況について聞いたところ、「私の家族は暖かい」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で49.0%、親和群で55.3%、一般群で65.2%となっている。「家族とはよく話をしている」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で49.0%、親和群で59.3%、一般群で72.0%となっている。「私たち家族は、仲がよいと思う」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で44.9%、親和群で60.0%、一般群で67.0%となっている。「家族から十分に愛されていると思う」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で38.8%、親和群で64.7%、一般群で64.8%となっている。

参考：前回（平成22年度）調査

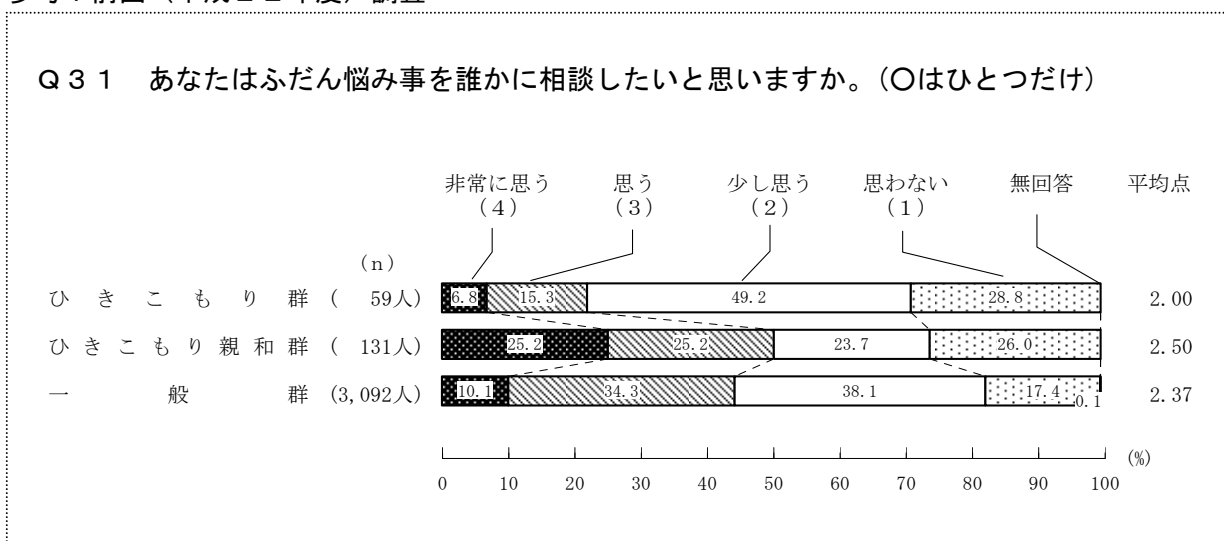


### 39 【本人票】悩みを誰かに相談したいか



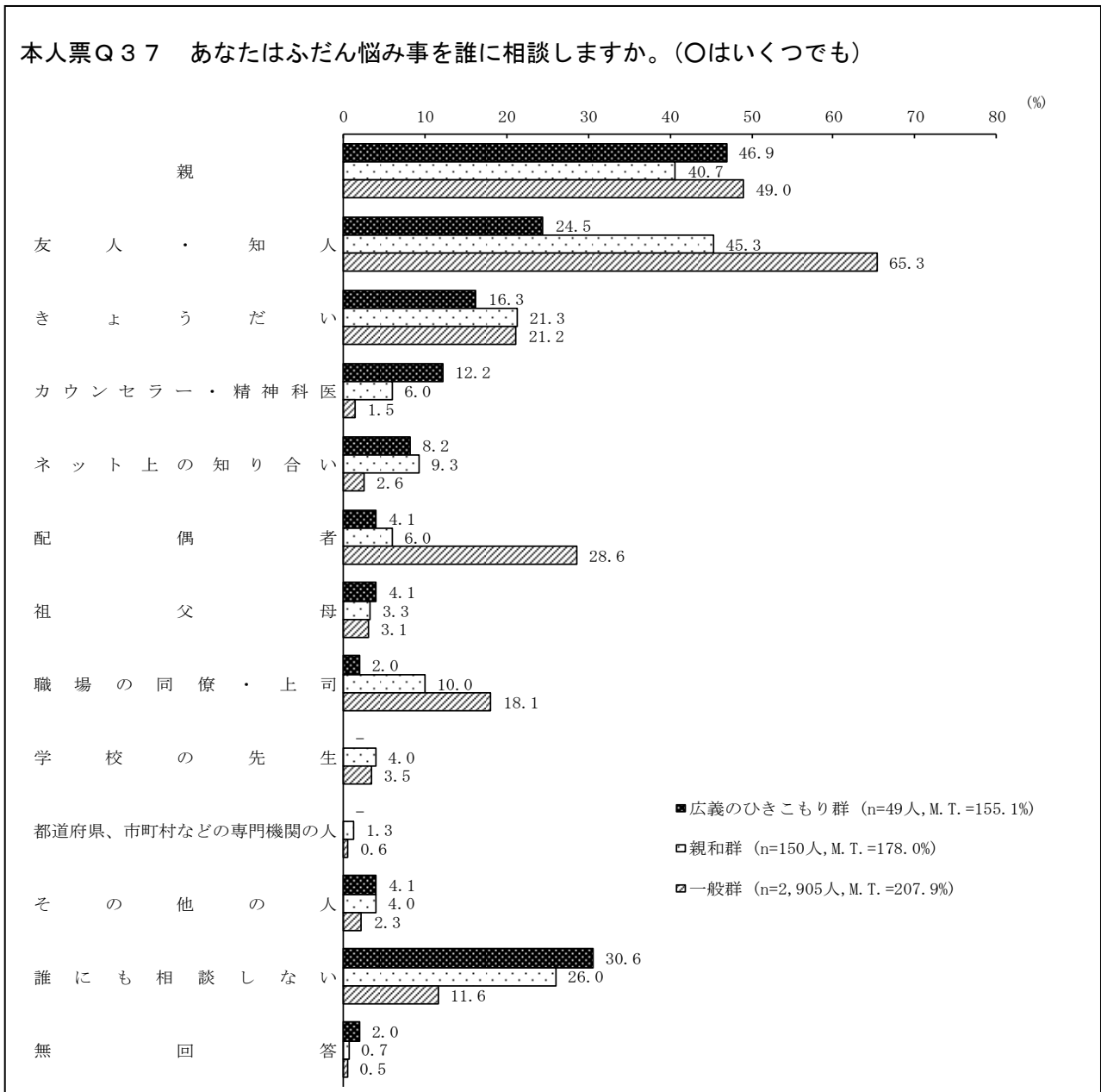
悩みを誰かに相談したいかどうかについて聞いたところ、『思う』(「非常に思う」+「思う」+「少し思う」)とする者の割合は、広義のひきこもり群で59.2%、親和群で74.7%、一般群で81.8%となっている。

#### 参考：前回(平成22年度)調査





40 【本人票】悩みを相談する相手



悩みを相談する相手について聞いたところ、「誰にも相談しない」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で30.6%、親和群で26.0%、「友人・知人」をあげた者の割合は一般群で65.3%、「カウンセラー・精神科医」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で12.2%、親和群で6.0%、「ネット上の知り合い」をあげた者の割合は広義のひきこもり群で8.2%、親和群で9.3%、「配偶者」をあげた者の割合は一般群で28.6%、「職場の同僚・上司」をあげた者の割合は一般群で18.1%となっている。

Q32 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。（○はいくつでも）

